モバイル&IoTで飛躍する
MCPC

調査報告書

モバイルデバイスの積極的な利活用における個人情報保護法の影響調査

2017年9月29日

モバイルコンピューティング推進コンソーシアム
セキュリティ委員会

MCPC　セキュリティ委員会

「モバイルデバイスの積極的な利活用における個人情報保護法の影響調査」

＜企画・編集メンバー＞

セキュリティ委員会委員長	華井　克育	富士通株式会社
副委員長	窪田　歩	KDDI 株式会社
副委員長	細沢　隆	株式会社 NTT ドコモ
メンバー	大塚　拓也	株式会社エヌアイデイ
	岩木　邦彦	ソフトバンク株式会社
	原　　聖樹	トレンドマイクロ株式会社
	安達　智雄	日本電気株式会社
	濱田　圭	富士通ｸﾗｲｱﾝﾄｺﾝﾋﾟｭｰﾃｨﾝｸﾞ株式会社
	小島　純一	一社　情報通信ネットワーク産業協会
事務局	前島　幸仁	MCPC

企画・編集メンバーは 2017 年 6 月現在のメンバーです。

＜目次＞

１．調査の背景　……

２．調査の概要　……

３．考察　……

４．参考資料（調査結果）　……

はじめに

MCPC（モバイルコンピューティング推進コンソーシム、会長：安田靖彦）ではモバイルデバイス（ノートPC、タブレット、スマートフォン等）を業務に活用しているビジネスユーザーを対象として、業務上での個人情報の保護やセキュリティガイドラインの運用に対するモバイルデバイスの利用状況の現状をアンケート調査しモバイルコンピューティングの促進上の課題ならびに対応をとりまとめましたので、お知らせいたします。

１．調査の背景

2003年に成立した「個人情報保護法」により、当初一部の企業では個人情報漏洩の懸念からノートPCの持ち出しを禁止・制限されてきた。
その後、制度面、技術面での諸対策が実施されてきている中、短絡的にモバイルデバイスの持ち出しを禁止する動きは是正されてきた。MCPCではその実態を把握しモバイルコンピューティングの更なる生産性向上を目指すため2014年に「モバイルデバイスの積極的な利活用における個人情報保護法の影響調査」を実施した。
今回、個人情報保護法の改正施行（2017年5月）にともない、対象個人情報、対象事業者の拡大、等どの様な影響があるのか前回の調査との差異を明らかにし更なる施策検討の一助としてもらうため調査をした。

（１）　調査期間：2017年1月23日～1月25日
（２）　調査委託先：株式会社マクロミル
（３）　調査手法 ： インターネット調査
（４）　有効回答数：５２０

2017年9月
MCPCセキュリティ委員会

【MCPCについて】
ワイヤレスデータ通信とコンピューティングシステム（モバイルシステム）の普及を促進するために。１９９７年にわが国を代表する移動体通信会社、コンピューターハードウェア/ソフトウェアメーカ、携帯電話/ＰＨＳメーカ、システムインテグレータなどにより組織化されました。現在、世界をリードするワイヤレステクノロジーで最先端ＩｏＴ・ＡＩソリューションを追求し飛躍的発展を目指しており、そのための技術課題への対応、運用課題の調査・研究、開発の推進、標準化、相互接続性検証、普及啓発活動、人材育成などの活動を行っています。さらには、米国姉妹組織のＷＴＡ（Wireless Technologies Association）、USB-IF、Bluetooth SIG、ＩＥＥＥなどと連携を図りながら、モバイル利活用のＩｏＴ・ＡＩソリューションの市場の形成拡大と、利用環境の高度化に努めています。
（２０１７年８月現在　会員会社数１６７社）

２．調査概要

（１） 今回の目的

改正個人情報保護法の施行（2017年5月30日）にともない国内の企業に勤務する従業員を対象に、個人情報保護やセキュリティガイドラインの現状を聴取しモバイルコンピューティング促進上の課題を把握する。

前回2014年7月に実施したアンケートに対し今回2017年1月に同一のアンケートを行い両アンケート結果の差異点を明示し、今後の取り組みの参考とする。

（２） 調査対象

現在フルタイムの仕事を持ち、以下の部門に属している20～69歳の男女

・経営全般/経営企画
・宣伝/広報
・販売/営業
・保守/サポート

（３） 調査地域

全国

（４） 調査結果の留意点

アンケート回答者の業種において「情報処理サービス」に属する回答者の割合(人数)が少ないため、比較的情報セキュリティ意識が高い業種の割合が、大きく減っていることにより、アンケート結果全体的にセキュリティに関する意識・体制や取組のスコアが減少していることに留意していただきたい。

３．考察

① 情報サービス事業者の「一般消費者の個人情報を扱う」頻度が増えており、改正個人情報保護法により影響が考えられるため、今後対応を進めることが必要
（参照アンケート番号：１，２，３，７）

② 個人情報ガイドラインの制定状況は減少しており、これは回答した業種比率がITを本業として関わりの薄い業種（ユーザ系業種）が影響したと考えられる。今後はITを利用するユーザ系業種に対して啓蒙活動が必要
（参照アンケート番号：４，５，６，８）

③ 個人情報ガイドラインによる生産性への影響は前回に引き続き今回も「負担と感じている」が多い。今後負担低減となる施策を講じることが必要
（参照アンケート番号：９）

④ モバイルコンピューティングのデバイスとしてフィーチャーフォンが減少しているのは潮流として当然と思われる。モバイル業務として「情報を見る」受け身の作業からアクティブな「各種レポート作成」へと変化している。また個人情報を扱う業務も増えておりモバイルでの業務が変化していることから、より情報を適切に扱うことが重要
（参照アンケート番号：１１，１２，１３，１４，１５，１６，２５，２６，２７）

⑤ モバイルコンピューティングに関するガイドライン制定状況は従業員規模により２極化（大企業はガイドラインの項目が拡充、中小企業はガイドラインが未整備）しており、中小企業での整備拡充が課題
（参照アンケート番号：２３）

⑥ モバイルコンピューティングに関するガイドラインによる生産性への影響は、「持ち出しの手続きが負担」と感じ「最終的に持ち出しを断念」するケースもあることから、制度面・ツール導入などの整備が重要
（参照アンケート番号：１７，１８，１９，２０，２１，２２，２４）

改正個人情報保護法の主要項目は以下であり、今後の個人情報の質的変化と適用対象領域が増すので、MCPC として更なる普及啓蒙活動に取り組む

- 個人情報保護委員会の新設
- 個人情報定義の明確化等
- 適切な規律の下で個人情報等の有用性を確保
- 適正な個人情報の流通を確保
- 個人情報保護委員会の権限
- 個人情報の取り扱いのグローバル化
- 認定個人情報保護団体の活用

以上

４．参考資料（調査結果）

モバイルデバイスの積極的な利活用における個人情報保護法の影響調査

結果報告書

2017年3月8日

目次

■ 調査概要 p.2

回答者プロフィール（今回調査） p.3

回答者業種について/軸の定義について p.4/5

■ 調査結果 p.6

SQ2.回答者の立場・所属部門 p.7

SQ3.プライバシーマークの取得の有無 p.8

Q1.個人情報業務利用の有無 p.9

Q2.回答者の業種 p.11

Q3.回答者の勤務先の従業員規模 p.12

Q4.個人情報取扱社内規定の有無 p.13

Q5.個人情報管理体制について p.15

Q6.個人情報管理部門 p.17

Q7.取り扱っている個人情報 p.21

Q8.個人情報管理の運用 p.22

Q9.個人情報管理の束縛レベル[生産性] p.28

Q11.モバイルデバイスの支給状況 p.29

Q12.回答者の社外でのモバイルコンピューティング状況 p.30

Q13.回答者の同僚の社外でのモバイルコンピューティング状況 p.32

Q14&15.回答者の社外でのモバイルコンピューティング業務 p.34

Q16.回答者の社外ノートPC持ち出し p.39

Q17.ノートPCの持ち出しの手間 p.42

Q18.ノートPCの社外持ち出しによる業務効率への影響 p.45

Q19.持ち出しの手間などによるモバイルコンピューティングの断念 p.46

Q20＆21.回答者の社外でのモバイルコンピューティング比率 p.48

Q22.社外使用禁止時の代替手段 p.56

Q23.モバイルコンピューティングに関するガイドラインの内容 p.57

Q24.ガイドラインの束縛レベル p.63

Q25.個人情報社外業務利用の有無 p.66

Q26.個人情報社外業務取扱時の希望形態 p.68

Q27.サテライトワークのメリット p.72

Q28.モバイルワーカーへのサポート p.73

調査概要

■ 調査目的　：　国内の企業に勤務する対象者に、個人情報保護やセキュリティガイドラインの現状を聴取し、モバイルコンピューティングの促進上の課題を把握する。

■ 調査対象　：　現在フルタイムの仕事を持ち、以下の部門に所属している　20～69歳の男女
- ●経営全般/経営企画
- ●宣伝/広報
- ●販売/営業
- ●保守/サポート

■ 調査地域　：　全国

■ 調査方法　：　インターネットリサーチ

■ 調査時期　：　2017年1月23日（月）～1月25日（水）

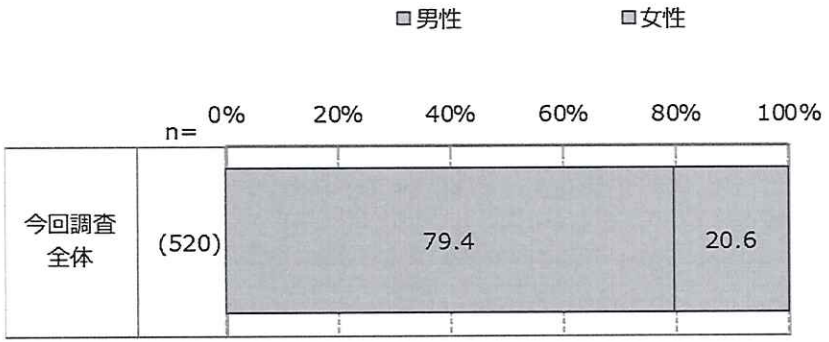
■ 有効回答数：　520サンプル

■ 調査実施機関：　株式会社マクロミル

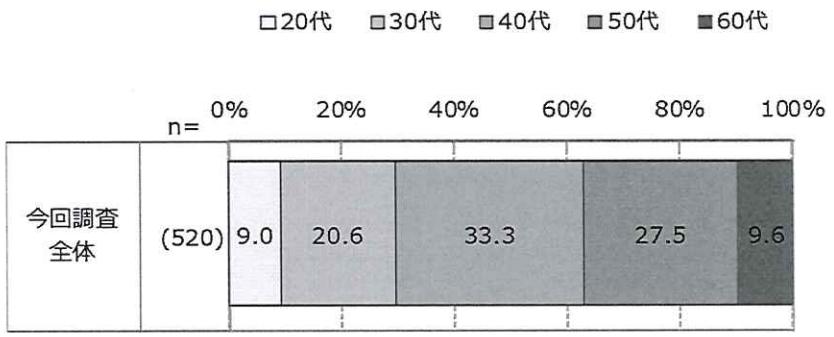
対象者割り付け	今回調査	前回調査
経営全般	75ss	75ss
経営企画	59ss	60ss
宣伝/マーケティング	27ss	27ss
広報	7ss	6ss
販売/営業	220ss	223ss
接客/顧客対応(コールセンターを含む)	20ss	20ss
保守/サポート(コールセンターを除く)	39ss	38ss
研究/開発/設計	73ss	73ss
合計	520ss	522ss

回答者プロフィール（今回調査）n=520

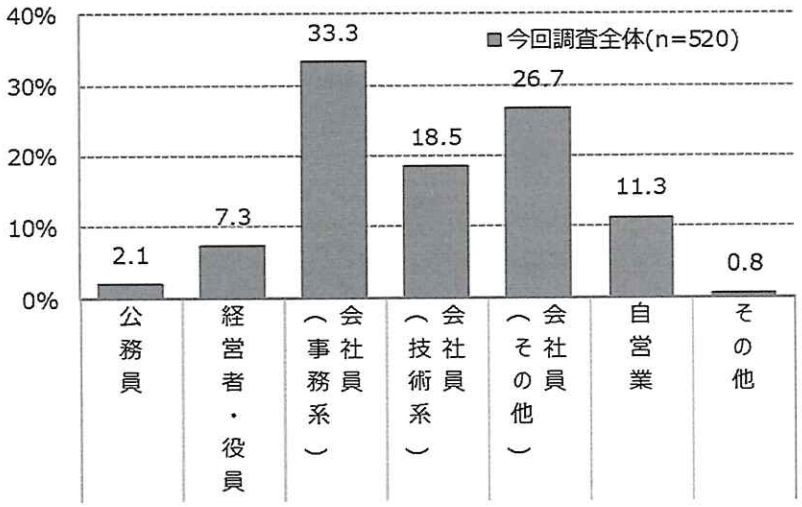
性別



年代



職業



回答者業種について

■ 今回調査と前回調査比較の際、
今年スコアが、昨年に比べ大きく減少している部分がありますが、
回答者の業種が変わったことによる原因が一つとして考えられます。

■ 右記の表、赤文字にて数字の記載がある箇所は、
前回調査から、比較的大きく人数が変わっている部分です。

■ 中でも大きい変動は**「情報処理サービス」の対象者が減少**
している点です。
比較的情報セキュリティ意識が高いこの層が、
大きく減っている点を考慮すると、
全体的なセキュリティに関する意識・体制や取組のスコアが
減少していることも想定することが出来ます。

■ 今回調査結果と前回調査結果の大きな数値ズレは
この点に留意しつつ解釈していただきたく思います。

対象者業種(ｎ数)	前回調査	今回調査
農林・水産・鉱業	0	2
建設・土木	20	37
化学・薬品	12	11
食品	6	12
石油・ゴム	1	0
繊維・紙・木材	2	7
鉄・非鉄金属・窯業	3	2
輸送機械・関連部品	7	3
一般機械	5	9
コンピュータ/ネットワーク機器製造	22	8
電機・精密機械	44	16
その他製造	34	24
コンピュータ/ネットワーク機器販売	12	1
商社・卸売・小売	43	74
銀行・保険・証券・信販	33	48
不動産	16	33
運輸・倉庫	3	13
通信	33	24
電気・ガス	10	9
放送・新聞・出版・印刷・映画	6	8
情報処理サービス	104	36
医療関連・病院・医療機関	8	6
大学・研究／教育機関	19	6
専門サービス業（弁護士、会計士など）	9	4
その他サービス業	53	93
官公庁/非営利団体	9	16
その他	8	18

軸の定義について

■ 今回の調査は基本的には前回調査の踏襲で行っていますが、前回調査の軸の定義は不明でした。

■ そのため、軸の定義はお打合せにて決定した下記の定義にて分析をさせていただきました。

※前回調査と今回調査で、n数の変動が極端に大きい箇所は軸定義が異なる可能性が高いことに留意してください。

軸名	選択肢名	使用設問	加工条件
全体		−	該当設問回答者全員の値
業種別	電機・精密機械	Q2	11 電機・精密機械(コンピュータ/ネットワーク機器製造を除く)
	商社・卸売・小売		14 商社・卸売・小売(コンピュータ/ネットワーク機器販売を除く)
	金融		15 銀行・保険・証券・信販
	情報処理サービス		21 情報処理サービス、システム・インテグレータ、ソフトハウス
	その他サービス業		25 その他サービス業
企業従業員数別	10000人以上	Q3	7
	5000-9999人		6
	2000-4999人		5
	1000-1999人		4
	300-999人		2-3 (300～499人+500～999人)
	1-299人		1
一般消費者個人情報取り扱い別	一般消費者個人情報取扱あり	Q1	1-4(頻繁に扱う、扱うことがある、扱うことはあまりない、滅多に扱わない)
	一般消費者個人情報取扱なし		5(扱うことはない)
Pマーク取得別	Pマーク取得	SQ3	1(個人情報を取り扱っており、プライバシーマークを取得している)
	Pマーク非取得		2(個人情報を取り扱っているが、プライバシーマークを取得していない)
個人情報運用規定個数	個人情報運用規定数:1～4	Q8	1個～4個選択者
	個人情報運用規定数:5～8		5個～8個選択者
	個人情報運用規定数:9～16		9個～16個選択者
モバイルデバイス社外使用のガイドライン個数別	1個	Q23	1個
	2個		2個
	3個		3個
	4個		4個
	5～10個		5～10個
	11～19個		11～19個
	ガイドラインは無い		21
モバイルデバイス社外使用状況(ノートPC)	ノートPC持ち出し	Q20S1	1-6(ほとんど社外～ほとんど社外では使わない)
	ノートPC持ち出しせず		7(社外では禁止されている)
モバイルデバイス社外使用状況(タブレット端末)	タブレット端末持ち出し	Q20S2	1-6(ほとんど社外～ほとんど社外では使わない)
	タブレット端末持ち出しせず		7(社外では禁止されている)

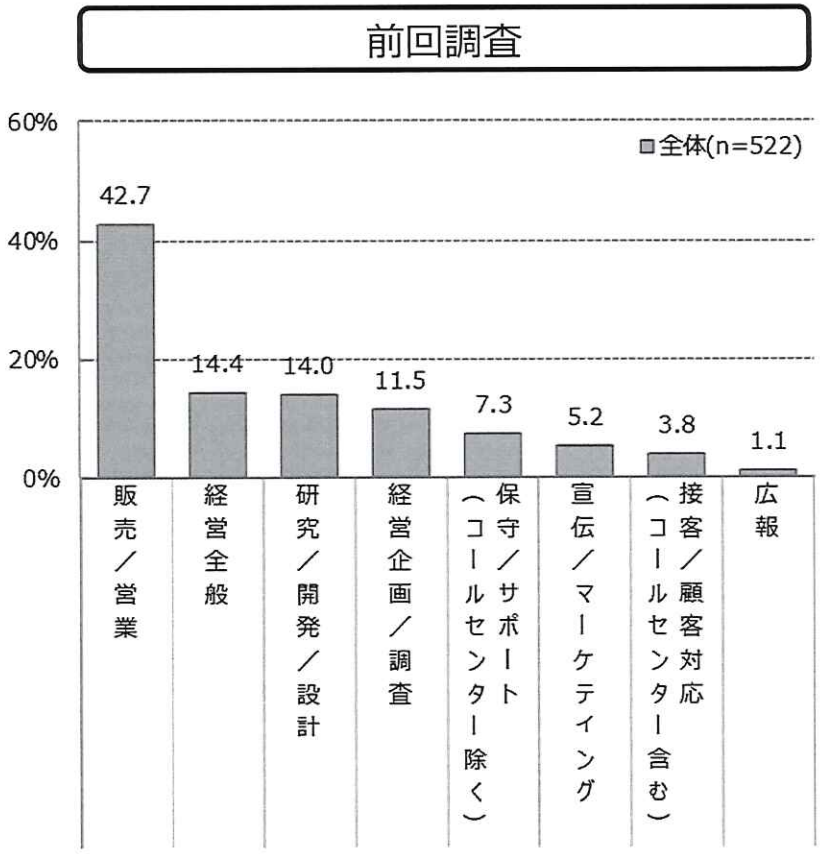
調査結果の詳細

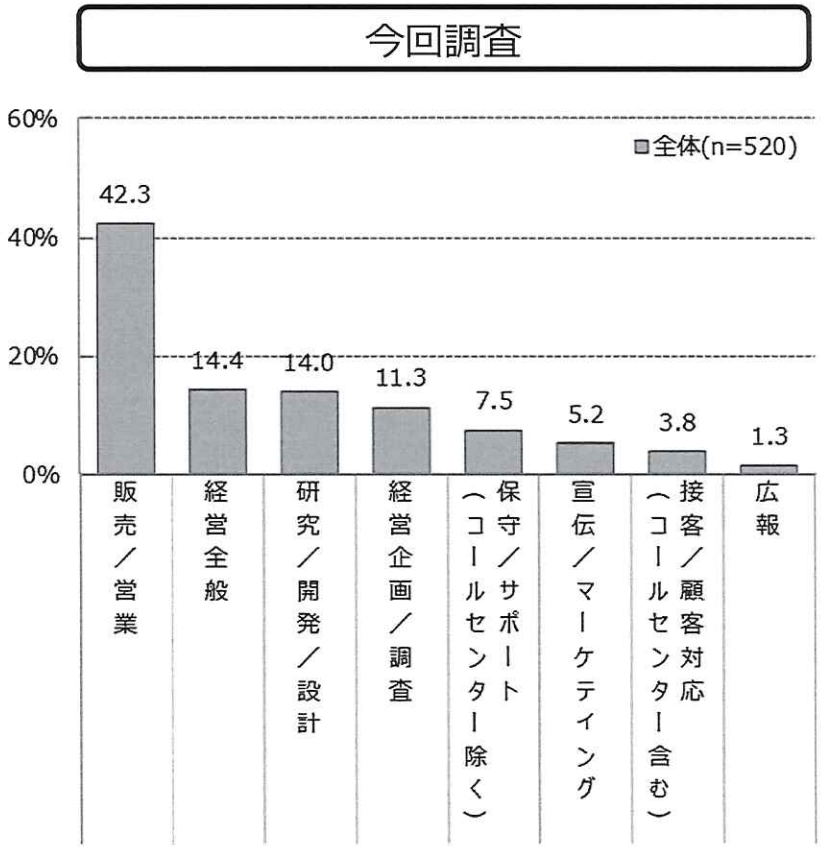
© Macromill, Inc.

1.回答者の立場・所属部門(SQ2)

■ 今回調査では、「販売/営業」が最も高く42.3%。次いで「経営全般」(14.4%)、「研究/開発/設計」(14.0%)が上位に挙がる。
■ 前回調査と今回調査で目立った変化はなかった。

[SA]
※【前回調査】全体の降順でソート



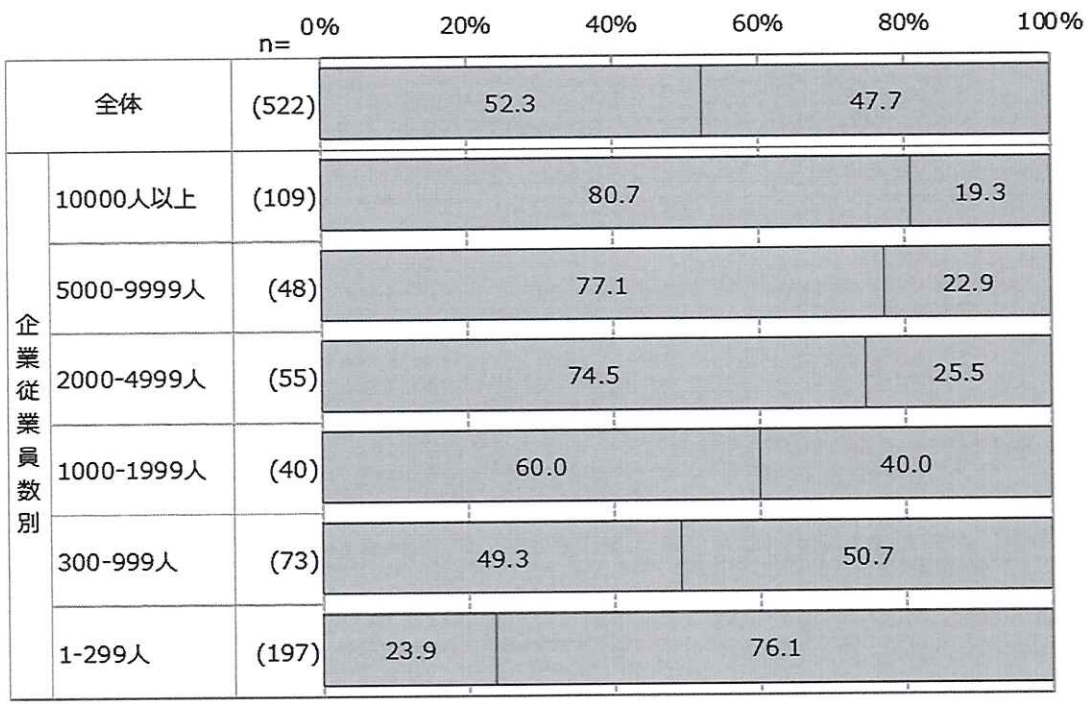


2.プライバシーマークの取得の有無（SQ3）

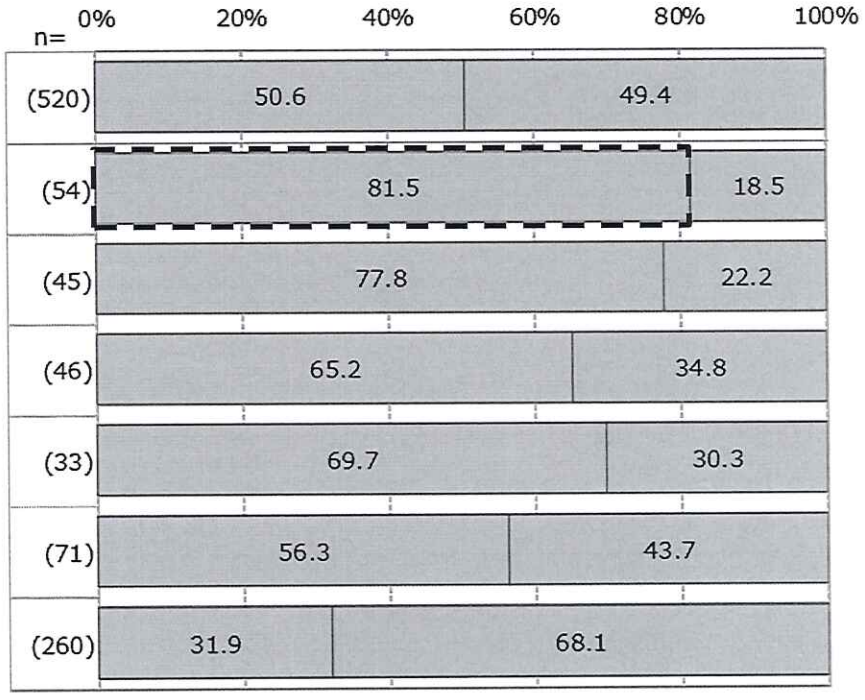
■ 今回調査を全体で見ると、全体のおよそ半数が「個人情報を取り扱っており、プライバシーマークを取得している」と回答。
■ 今回調査を企業従業員数別で見ると、10000人以上では81.5%が取得しているが、299人以下では、31.9%に留まる。
■ 前回調査と今回調査との比較を見ても目立った変化はなかった。

[SA]

前回調査



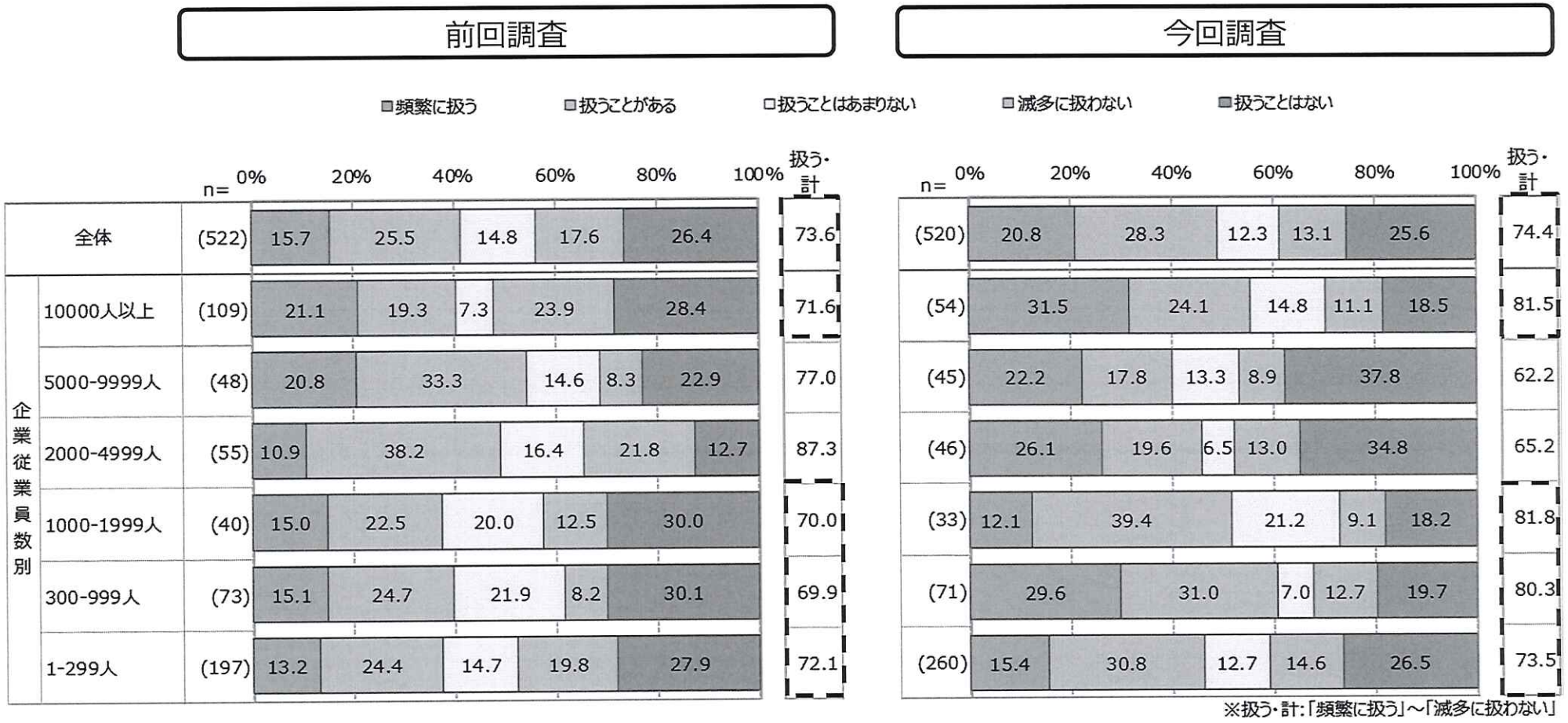
今回調査



3.個人情報業務利用の有無(Q1)

- 3000件以上の個人情報を業務で取り扱うか尋ねた。
- 今回調査を企業従業員数別で見ると、「10000人以上」「1000-1999人」「300-999人」規模の会社のそれぞれ80%以上が「扱う」と回答している。
- 前回調査と今回調査を全体で見ても、目立った変化は見られなかった。。
  特に「10000人以上」「1000-1999人」「300-999人」「1-299」の規模で「扱う・計」が増加している。

[SA]

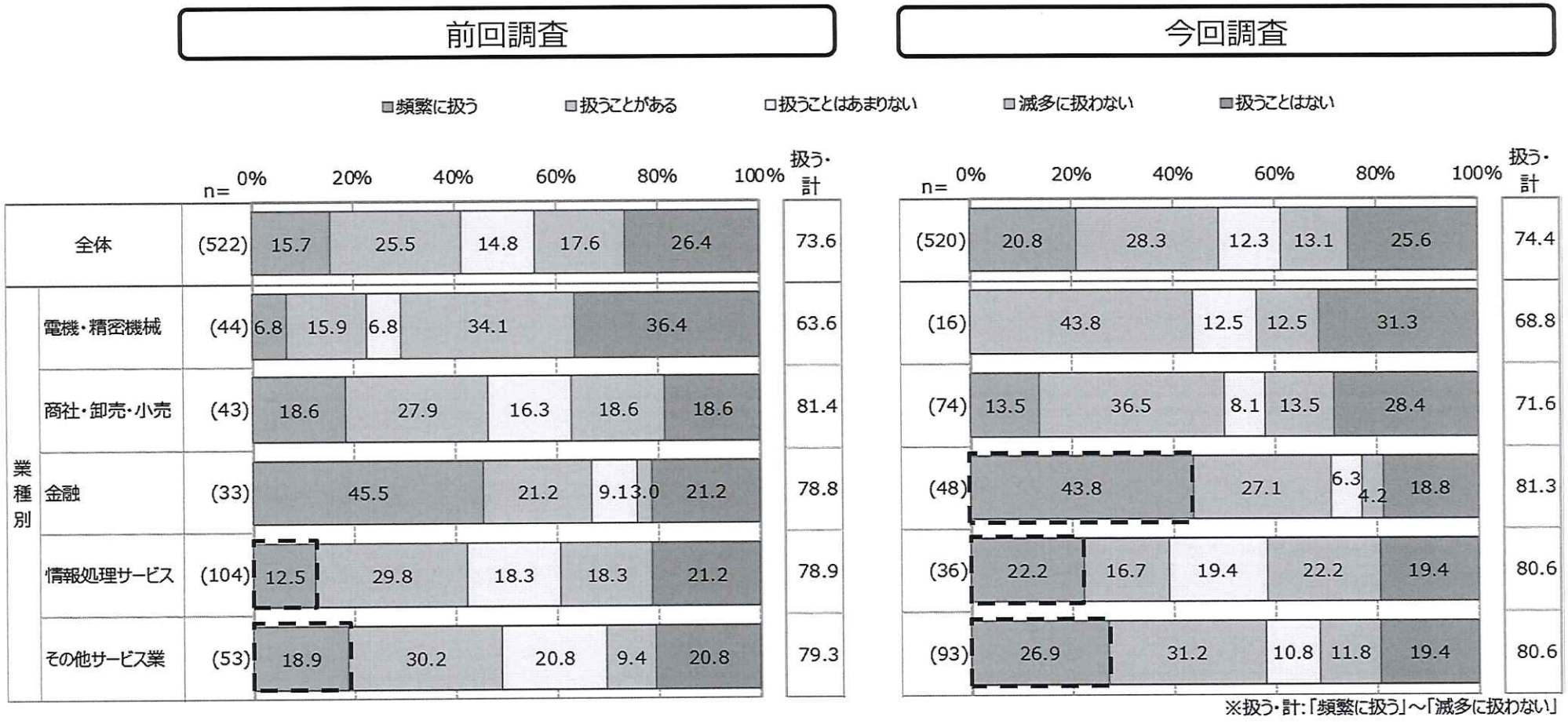


※扱う・計:「頻繁に扱う」~「滅多に扱わない」

4.個人情報業務利用の有無(Q1)

■ 今回調査を業種別で見ると、「金融業」の「頻繁に扱う」が突出して高い。
■ 業種別で見ると「情報サービス業」「その他サービス業」の「頻繁に扱う」が増加している。

[SA]



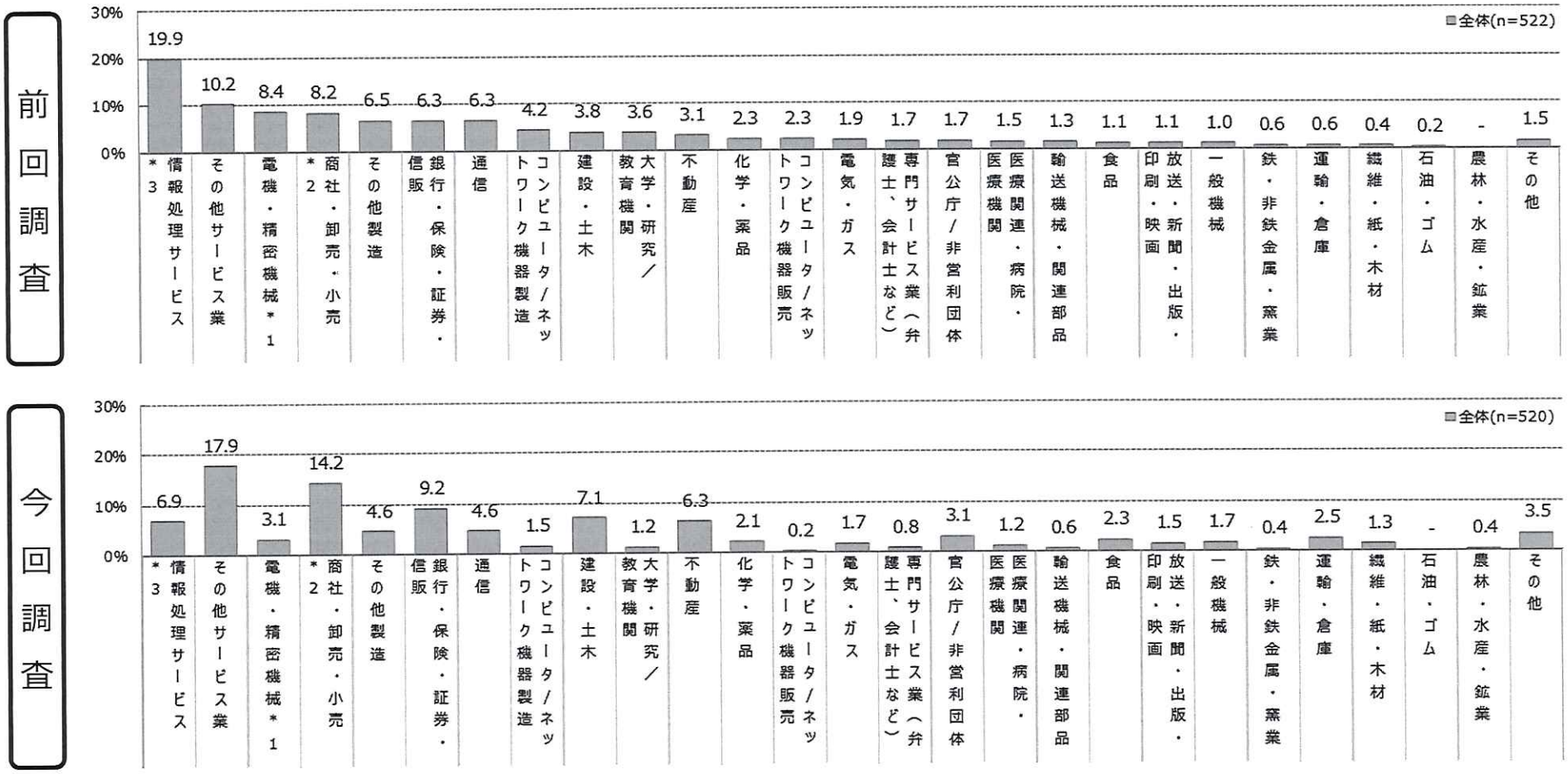
※扱う・計:「頻繁に扱う」～「滅多に扱わない」

(n=30未満のスコアは参考値)

5.回答者の業種(Q2)

■ 今回調査の業種では、「その他サービス」が最も多く17.9%。次いで「商社・卸売・小売」(14.2%)、「銀行・保険・証券・信販」(9.2%)が挙がる。
■ 前回調査との比較を全体で見ると、「情報処理サービス」が減少している。

[SA]
※【前回調査】全体の降順でソート

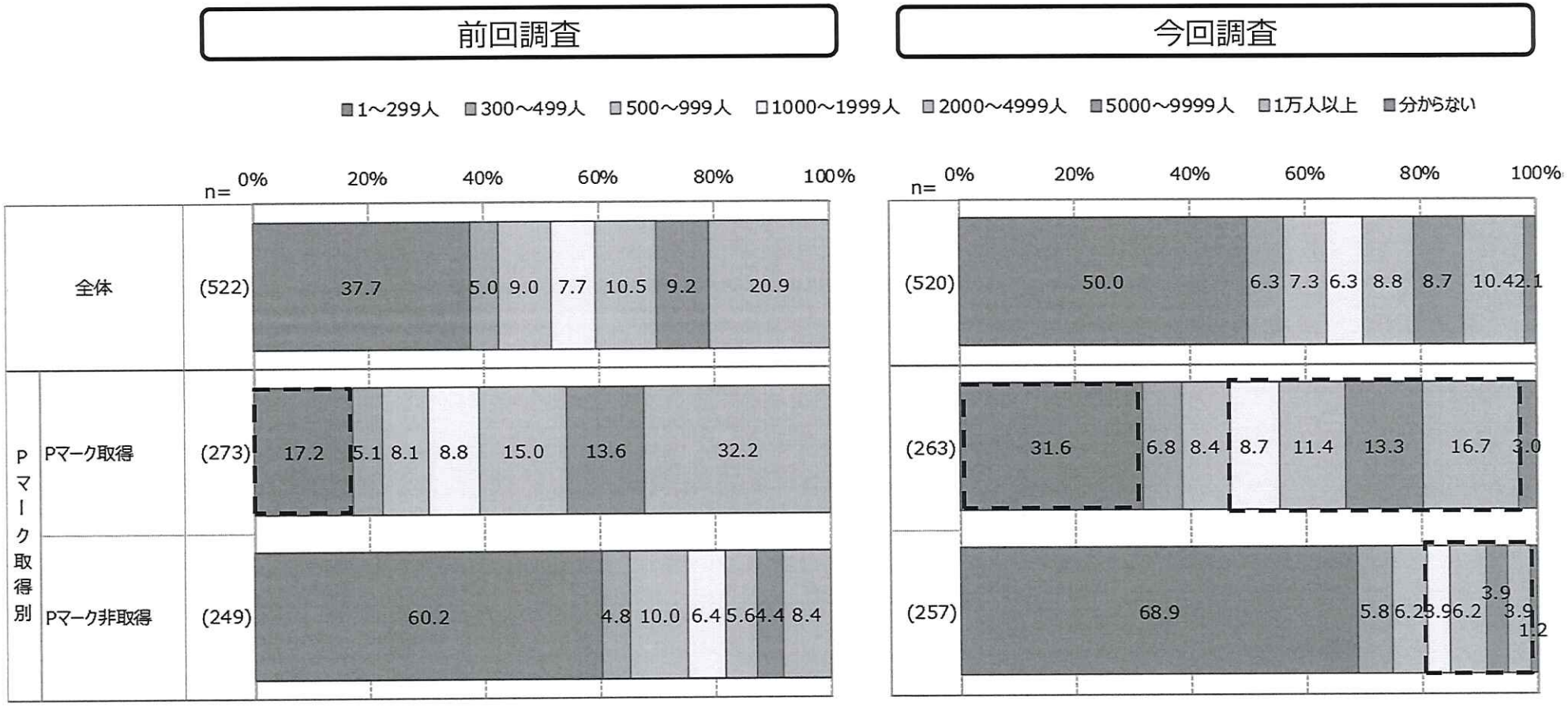


*1:「電機・精密機械(コンピュータ/ネットワーク機器製造を除く)」 *2:「商社・卸売・小売(コンピュータ/ネットワーク機器販売を除く)」 *3:「情報処理サービス、システム・インテグレータ、ソフトハウス」

6.回答者の勤務先の従業員規模(Q3)

■ 今回調査をPマーク取得別で見ると、Pマーク取得層は非取得層に比べ、従業員規模が大きい会社の割合が高い。
■ 前回調査との比較をPマーク取得別に見ると、「1-299人」の取得層が増加傾向。

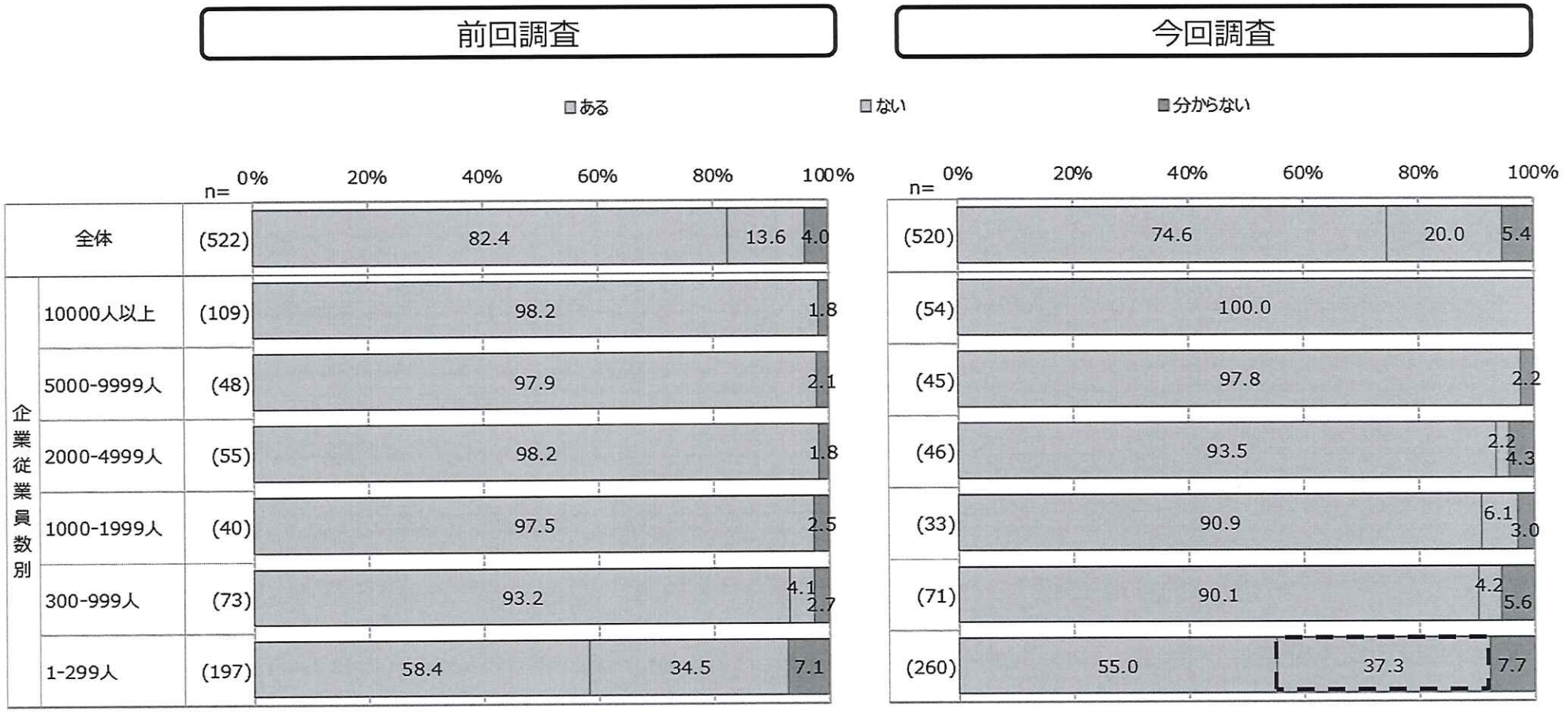
[SA]



7.個人情報取扱社内規定の有無（Q4）

■ 今回調査を従業員数別で見ると、「1-299人」の中小企業では個人情報取り扱い社内規定が「ない」割合が37.3%と他の層に比べ高い。
■ 前回調査と比較しても、特に目立った変化はなかった。

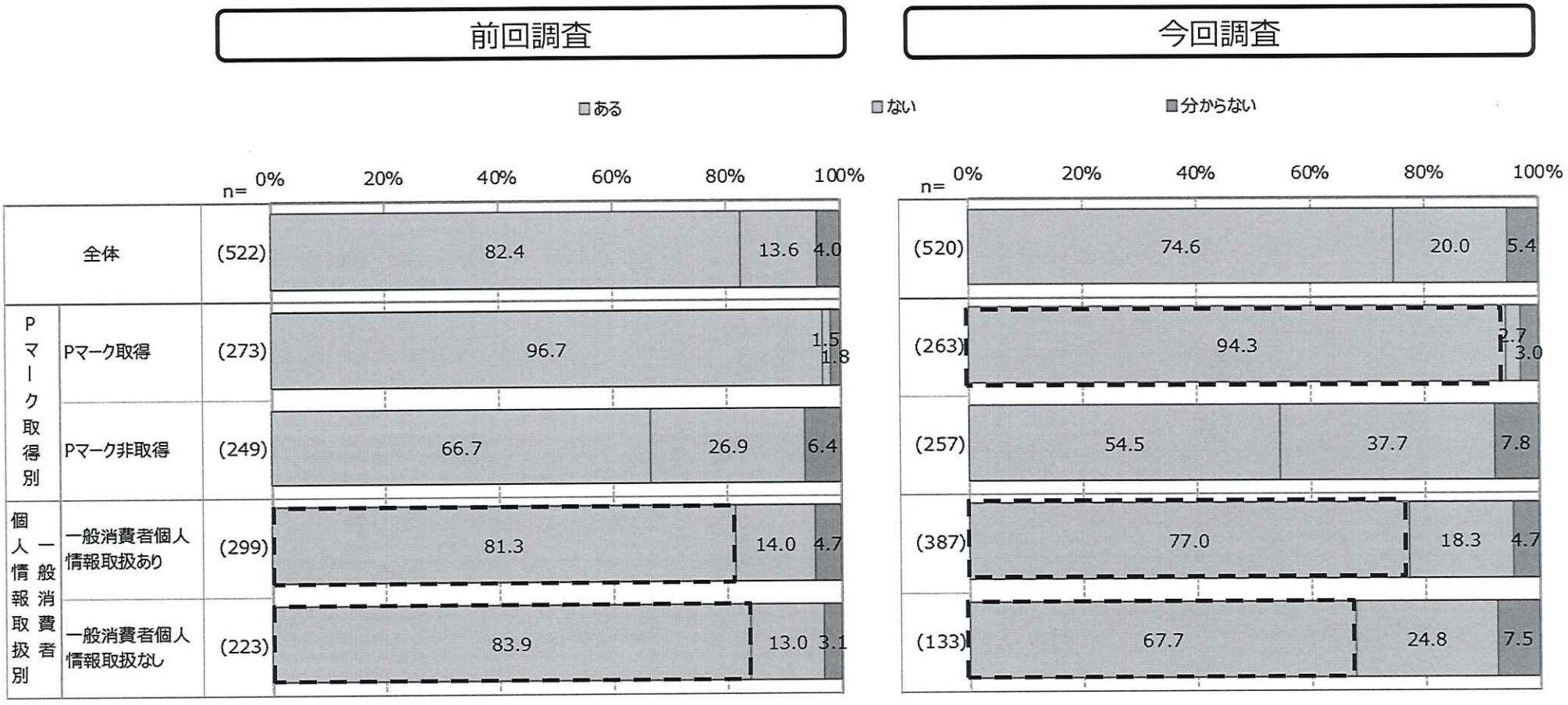
[SA]



8.個人情報取扱社内規定の有無（Q4）

■ 今回調査をPマーク取得別で見ると、取得層の94.3%が社内規定があると回答。
一般消費者個人情報取り扱い別で見ると、「取扱いあり」は77.0%、「取扱いなし」は67.7%といずれも6割以上が「規定あり」と回答した。
■ 前回調査との比較を、一般消費者個人情報取り扱い別で見ると、「取扱いあり・なし」両方で「社内規定がある」が減少傾向。

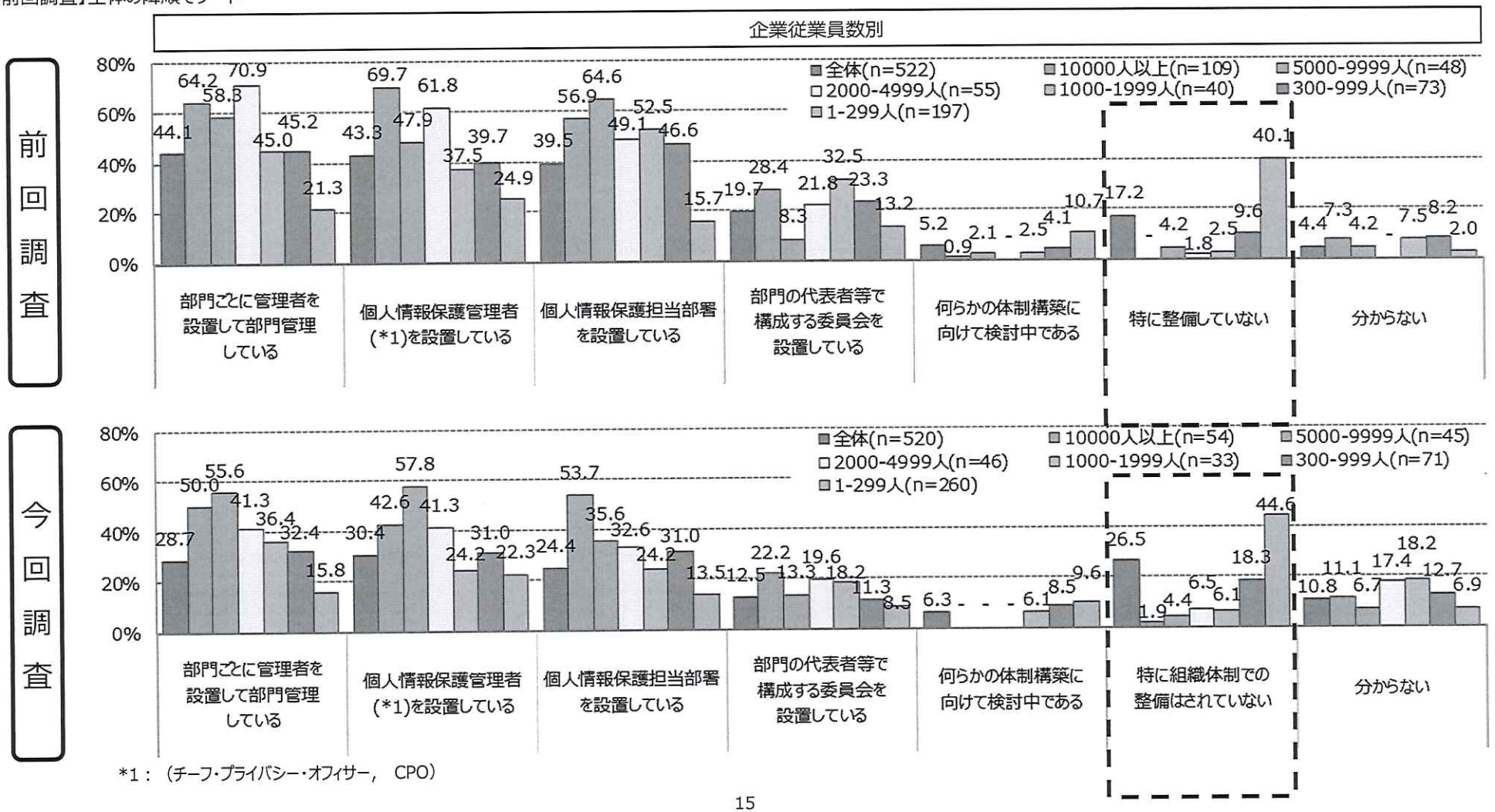
[SA]



9.個人情報管理体制について（Q5）

■ 今回調査を全体で見ると、「個人情報保護管理者を設置している」が最も高く30.4%。次いで「部門ごとに管理者を設置して部門管理している」(28.7%)、「個人情報保護担当部署設置」(24.4%)が挙がる。
■ 前回調査との比較を企業従業員数別で見ると、いずれの層でも「特に組織体制での整備はされていない」で増加傾向。

[MA]
※【前回調査】全体の降順でソート

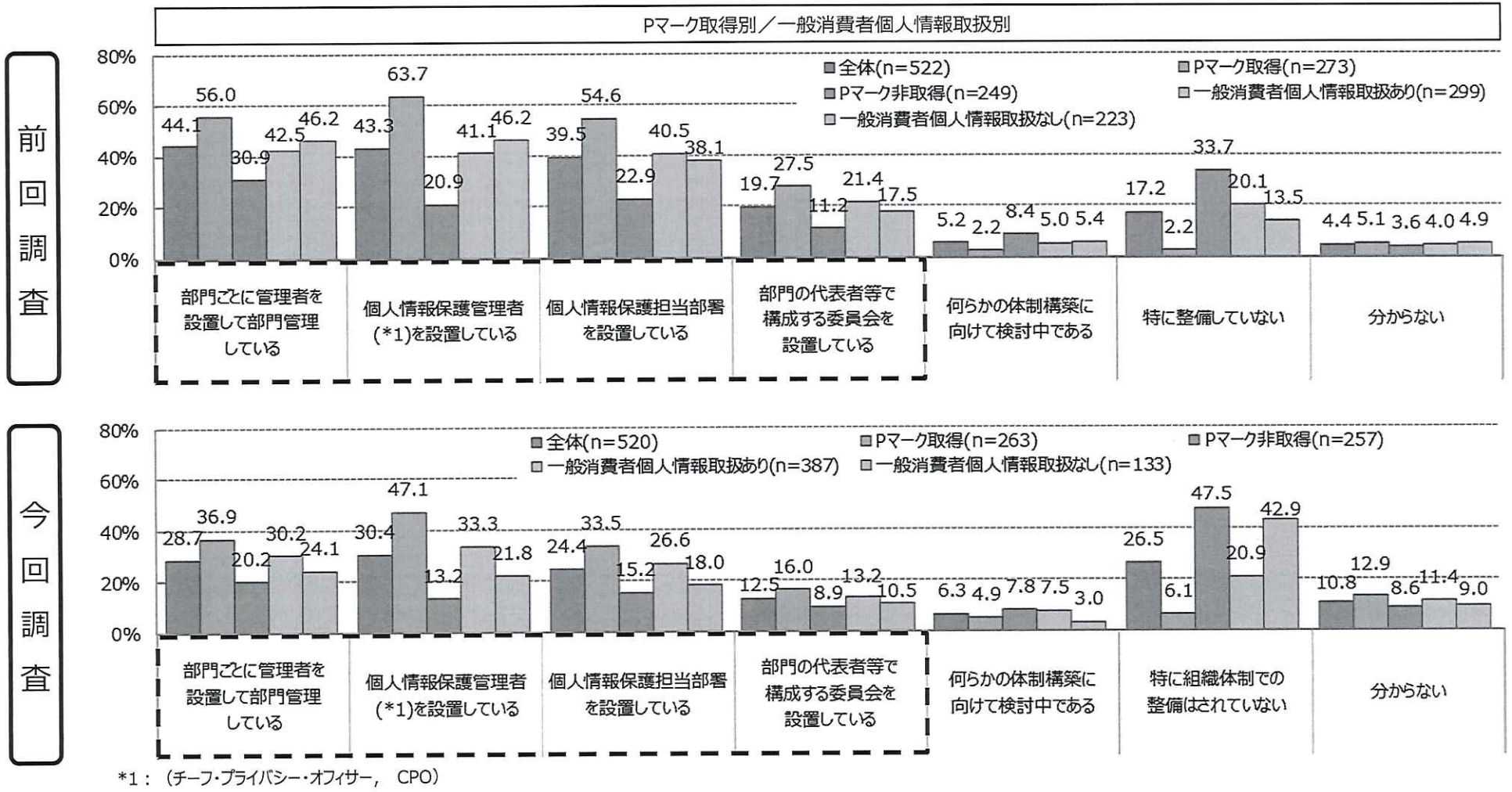


*1：（チーフ・プライバシー・オフィサー， CPO）

10.個人情報管理体制について（Q5）

■ 今回調査をPマーク取得別で見ると、取得層は、非取得層に比べ、個人情報管理に関して何かしら取組を行っている割合が高い。
一般消費者個人情報取り扱い別で見ると、「取扱いあり」が「なし」より総じて高い。
■ 前回調査との比較を見ると、Pマーク取得層と一般消費者個人情報取り扱いあり層が「各種担当者・管理者・部署の設置」で総じて減少傾向。

[MA]
※【前回調査】全体の降順でソート



*1：（チーフ・プライバシー・オフィサー， CPO）

11.個人情報管理部門(Q6)

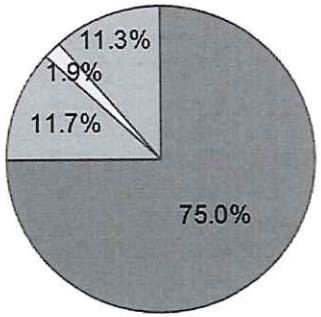
■ 今回調査を全体で見ると、「自社で全て行っている」が75.0%。「守秘義務契約を交わしている他者への委託」は、11.7%。
■ 前回調査との比較を見ると、Pマーク取得別/一般個人情報取り扱い別いずれでも総じて「自社で全て行っている」の回答が減少傾向。

[SA]

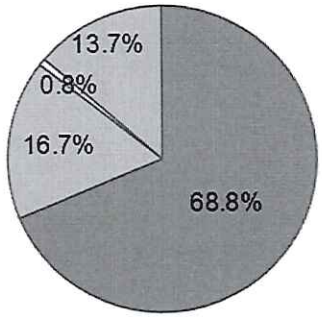
今回調査

Pマーク取得別／一般消費者個人情報取扱別

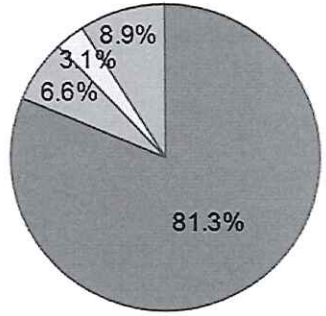
全体(n=520)



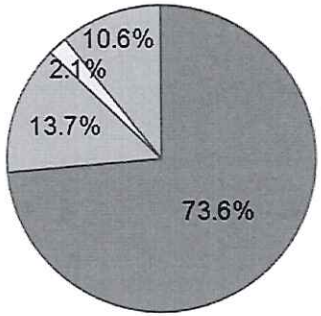
Pマーク取得(n=263)



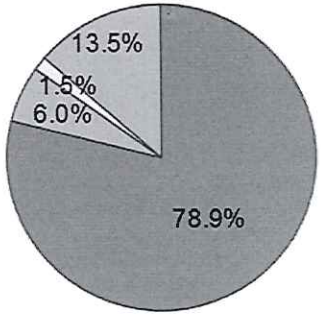
Pマーク非取得(n=257)



一般消費者個人情報取扱あり(n=387)



一般消費者個人情報取扱なし(n=133)



■自社で全てを行っている
□他社へ委託しているが、守秘義務契約を交わしている
□他社へ委託しているが、守秘義務契約を交わしているかどうかは知らない
□分からない

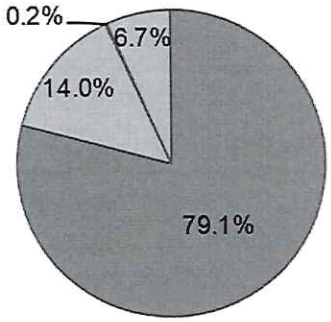
12.個人情報管理部門(Q6)

[SA]

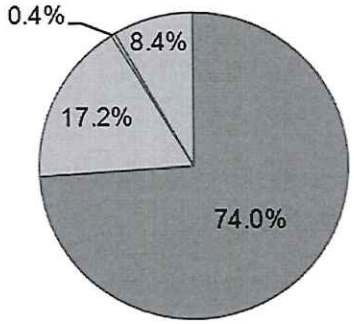
前回調査

Pマーク取得別／一般消費者個人情報取扱別

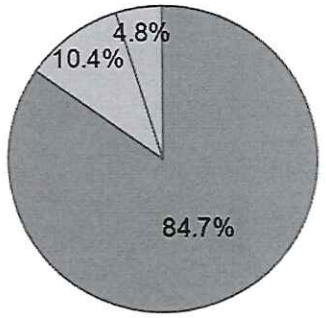
全体(n=522)



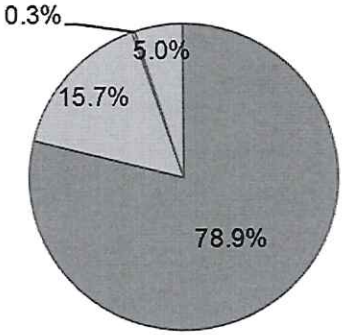
Pマーク取得(n=273)



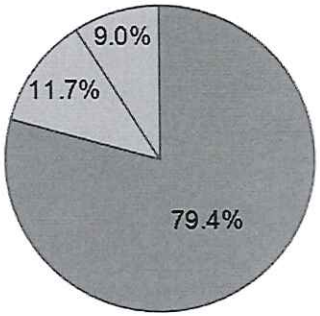
Pマーク非取得(n=249)



一般消費者個人情報取扱あり(n=299)



一般消費者個人情報取扱なし(n=223)

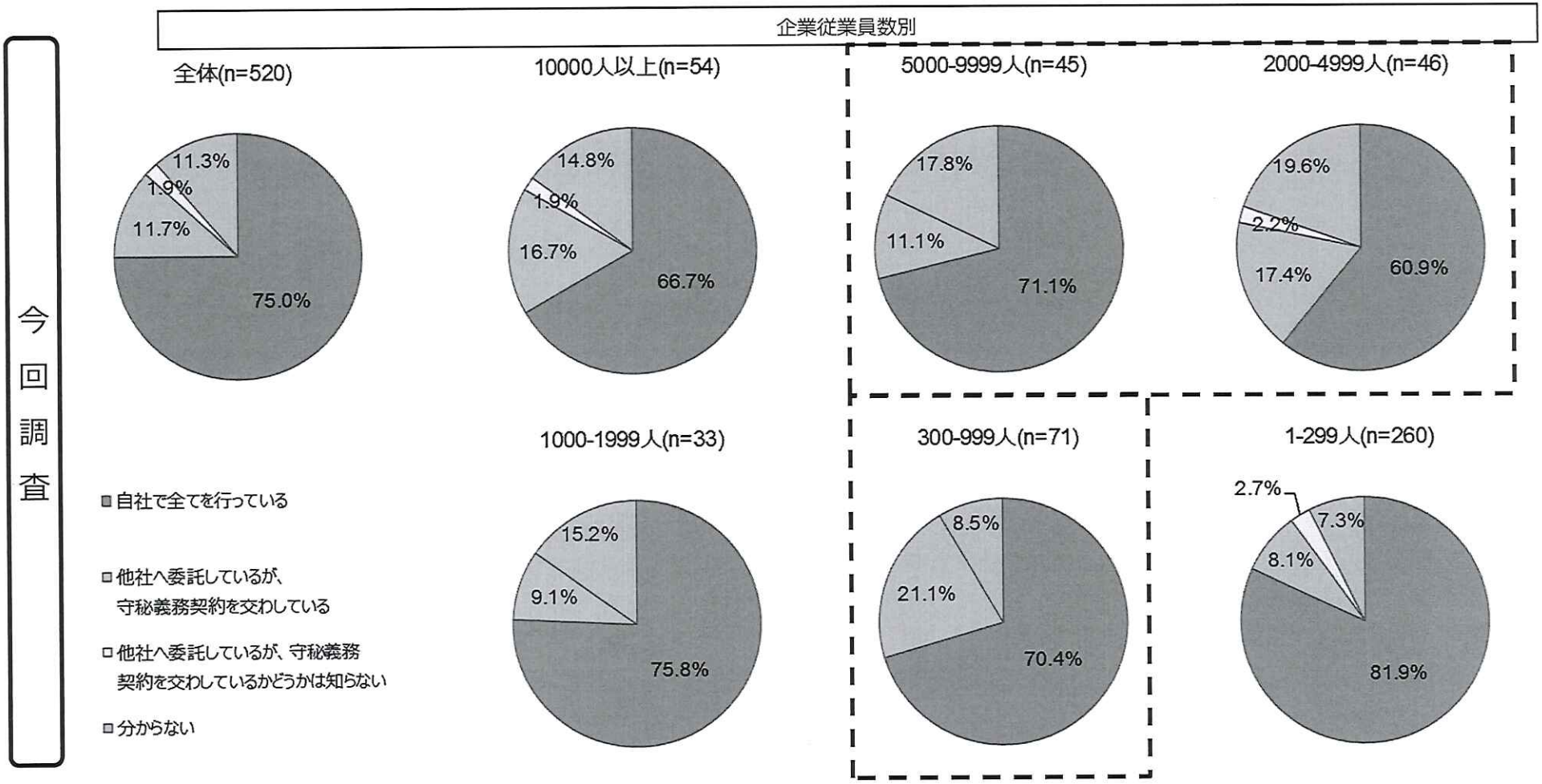


- 自社で全てを行っている
- 他社へ委託しているが、守秘義務契約を交わしている
- 他社へ委託しているが、守秘義務契約を交わしているかどうかは知らない
- 分からない

13.個人情報管理部門(Q6)

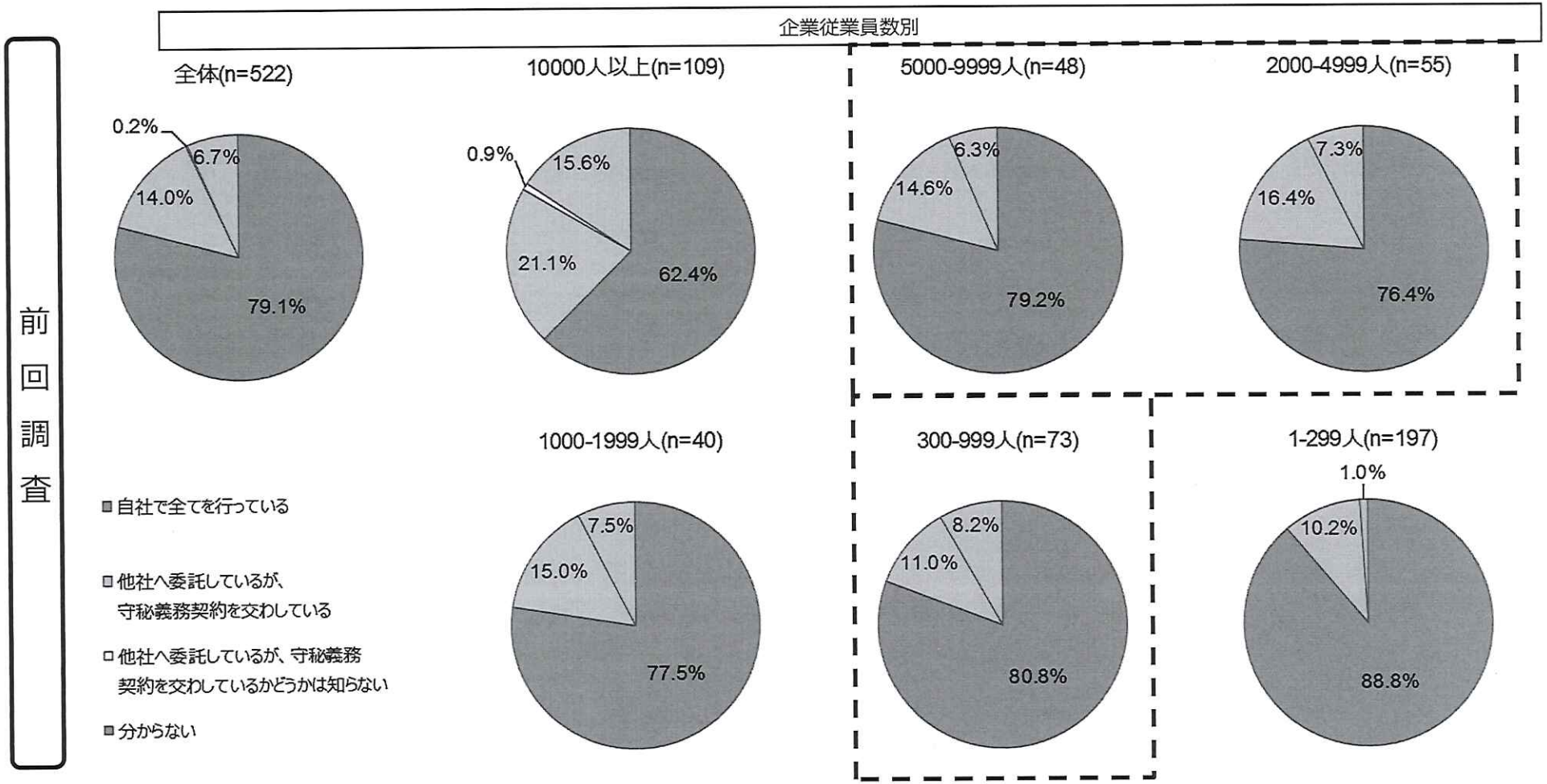
■ 前回調査との比較を、従業員数別で見ると「300-999人」「2000-4999人」「5000-9999人」が「自社で全てを行っている」で特に減少傾向。

[SA]



14.個人情報管理部門(Q6)

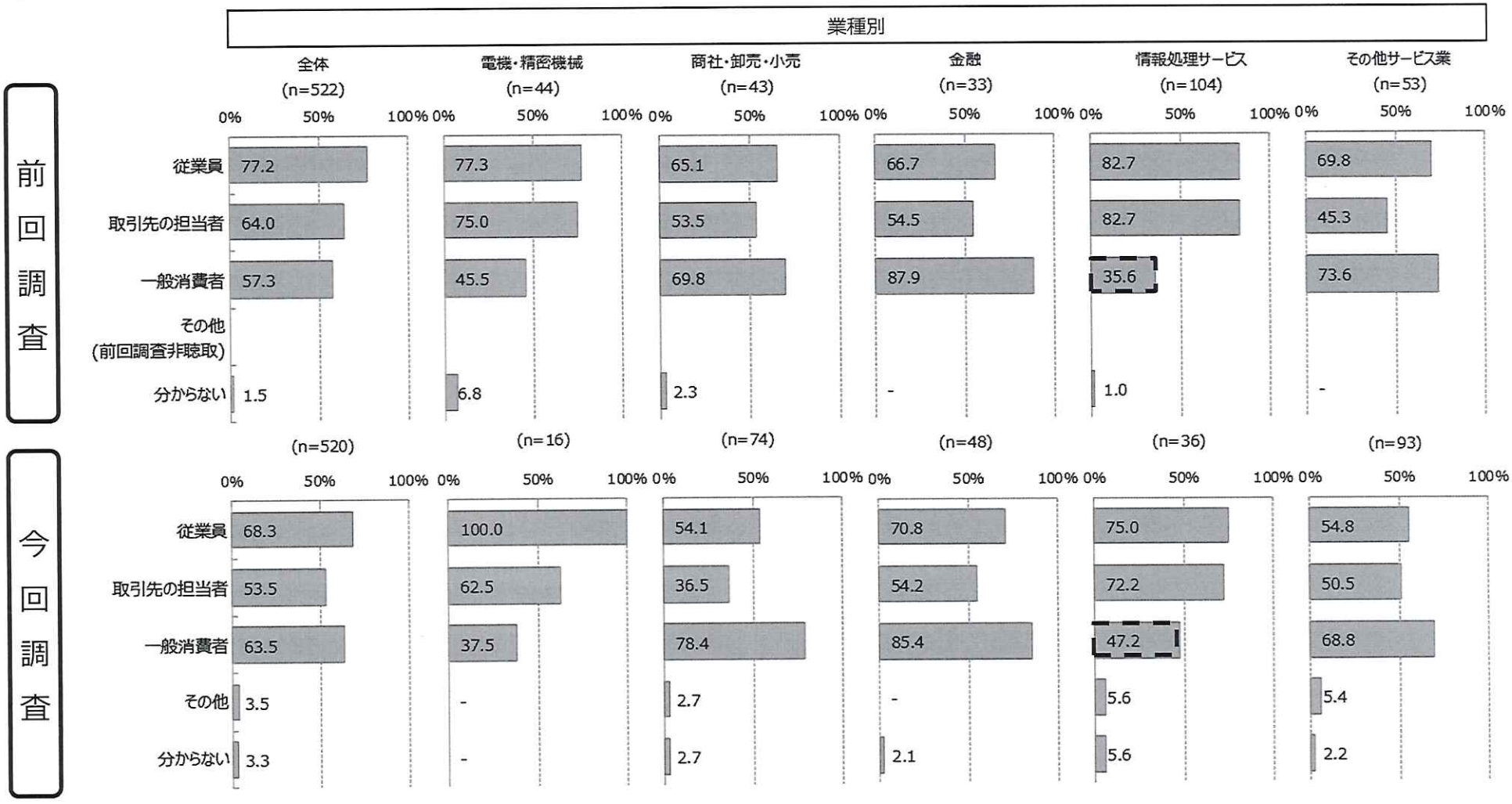
[SA]



15.取り扱っている個人情報(Q7)

■ 今回調査を全体で見ると、主に扱われている個人情報は、「従業員」「一般消費者」「取引先情報」となった。
■ 前回調査との比較を業種別で見ると、「情報処理サービス」が「一般消費者」で増加。

[MA]

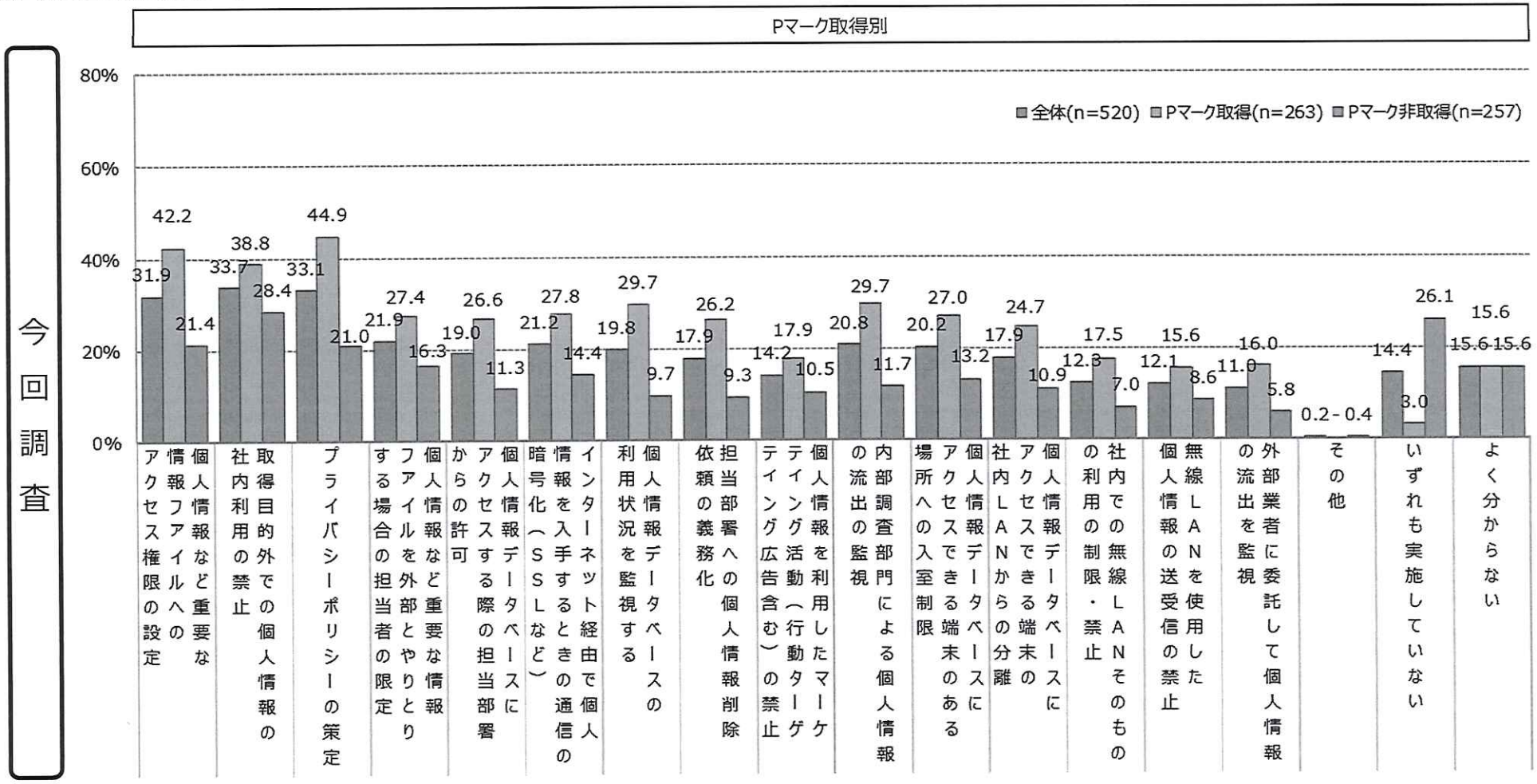


(n=30未満のスコアは参考値)

16.個人情報管理の運用（Q8）

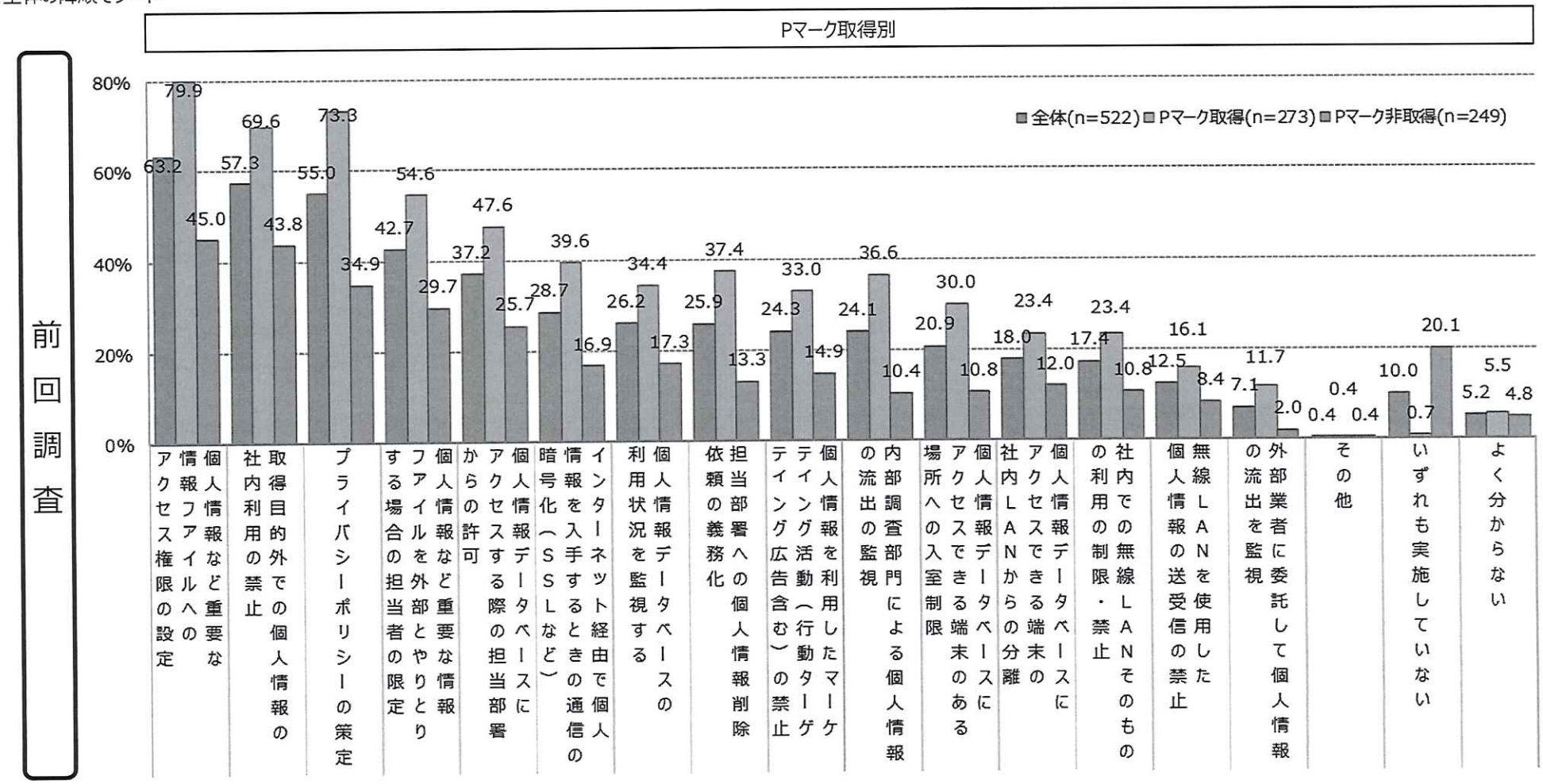
■ 今回調査をPマーク取得別で見ると、取得層がいずれの項目でも非取得層に比べ高い。
■ 前回調査との比較を見ると、いずれの項目でも傾向に大きな差は見られなかった。

[MA]
※【前回調査】全体の降順でソート



17.個人情報管理の運用(Q8)

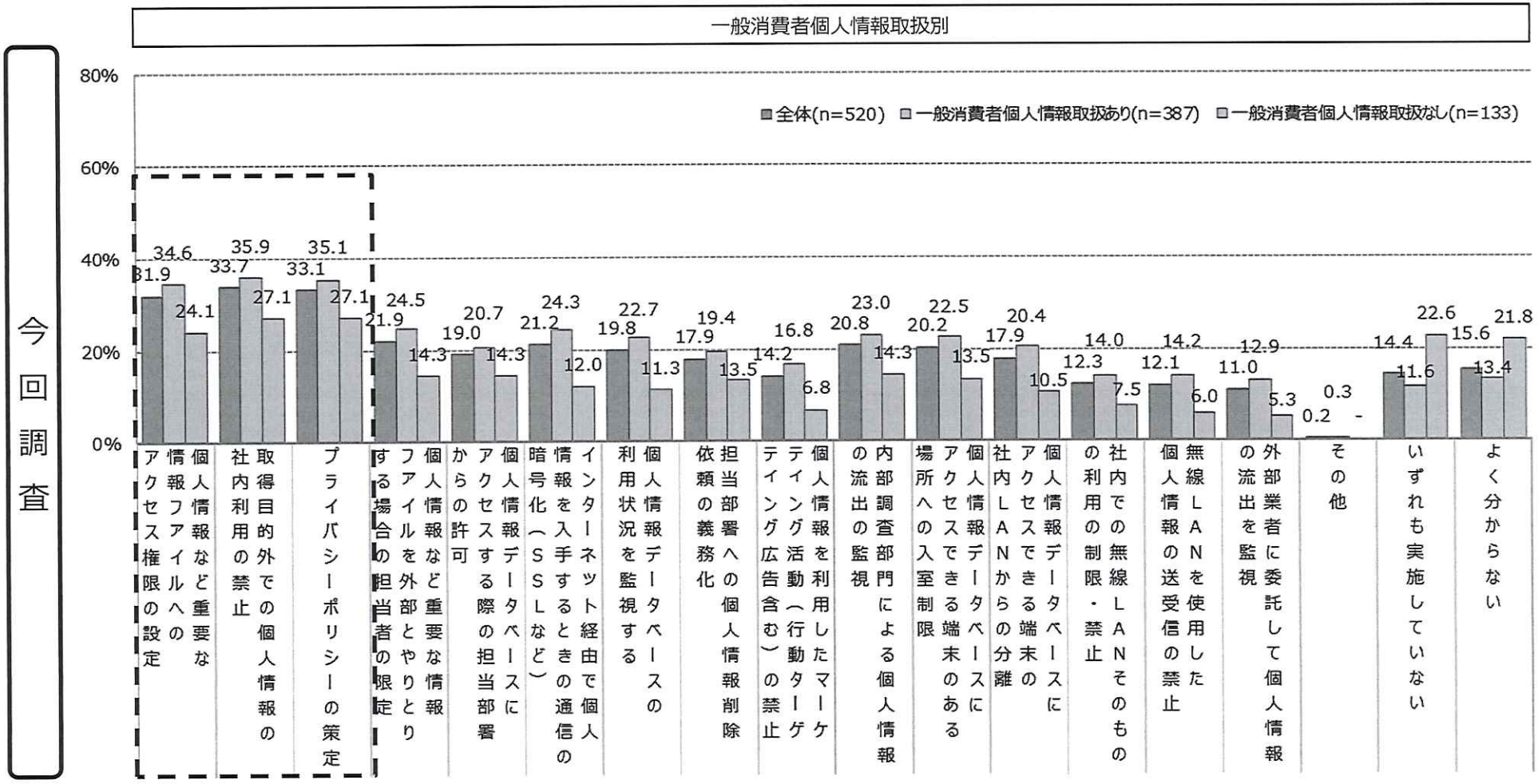
[MA]
※全体の降順でソート



18.個人情報管理の運用(Q8)

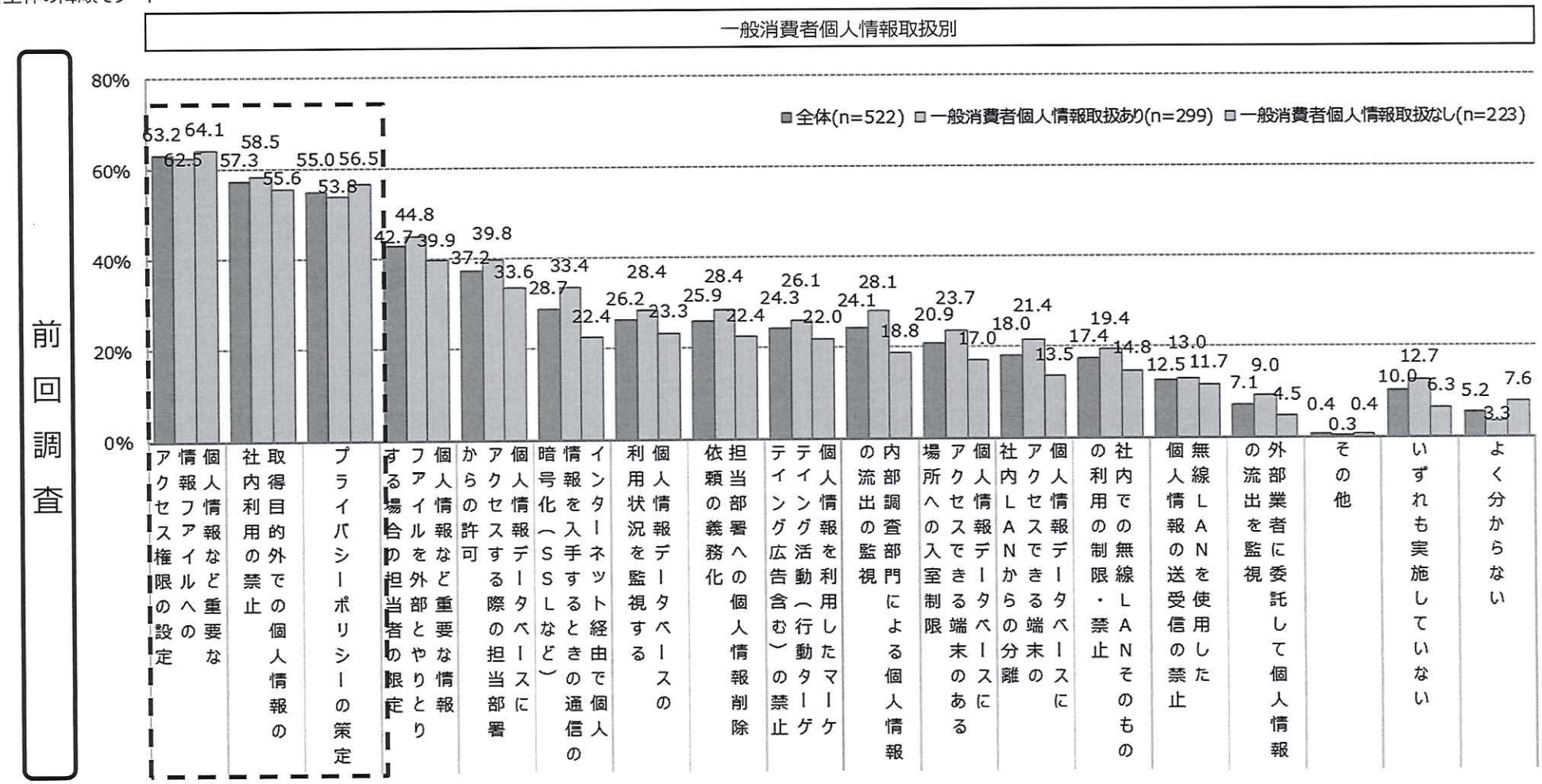
■ 今回調査を全体で見ると、「取得目的外での個人情報の社内利用の禁止」が最も高く33.7%。
次いで「プライバシーポリシーの策定」(33.1%)、「個人情報などの重要な情報ファイルへのアクセス権限の設定」(31.9%)が挙がる。
一般消費者個人情報取り扱い別で見ると、個人情報取り扱いあり層が総じて取扱いなし層に比べ高い。
■ 前回調査との比較を一般消費者個人情報取り扱い別で見ると、取扱いなし層が全体値上位3項目で減少傾向。

[MA]
※【前回調査】全体の降順でソート



19.個人情報管理の運用（Q8）

[MA]
※全体の降順でソート



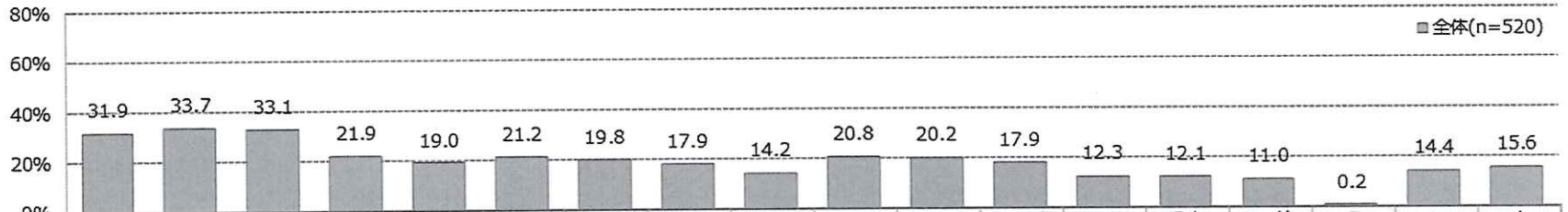
20.個人情報管理の運用（Q8）

■ 企業従業員数別の「1-299人」を見ると、「いずれも実施していない」で他の層に比べ突出して高い。

[MA]
※【前回調査】全体の降順でソート

今回調査

企業従業員数別



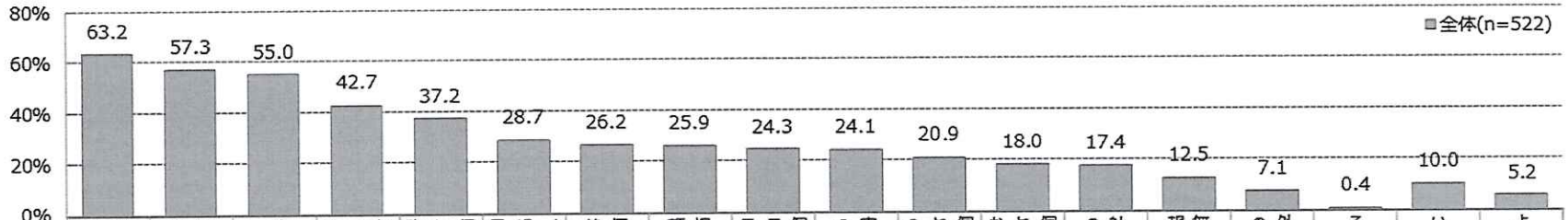
	n=	個人情報など重要な情報ファイルへのアクセス権限の設定	取得目的外での個人情報の社内利用の禁止	プライバシーポリシーの策定	個人情報など重要な情報ファイルを外部とやりとりする場合の担当者の限定	個人情報データベースにアクセスする際の担当部署からの許可	インターネット経由で個人情報を入手するときの通信の暗号化（SSLなど）	個人情報データベースの利用状況を監視する	担当部署への個人情報削除依頼の義務化	個人情報を利用したマーケティング活動（行動ターゲティング広告含む）の禁止	内部調査部門による個人情報の流出の監視	個人情報データベースにアクセスできる端末のある場所への入室制限	個人情報データベースにアクセスできる端末の社内LANからの分離	社内での無線LANそのものの利用の制限・禁止	無線LANを使用した個人情報の送受信の禁止	外部業者に委託して個人情報の流出を監視	その他	いずれも実施していない	よく分からない
全体	(520)	31.9	33.7	33.1	21.9	19.0	21.2	19.8	17.9	14.2	20.8	20.2	17.9	12.3	12.1	11.0	0.2	14.4	15.6
10000人以上	(54)	44.4	42.6	57.4	33.3	33.3	27.8	40.7	35.2	22.2	40.7	35.2	29.6	14.8	22.2	24.1	-	1.9	5.6
5000-9999人	(45)	51.1	46.7	44.4	24.4	40.0	24.4	35.6	22.2	17.8	40.0	28.9	26.7	20.0	15.6	11.1	-	-	24.4
2000-4999人	(46)	45.7	37.0	39.1	32.6	32.6	21.7	32.6	17.4	19.6	26.1	26.1	21.7	15.2	10.9	17.4	-	-	26.1
1000-1999人	(33)	45.5	39.4	39.4	30.3	21.2	33.3	18.2	36.4	9.1	30.3	36.4	21.2	6.1	24.2	15.2	-	6.1	12.1
300-999人	(71)	45.1	38.0	38.0	21.1	26.8	25.4	19.7	22.5	14.1	21.1	26.8	23.9	19.7	12.7	15.5	-	2.8	19.7
1-299人	(260)	18.5	27.7	23.5	16.9	8.1	16.9	10.8	10.4	11.9	10.8	10.8	11.2	8.5	7.3	5.8	0.4	26.9	12.3

21.個人情報管理の運用(Q8)

[MA]
※全体の降順でソート

前回調査

企業従業員数別

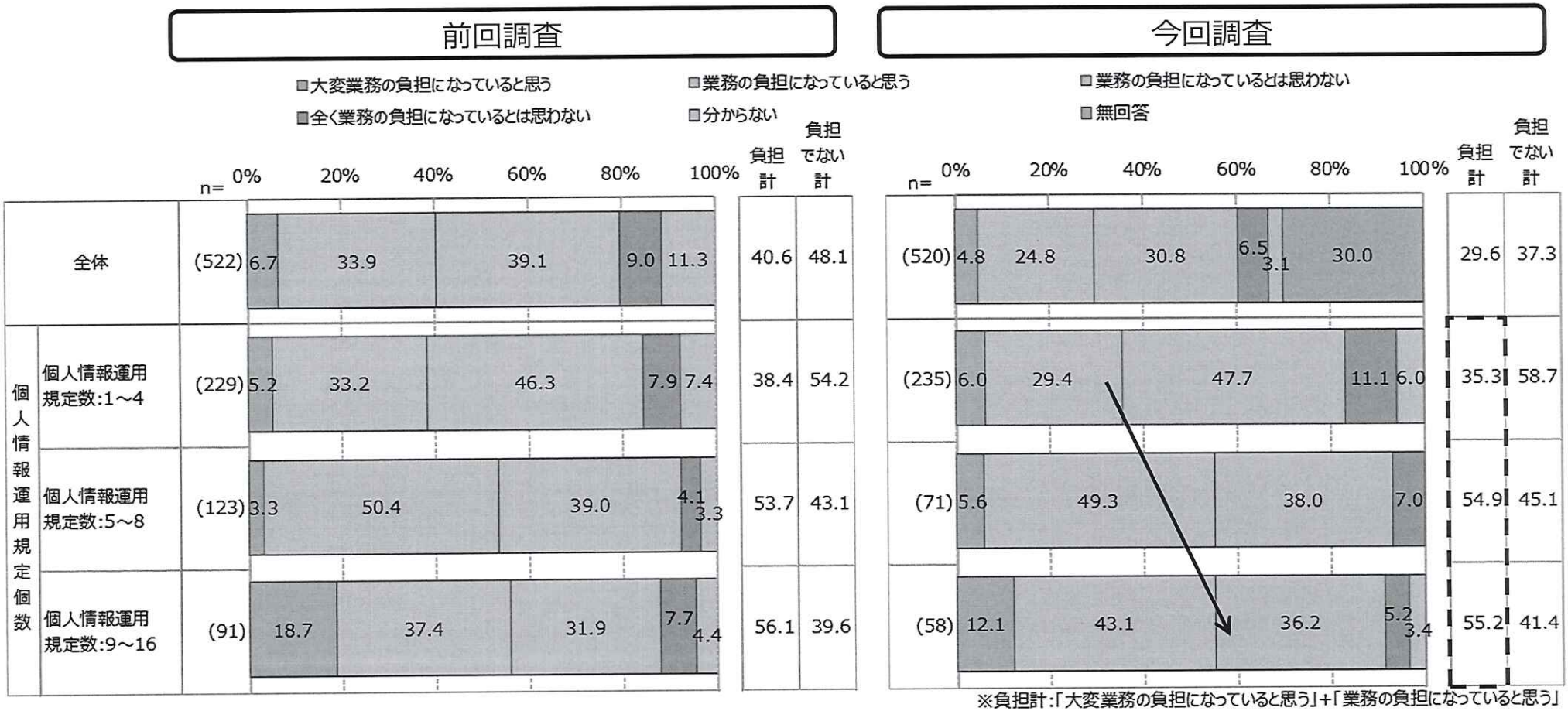


	n=	個人情報など重要な情報ファイルへのアクセス権限の設定	取得目的外での個人情報の社内利用の禁止	プライバシーポリシーの策定	個人情報など重要な情報ファイルを外部とやりとりする場合の担当者の限定	個人情報データベースにアクセスする際の担当部署からの許可	インターネット経由で個人情報を入手するときの通信の暗号化(SSLなど)	個人情報データベースの利用状況を監視する	担当部署への個人情報削除依頼の義務化	個人情報を利用したマーケティング活動(行動ターゲティング広告含む)の禁止	内部調査部門による個人情報の流出の監視	個人情報データベースにアクセスできる端末のある場所への入室制限	個人情報データベースにアクセスできる端末の社内LANからの分離	社内での無線LANそのものの利用の制限・禁止	無線LANを使用した個人情報の送受信の禁止	外部業者に委託して個人情報の流出を監視	その他	いずれも実施していない	よく分からない
全体	(522)	63.2	57.3	55.0	42.7	37.2	28.7	26.2	25.9	24.3	24.1	20.9	18.0	17.4	12.5	7.1	0.4	10.0	5.2
10000人以上	(109)	81.7	75.2	66.1	56.0	52.3	38.5	41.3	35.8	31.2	38.5	32.1	25.7	19.3	15.6	9.2	0.9	0.9	5.5
5000-9999人	(48)	75.0	64.6	56.3	47.9	43.8	31.3	37.5	31.3	31.3	29.2	25.0	22.9	16.7	12.5	10.4	-	4.2	8.3
2000-4999人	(55)	85.5	74.5	80.0	49.1	49.1	36.4	36.4	34.5	32.7	38.2	29.1	21.8	34.5	18.2	10.9	-	-	1.8
1000-1999人	(40)	75.0	62.5	72.5	50.0	50.0	27.5	30.0	47.5	25.0	27.5	27.5	22.5	15.0	12.5	2.5	-	-	10.0
300-999人	(73)	68.5	60.3	61.6	50.7	38.4	37.0	26.0	20.5	23.3	23.3	20.5	13.7	23.3	13.7	8.2	-	2.7	8.2
1-299人	(197)	39.6	38.6	35.5	27.9	20.8	17.8	11.7	14.2	16.8	10.7	10.2	12.2	10.2	8.6	4.6	0.5	23.9	3.0

22.個人情報管理の束縛レベル［生産性］（Q9）

- 個人情報運用規定の回答個数と業務との負担について分析した。
- 今回調査の個人情報運用規定個数を見ると、運用規定個数が多い企業になるほど負担が強まる傾向。
- 前回調査との比較を個人情報運用規定個数で見ると、傾向に大きな変化は見られない。

[SA]



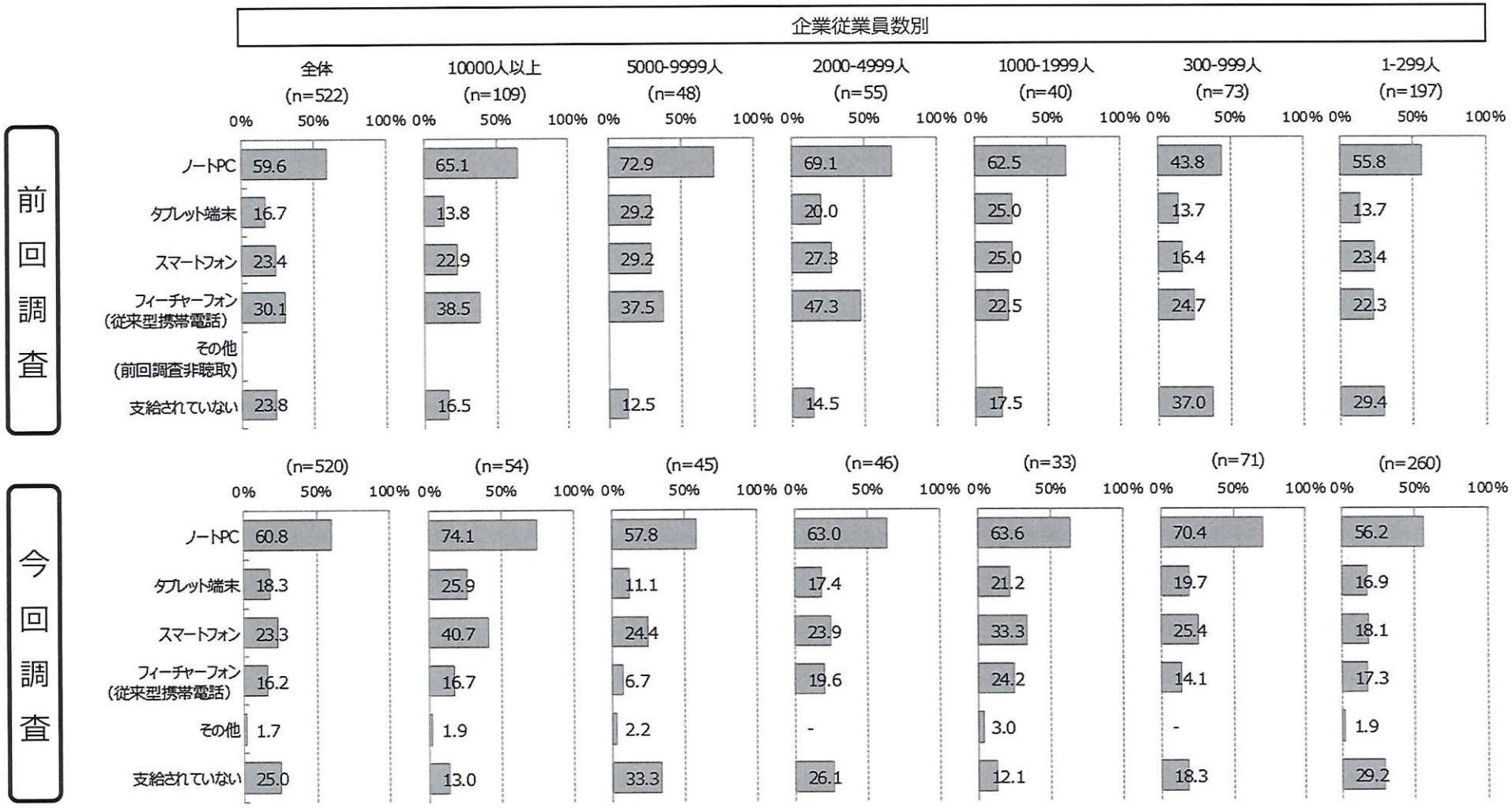
※負担計:「大変業務の負担になっていると思う」+「業務の負担になっていると思う」

※負担でない計:「業務の負担になっているとは思わない」+「全く業務の負担になっているとは思わない」

23.モバイルデバイスの支給状況(Q11)

■ 今回調査の全体を見ると、「ノートPC」が最も高く60.8%。次いで「スマートフォン」(23.3%)、「タブレット端末」(18.3%)となった。
■ 前回調査との比較を企業従業員数別で見ると、「フィーチャーフォン」がいずれの従業員数の層でも減少傾向。

[MA]

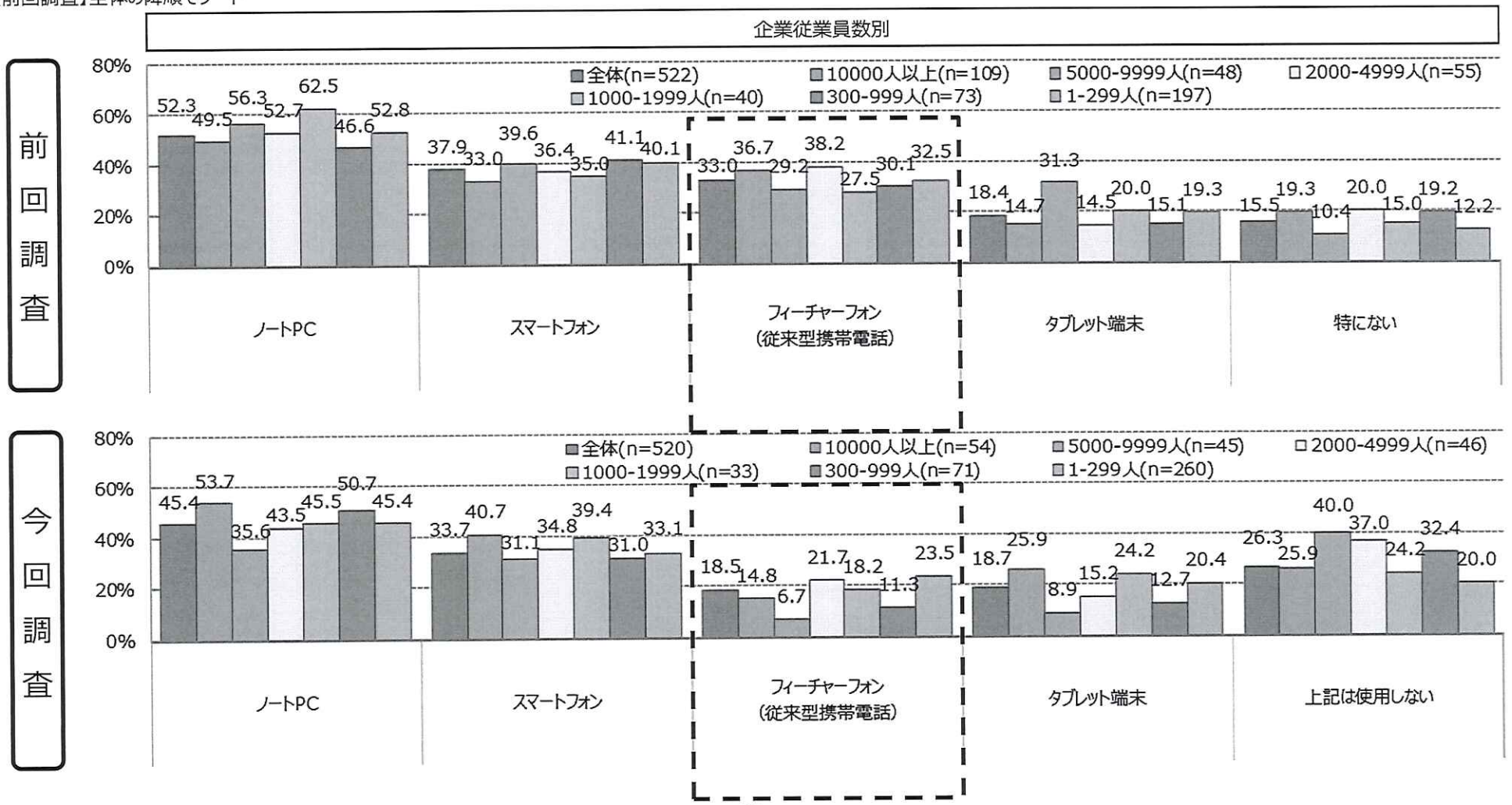


24.回答者の社外でのモバイルコンピューティング状況(Q12)

- 社外で業務に用いるモバイルデバイスの種類をたずねた。
- 今回調査の全体を見ると、「ノートPC」が最も高く「45.4%」、次いで「スマートフォン」(33.7%)、「タブレット端末」(18.7%)が挙がる。
- 前回調査との比較を、企業従業員数別で見ると「フィーチャーフォン」が減少傾向。

[MA]

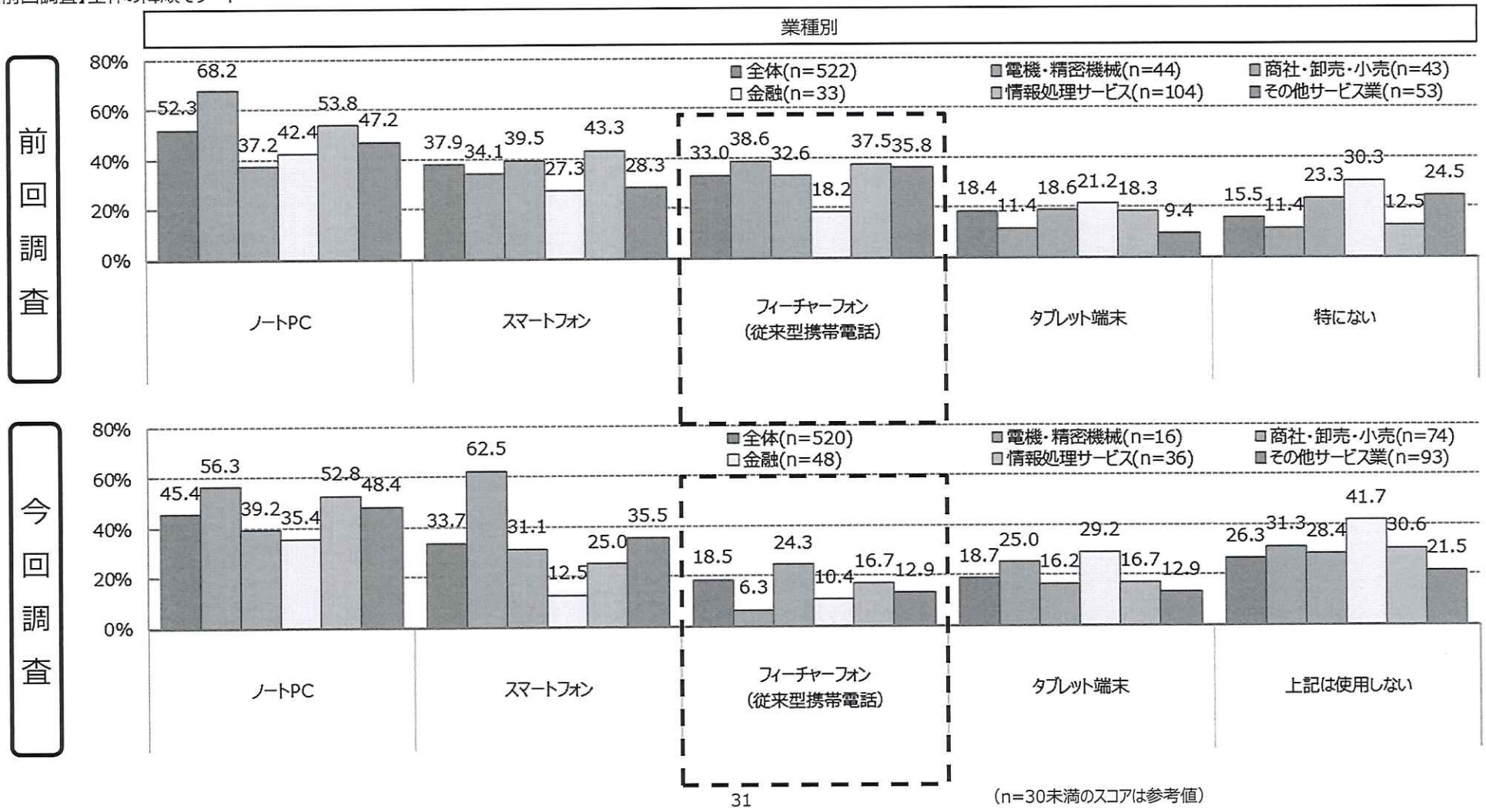
※【前回調査】全体の降順でソート



25.回答者の社外でのモバイルコンピューティング状況（Q12）

■ 今回調査を業種別に見ると、「電気・精密機械」「情報処理サービス」層は、いずれも回答者の半数以上が「ノートPC」を社外で使用している。
■ 前回調査との比較を、業種別で見ると「フィーチャーフォン」が減少傾向。

[MA]
※【前回調査】全体の降順でソート

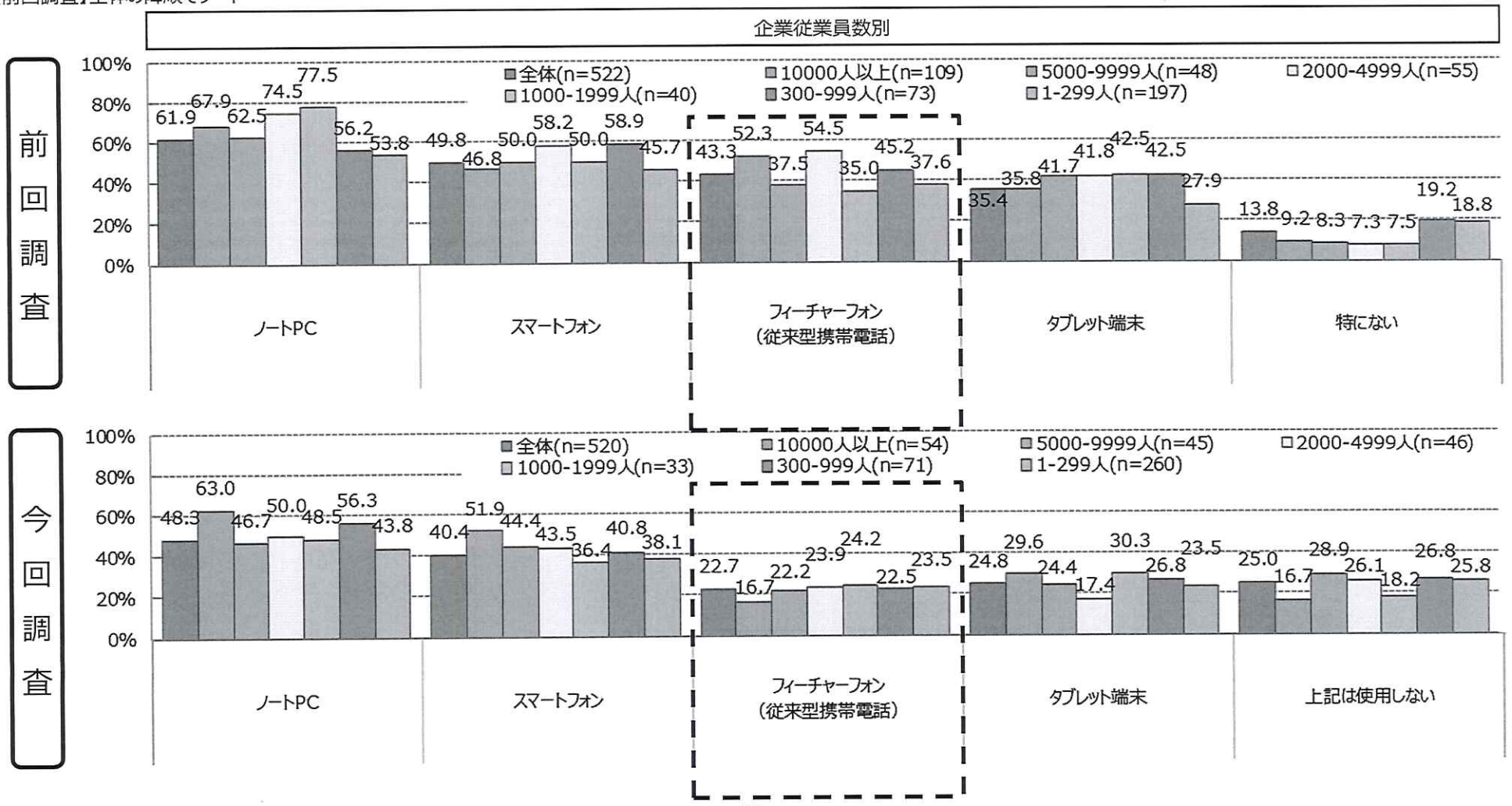


（n=30未満のスコアは参考値）

26.回答者の同僚の社外でのモバイルコンピューティング状況（Q13）

■ 今回調査の全体を見ると、「ノートPC」が最も高く48.3%。次いで「スマートフォン」(40.4%)、「タブレット端末」(24.8%)が挙がる。
■ 前回調査との比較を企業従業員数別で見ると、「フィーチャーフォン」が減少傾向。

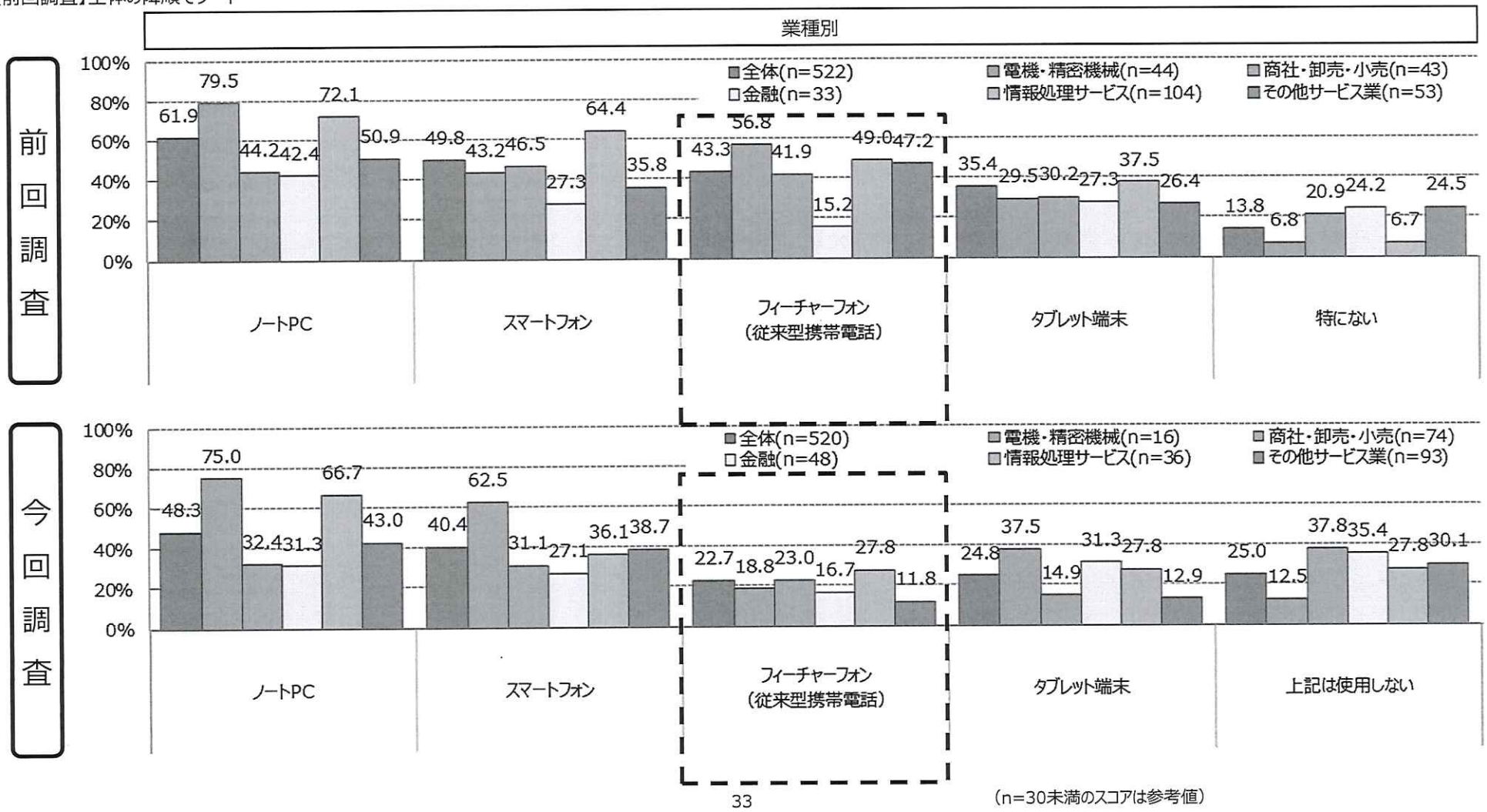
[MA]
※【前回調査】全体の降順でソート



27.回答者の同僚の社外でのモバイルコンピューティング状況（Q13）

■ 前回調査との比較を業種別で見ると、「フィーチャーフォン」が減少傾向。

[MA]
※【前回調査】全体の降順でソート



（n=30未満のスコアは参考値）

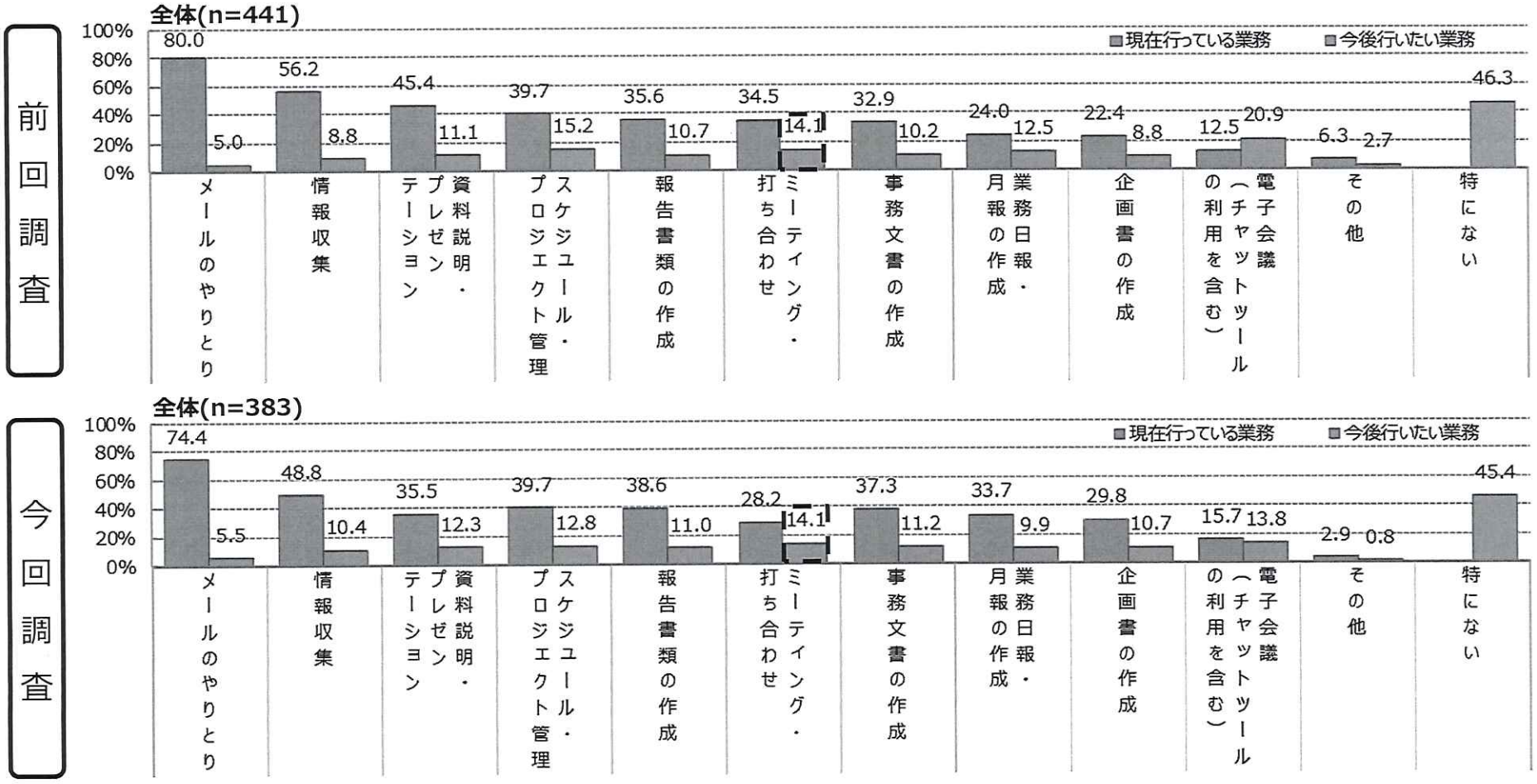
28.回答者の社外でのモバイルコンピューティング業務(Q14&Q15)

- 今回調査の 「現在行っている業務」を見ると、「メールのやりとり」が最も高く74.4%。
  次いで「情報収集」(48.8%)、「スケジュール・プロジェクト管理」(39.7%)が挙がる。
- 「今後行いたい業務」で最も高かったのは「ミーティング・打ち合わせ」(14.4%)となった。
- 前回調査との比較を「今後行いたい業務」で見ると、「会議・ミーティング」が依然として一定数存在。

[MA]

※【前回調査】「現在行っている業務」の降順でソート

※モバイルデバイス社外利用者ベース



29.回答者の社外でのモバイルコンピューティング業務_ノートPC(Q14&Q15)

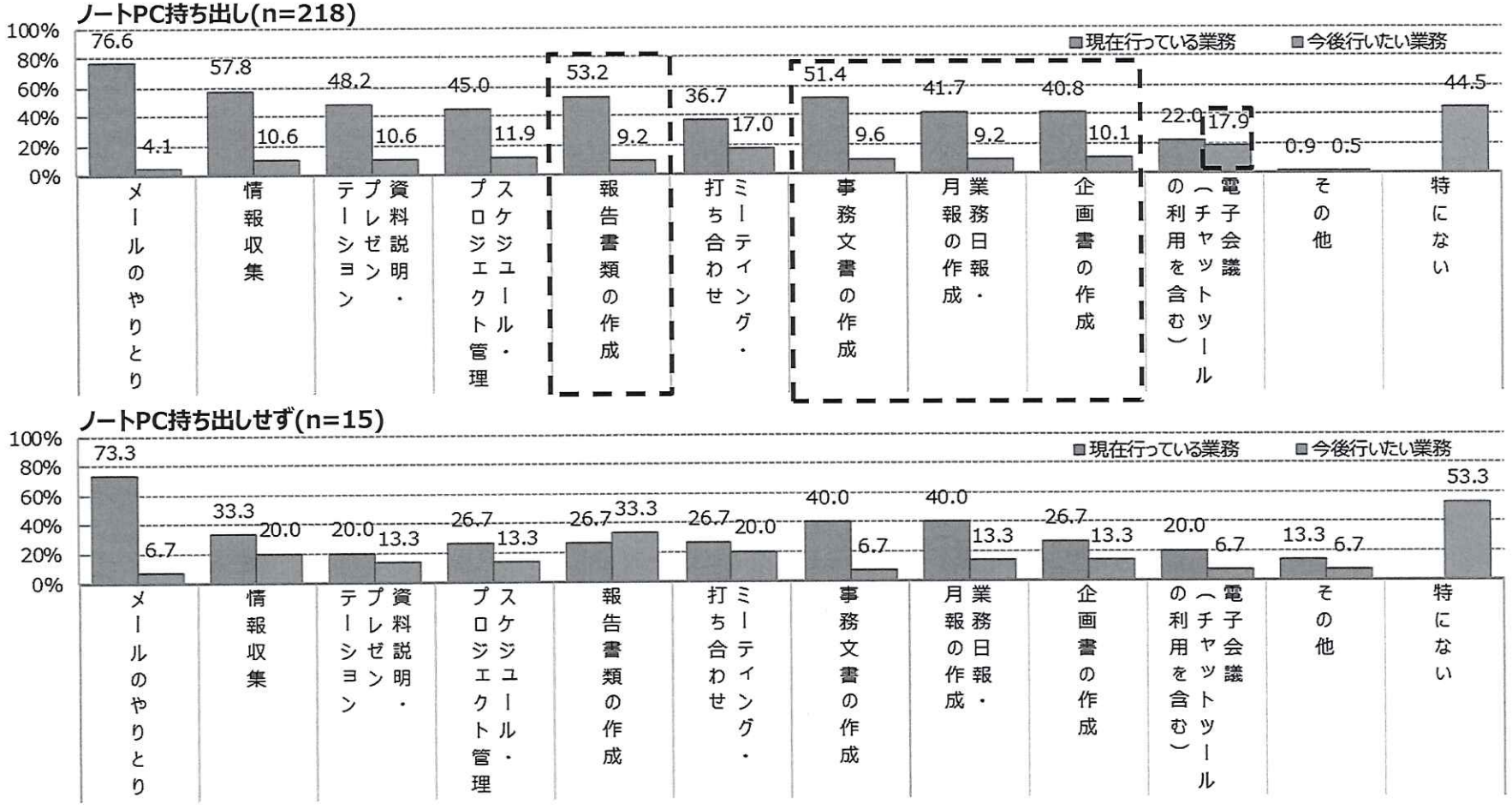
- 今回調査の「ノートPC持ち出し」を見ると、「今後行いたい業務」が、「電子会議」で高い。
- 前回調査との比較をノートPC持ち出し・現在行っている業務で見ると、「報告書類・事務文書・日報/月報・企画書」など「各種作成業務」で増加傾向。
  今後行いたい業務は、「電子会議」で引き続き高め。

[MA]

※【前回調査】「現在行っている業務」全体の降順でソート

※モバイルデバイス社外利用者ベース

今回調査



(n=30未満のスコアは参考値)

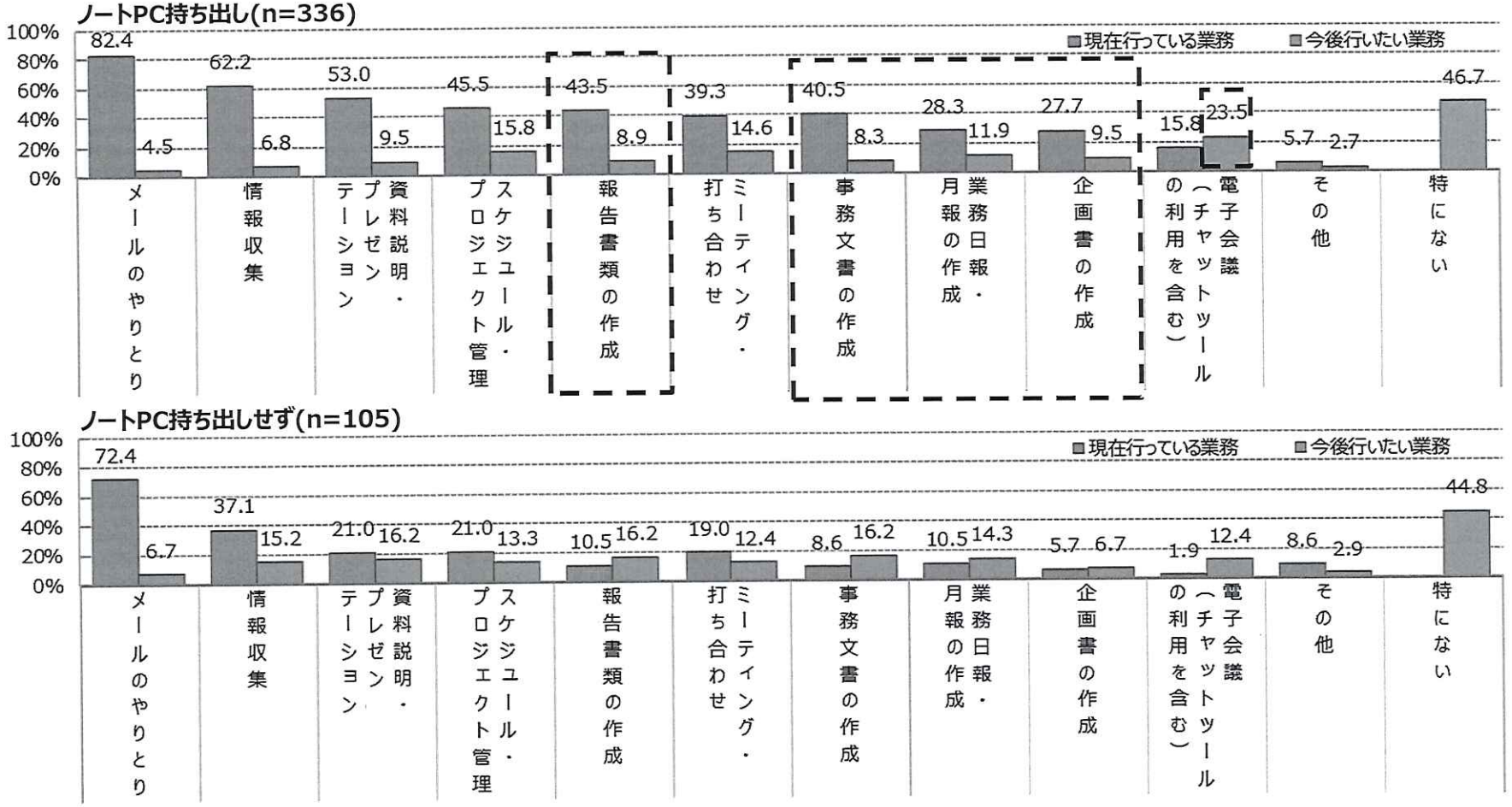
30.回答者の社外でのモバイルコンピューティング業務_ノートPC（Q14＆Q15）

[MA]

※【前回調査】「現在行っている業務」全体の降順でソート

※モバイルデバイス社外利用者ベース

前回調査



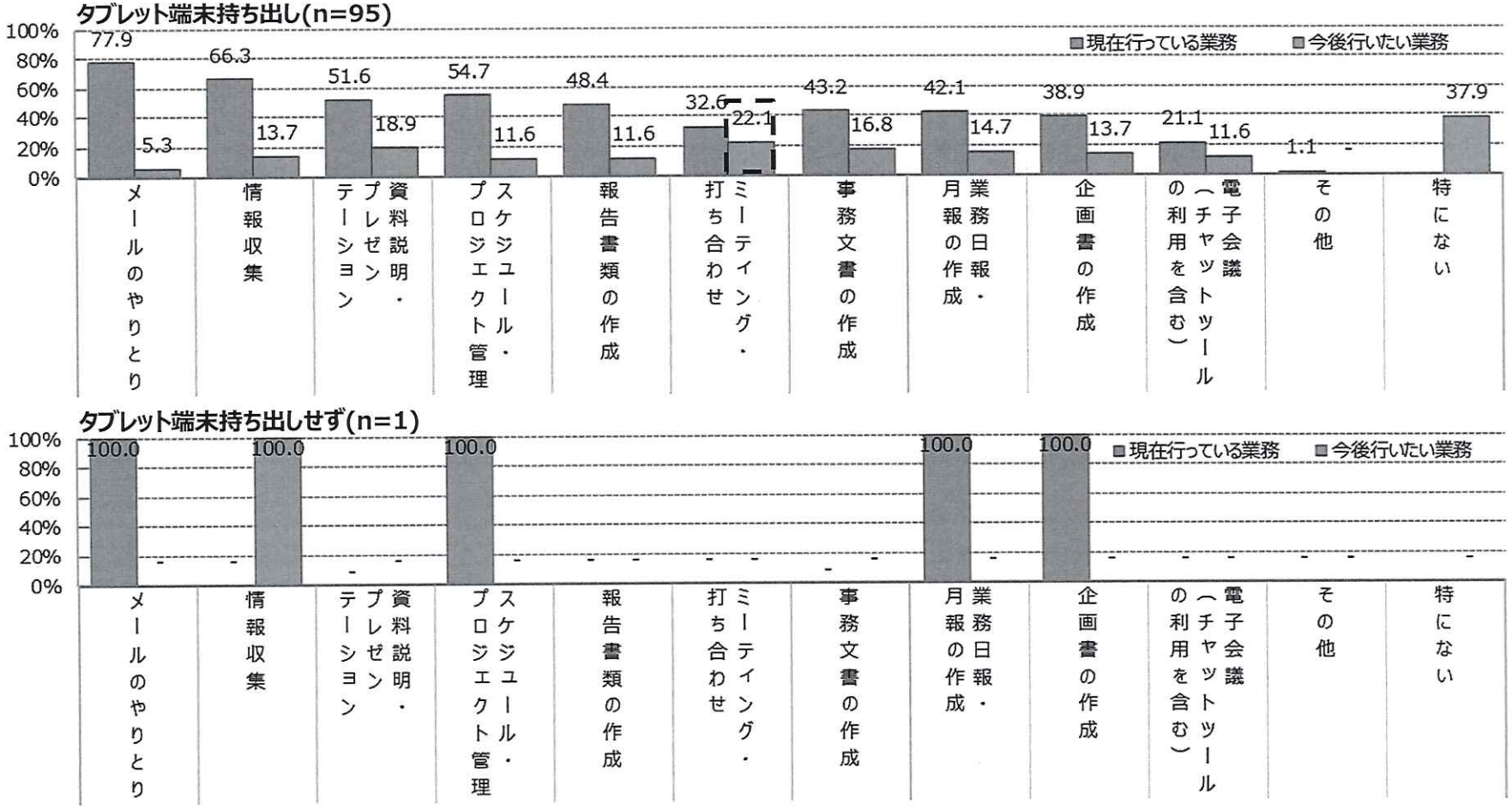
31.回答者の社外でのモバイルコンピューティング業務_タブレット端末（Q14＆Q15）

■ 今回調査の「タブレット端末持ち出し」を見ると、「現在行っている業務」が「メールのやり取り」「情報収集」で高い。
「今後行いたい業務」では「ミーティング・打ち合わせ」が最も高い。
■ 前回調査との比較を「今後行いたい業務」で見ると、「ミーティング・打ち合わせ」でのニーズが増加傾向。

[MA]
※【前回調査】「現在行っている業務」全体の降順でソート

※モバイルデバイス社外利用者ベース

今回調査



（n=30未満のスコアは参考値）

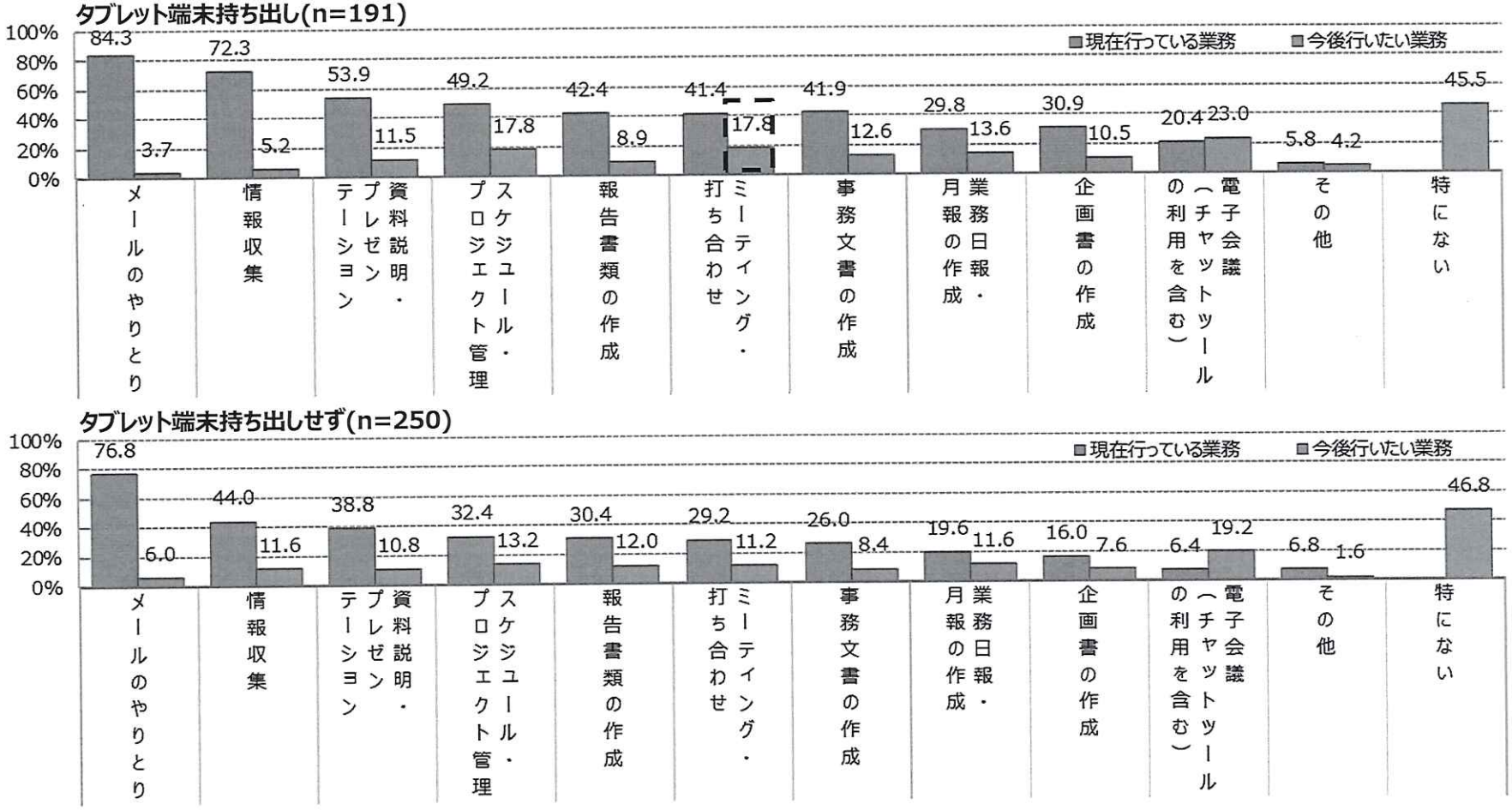
32.回答者の社外でのモバイルコンピューティング業務_タブレット端末（Q14＆Q15）

[MA]

※【前回調査】「現在行っている業務」全体の降順でソート

※モバイルデバイス社外利用者ベース

前回調査

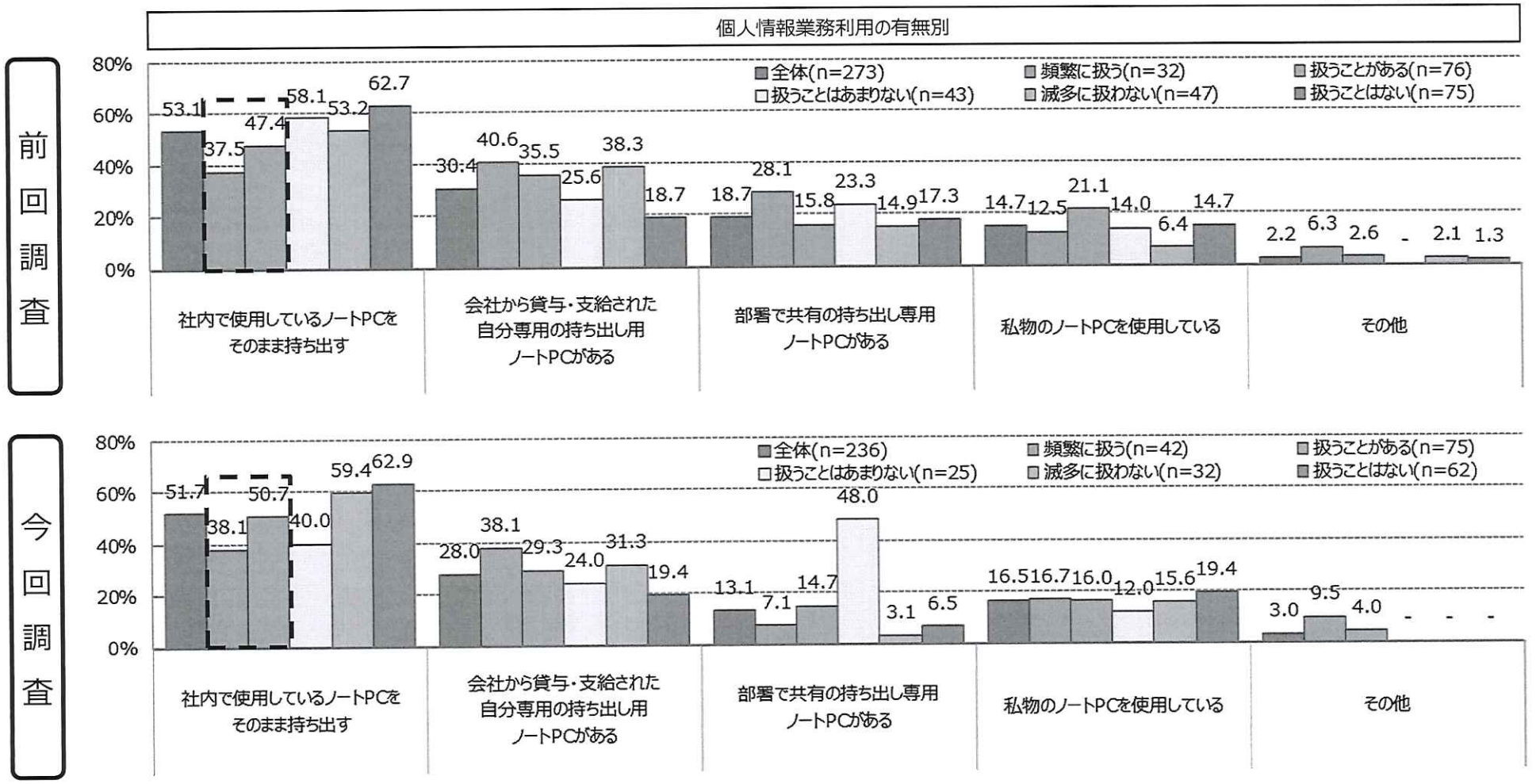


33.回答者の社外ノートPC持ち出し（Q16）

- ノートPC社外持ち出し者に、持ち出し形態をたずねた。
- 今回調査の全体を見ると、「社内で使用しているノートPCをそのまま持ち出す」が最も高く51.7%。
- 前回調査との比較を個人情報業務利用の有無別で見ると、頻繁に扱う・扱うことがある層が「社内使用PCをそのまま持ち出す」で微増傾向。

[MA]

※ノートPC社外利用者ベース



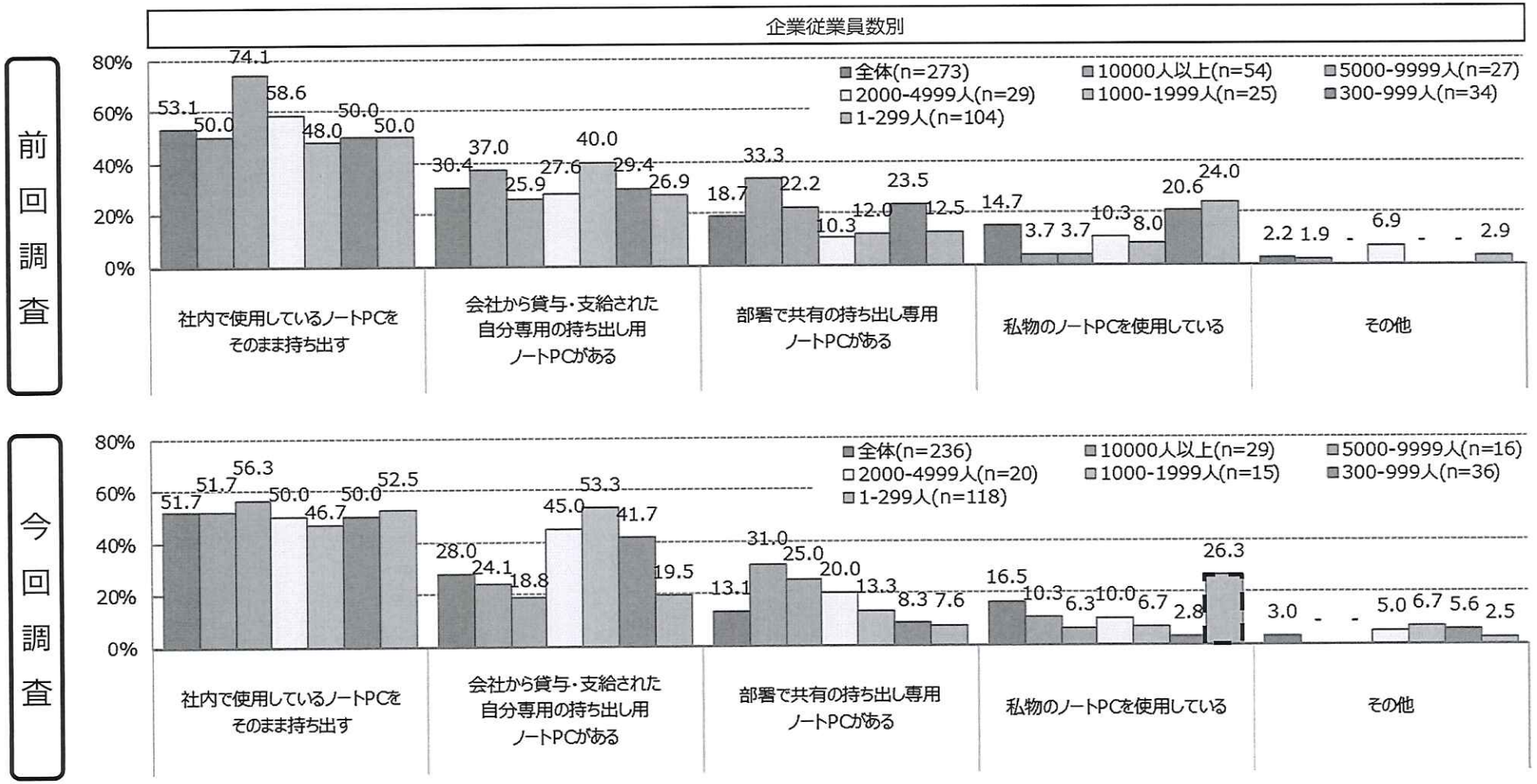
（n=30未満のスコアは参考値）

34.回答者の社外ノートPC持ち出し（Q16）

■ 今回調査の企業従業員数別を見ると、「1-299人」が「私物のノートPCを使用している」で突出して高い。
■ 前回調査との比較を企業従業員数別で見ると、「300-999人」が「部署共有ノートPC/私物ノートPC」が減少し、「自分専用持ち出し用ノートPC」が増加傾向。

[MA]

※ノートPC社外利用者ベース



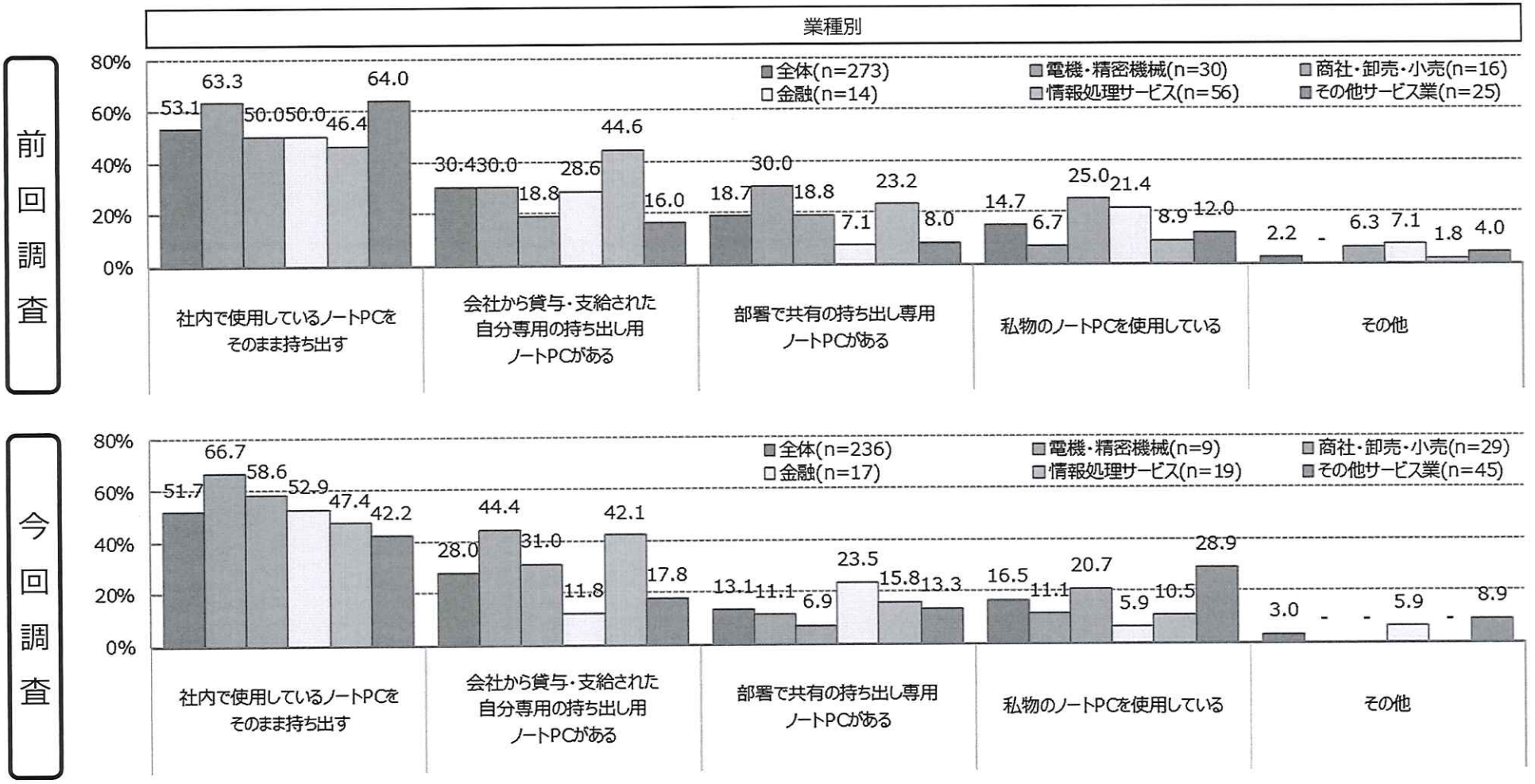
（n=30未満のスコアは参考値）

35.回答者の社外ノートPC持ち出し（Q16）

■ 今回調査の業種別を見ると、「社内で使用しているノートPCをそのまま持ち出す」がいずれの業種でも最も高かった。
■ 前回調査との比較を業種別に見ても、傾向に目立った変化は見られなかった。

[MA]

※ノートPC社外利用者ベース



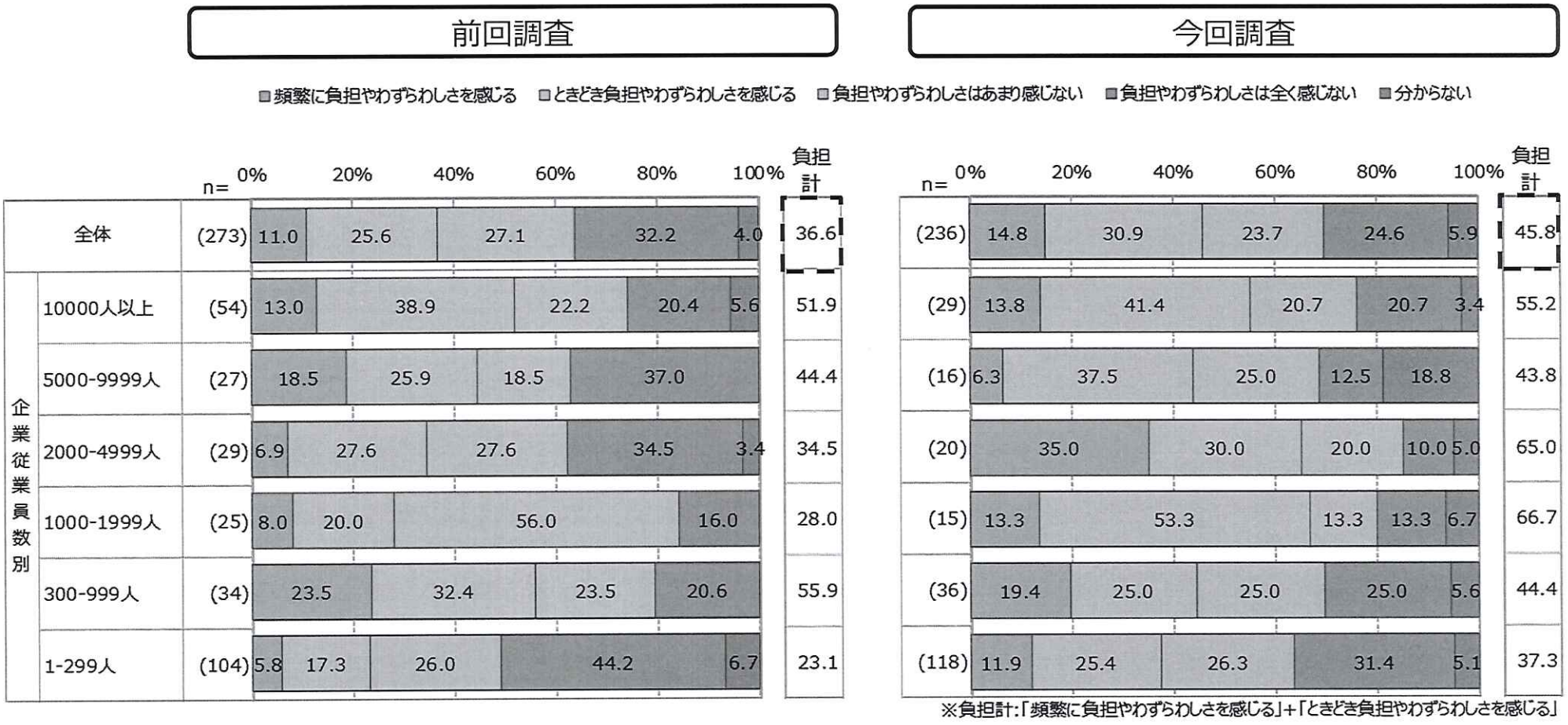
（n=30未満のスコアは参考値）

36.ノートPCの持ち出しの手間（Q17）

■ 今回調査の全体を見ると、回答者の45.8%が「負担やわずらわしさを感じる」と回答している。
■ 前回調査との比較を全体で見ると、「負担計」が増加している。

[SA]

※ノートPC社外利用者ベース



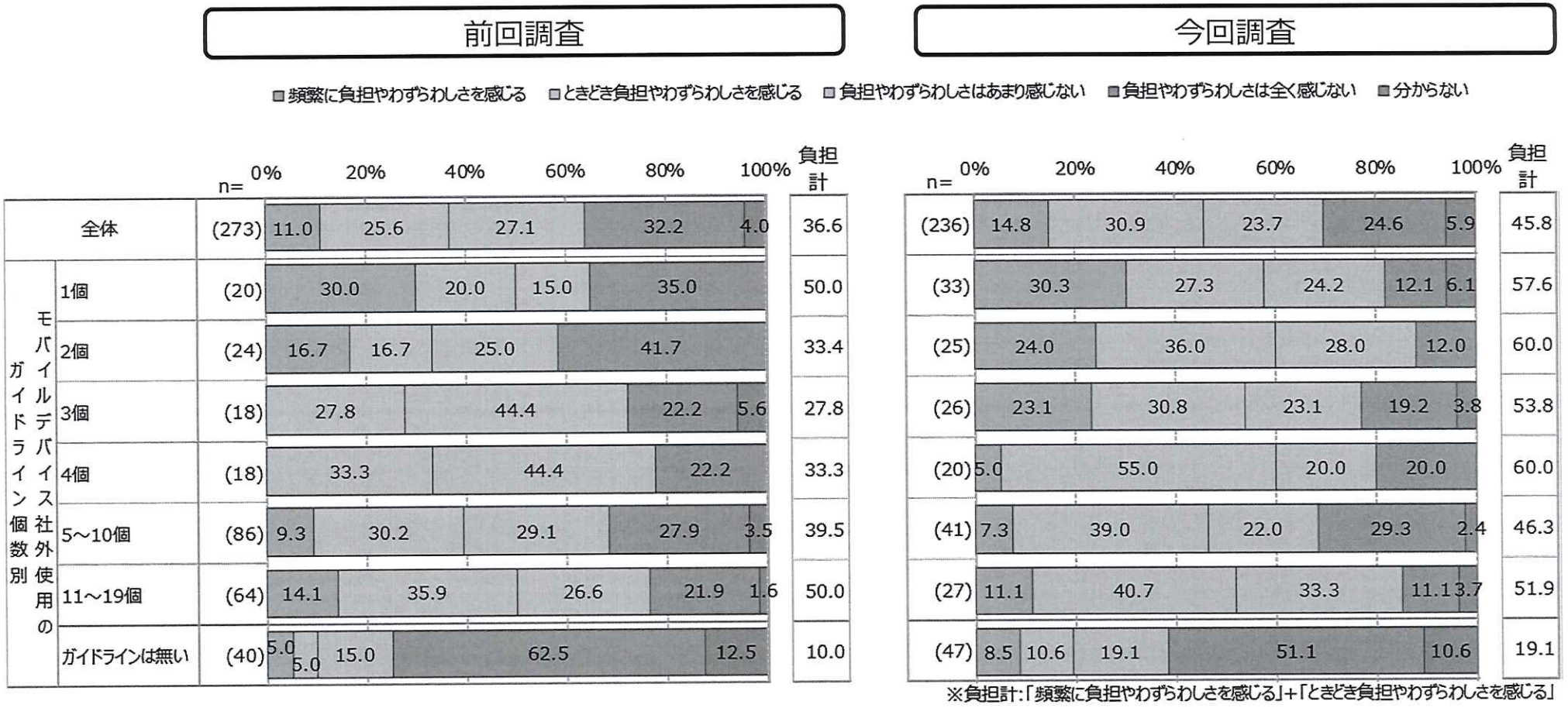
※負担計:「頻繁に負担やわずらわしさを感じる」+「ときどき負担やわずらわしさを感じる」

（n=30未満のスコアは参考値）

37.ノートPCの持ち出しの手間（Q17）

[SA]

※ノートPC社外利用者ベース



※負担計:「頻繁に負担やわずらわしさを感じる」+「ときどき負担やわずらわしさを感じる」

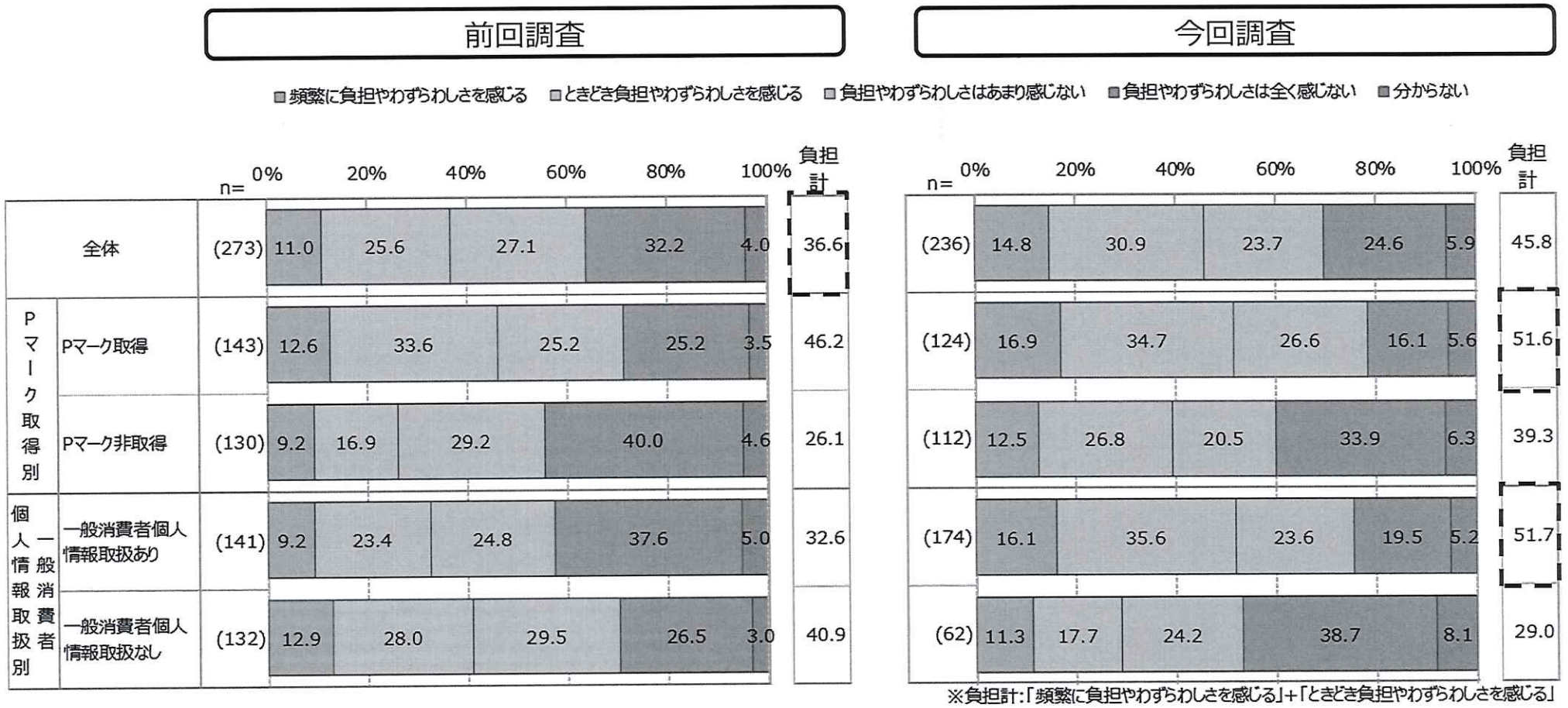
（n=30未満のスコアは参考値）

38.ノートPCの持ち出しの手間（Q17）

- 今回調査のPマーク取得別を見ると、Pマーク取得層は、非取得層に比べ「負担計」が高い。
- 一般消費者個人情報取り扱い別を見ると、取扱いあり層は、取扱いなし層に比べ「負担計」が高い。
- 前回調査との比較を全体で見ると、「負担計」が増加している。

[SA]

※ノートPC社外利用者ベース



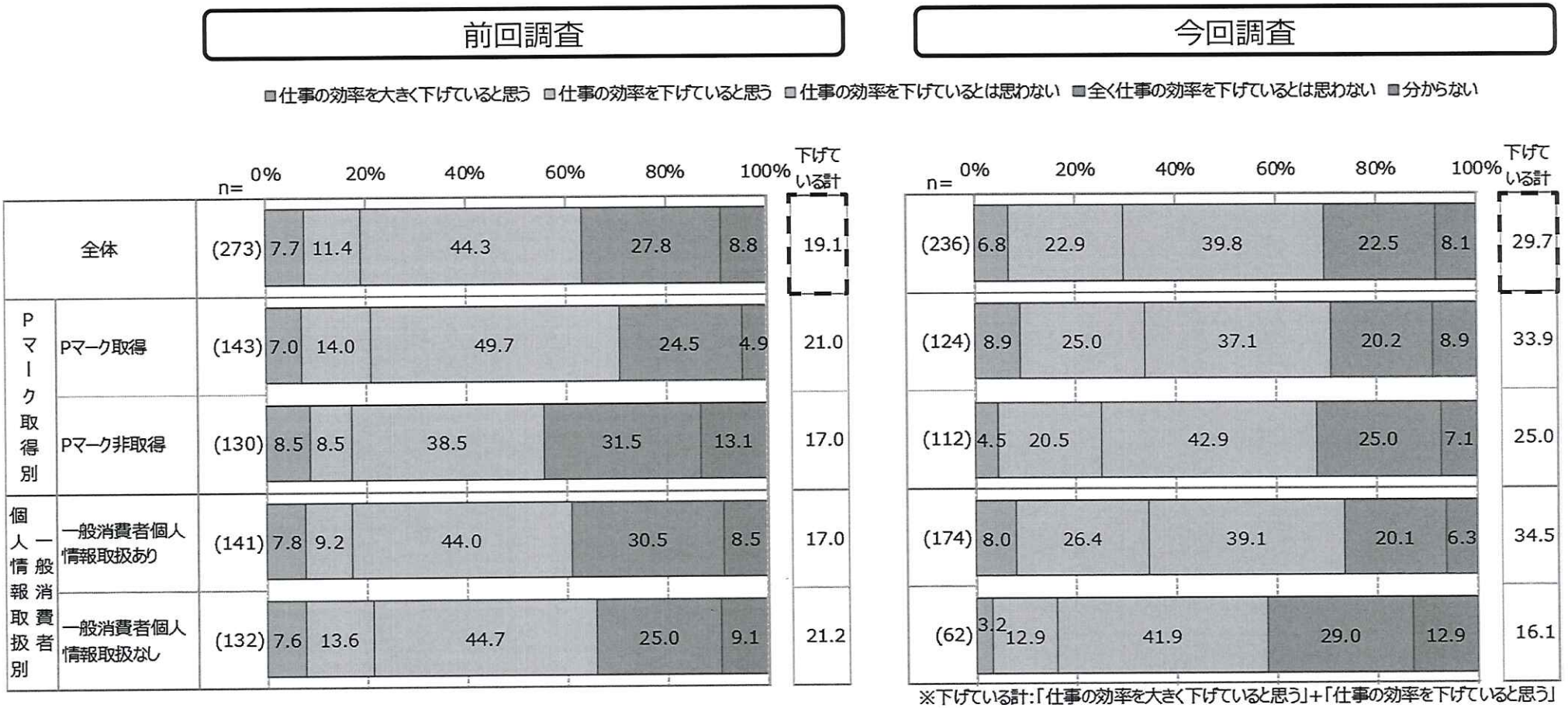
※負担計:「頻繁に負担やわずらわしさを感じる」+「ときどき負担やわずらわしさを感じる」

39.ノートPCの社外持ち出しによる業務効率への影響（Q18）

■ 今回調査の全体を見ると、「下げている計」は29.7%。
■ 前回調査との比較を全体で見ると、「下げている計」が増加している。

[SA]

※ノートPC社外利用者ベース



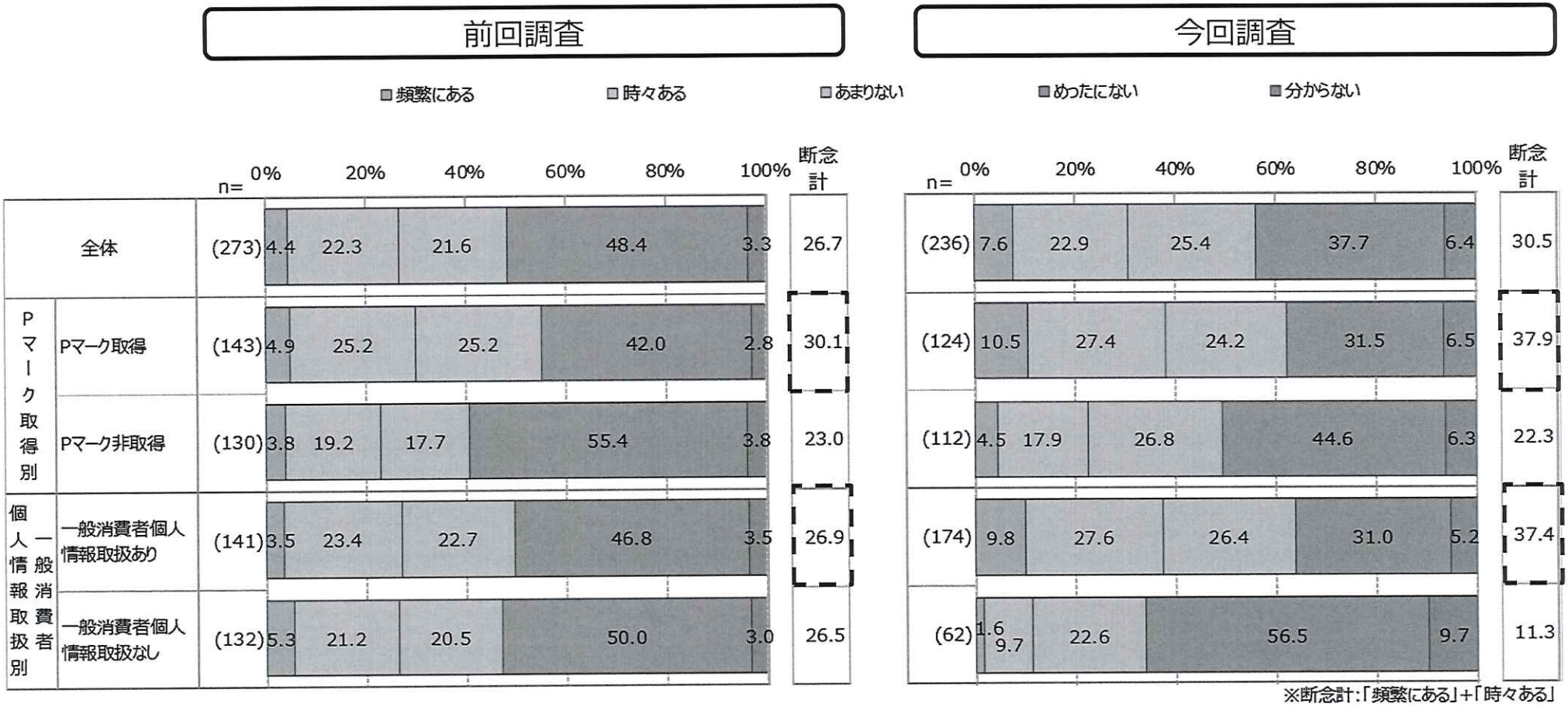
※下げている計:「仕事の効率を大きく下げていると思う」+「仕事の効率を下げていると思う」

40.持ち出しの手間などによるモバイルコンピューティングの断念(Q19)

- 持ち出しの手間が障壁となってノートPCの持ち出しを断念したことがあるかたずねた。
- 今回調査の全体を見ると、回答者の30.5%が「断念をすることがある」と回答。
- 前回調査との比較を見ると、「Pマーク取得別」の取得層と「一般消費者個人情報取り扱い別」の取扱いあり層が断念計で増加傾向。

[SA]

※ノートPC社外利用者ベース



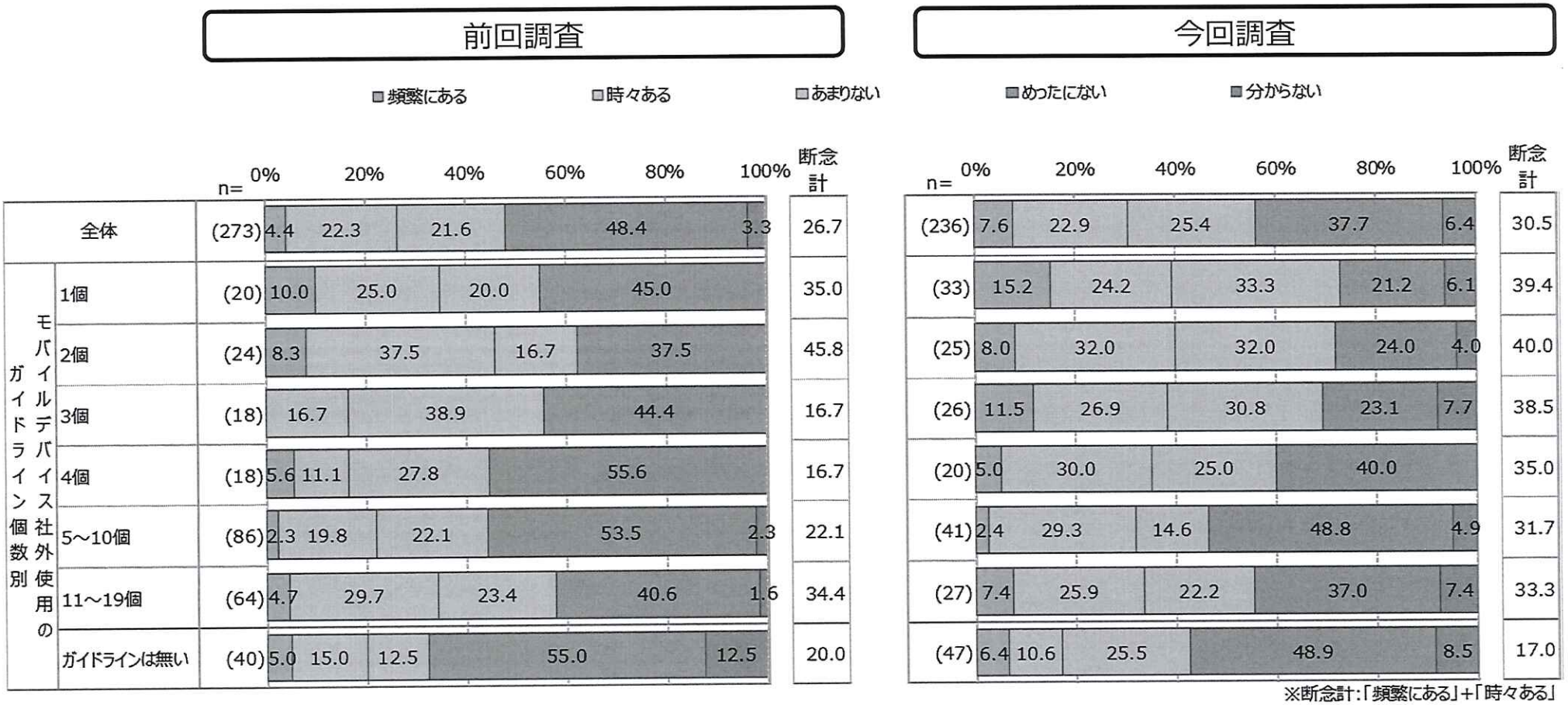
※断念計:「頻繁にある」+「時々ある」

41.持ち出しの手間などによるモバイルコンピューティングの断念（Q19）

■ モバイルデバイス社外使用ガイドライン個数別各層は、参考値が多いため前回比較に関して言及しない。

[SA]

※ノートPC社外利用者ベース



※断念計:「頻繁にある」+「時々ある」

（n=30未満のスコアは参考値）

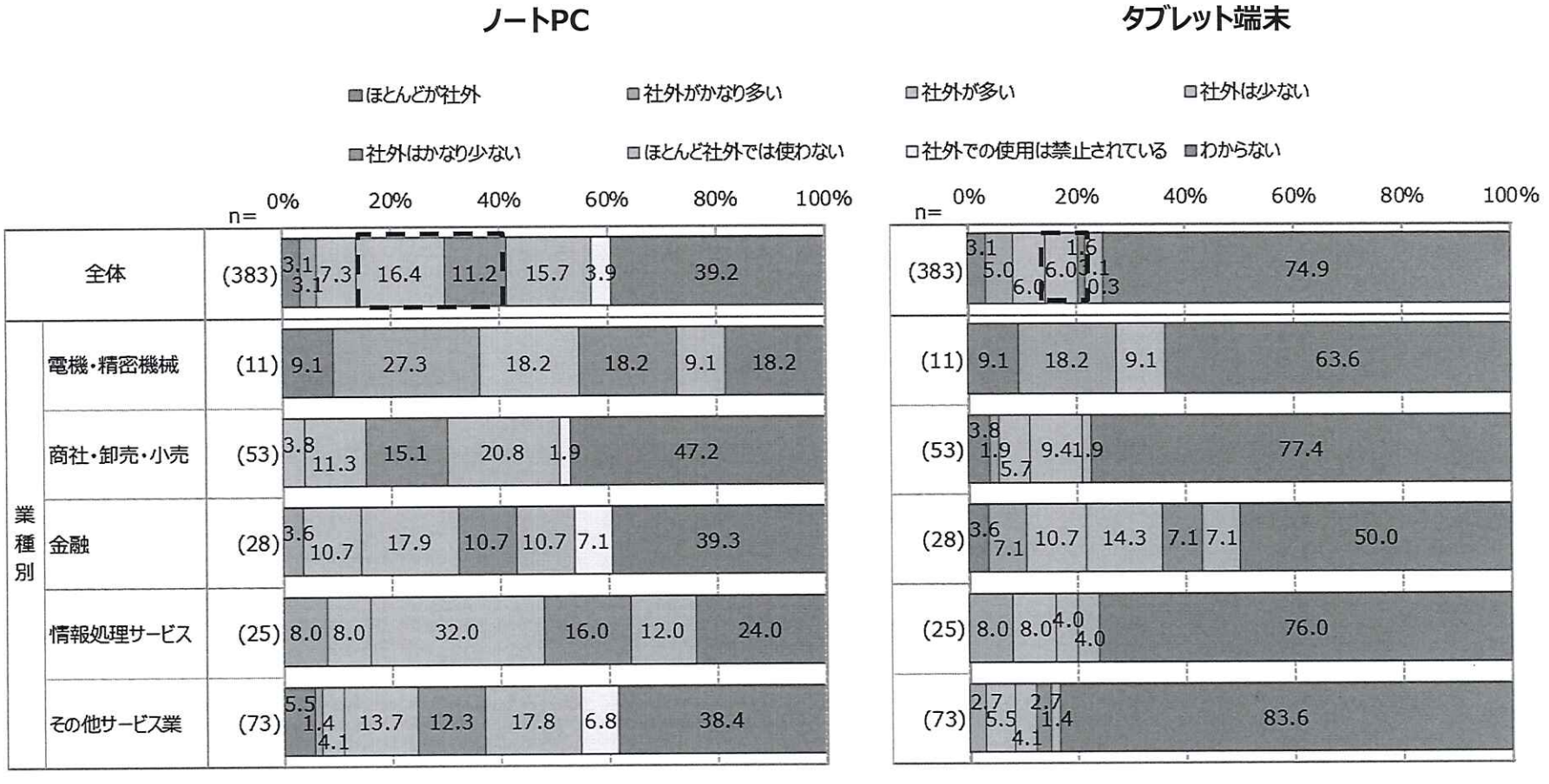
42.回答者の社外でのモバイルコンピューティング比率（Q20）

- モバイルデバイスの社外使用比率をたずねた。
- 今回調査の全体を見ると、ノートPCは、タブレット端末に比べ「社外使用は少ない」と回答している人の割合が高い。
- 前回調査との比較を全体で見ると、「社外での利用」がノートPCで減少している。

[SA]

※モバイルデバイス社外利用者ベース

今回調査



（n=30未満のスコアは参考値）

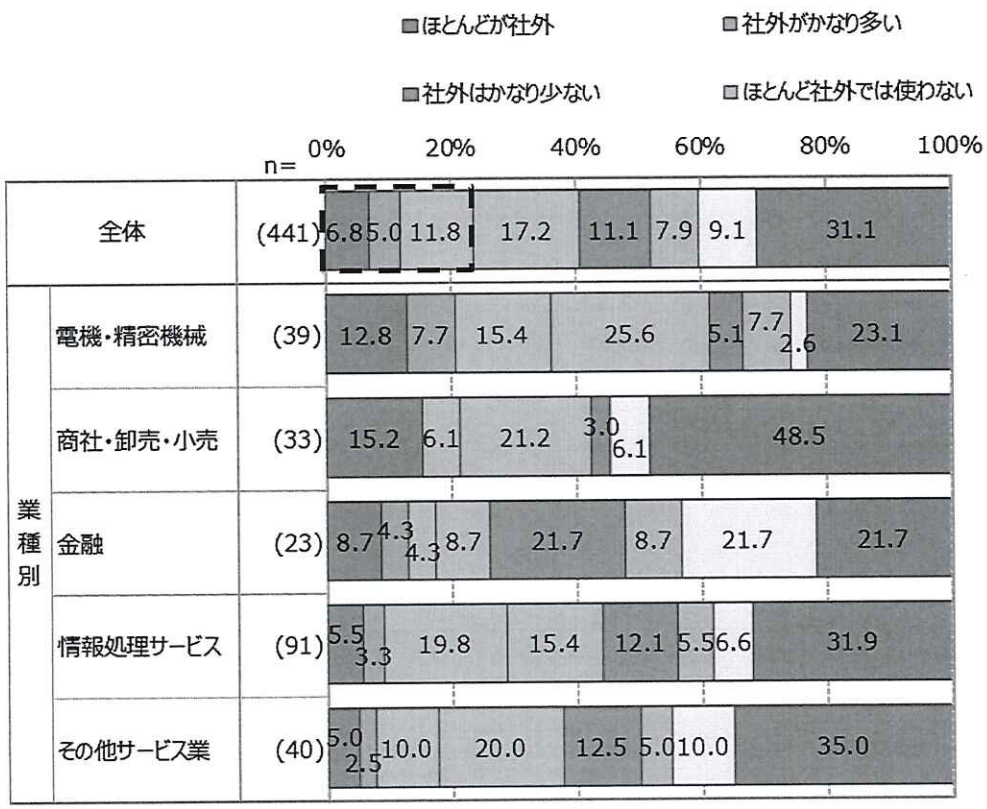
43.回答者の社外でのモバイルコンピューティング比率（Q20）

[SA]

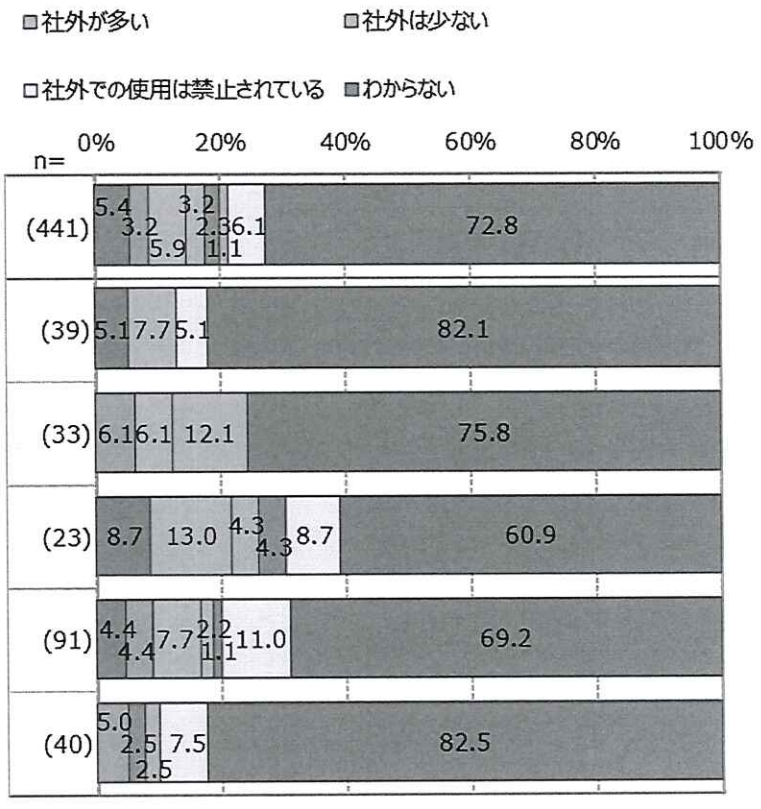
※モバイルデバイス社外利用者ベース

前回調査

ノートPC



タブレット端末



（n=30未満のスコアは参考値）

44.回答者の社外でのモバイルコンピューティング比率（Q20）

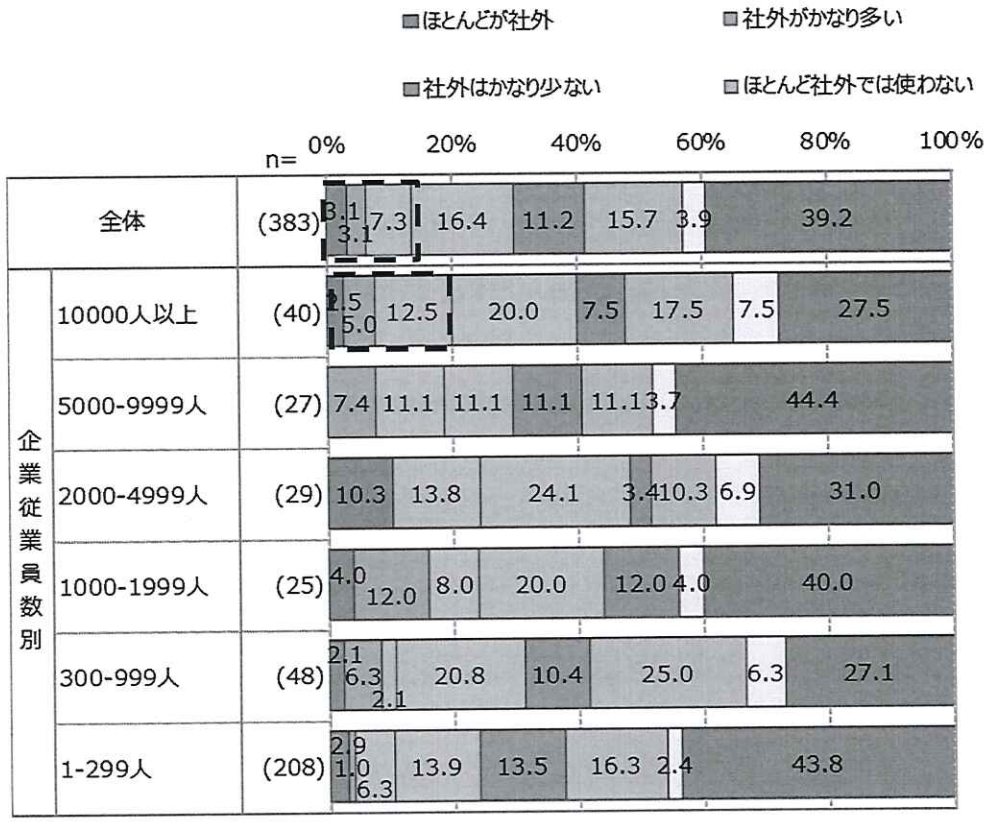
■ 今回調査を企業従業員数別で見ると、「10000人以上」の「ノートPC」「タブレット端末」社外使用率が同程度。
■ 前回調査との比較を企業従業員数別で見ると、「10000人以上」が「タブレット端末」を社外利用する機会が微増傾向。

[SA]

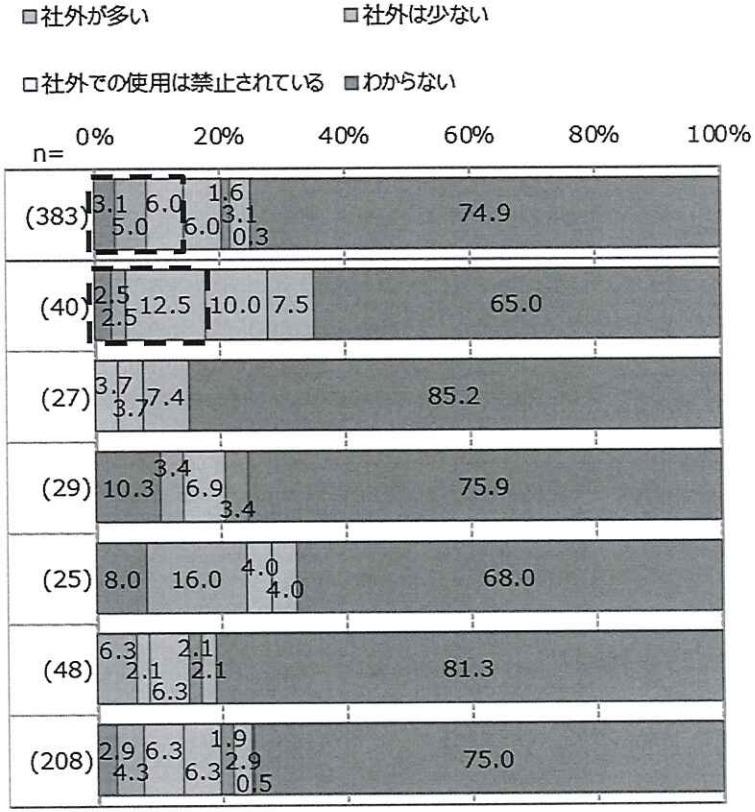
※モバイルデバイス社外利用者ベース

今回調査

ノートPC



タブレット端末



（n=30未満のスコアは参考値）

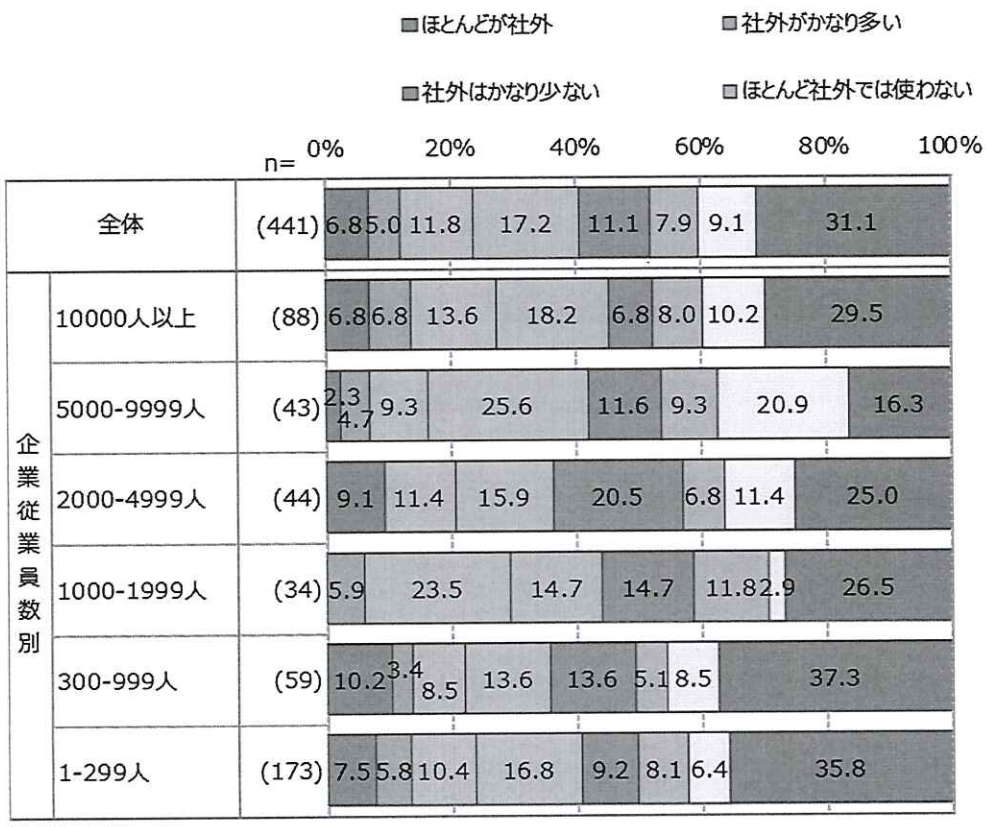
45.回答者の社外でのモバイルコンピューティング比率（Q20）

[SA]

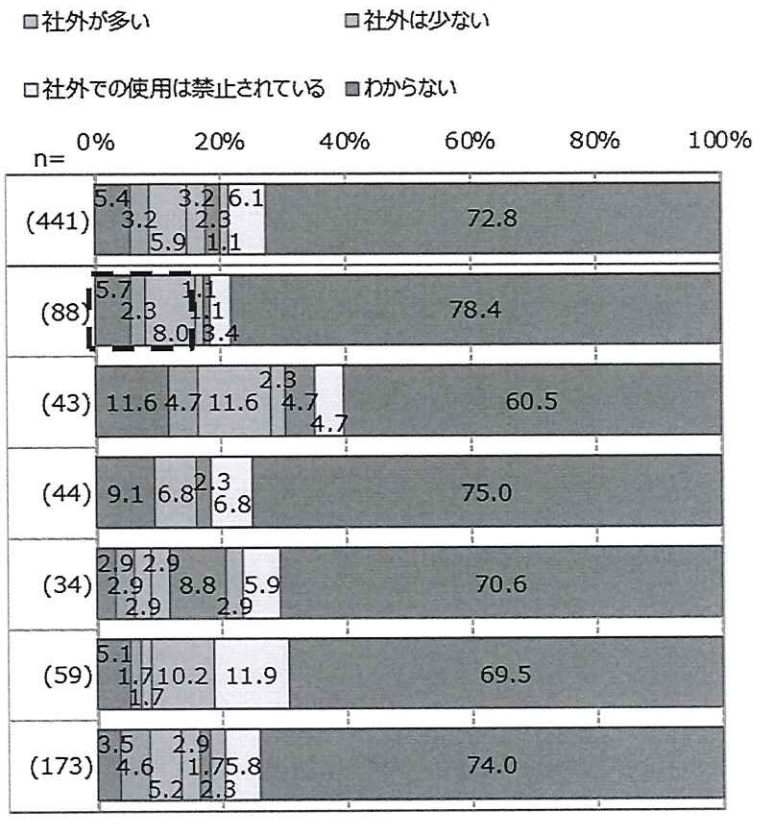
※モバイルデバイス社外利用者ベース

前回調査

ノートPC



タブレット端末



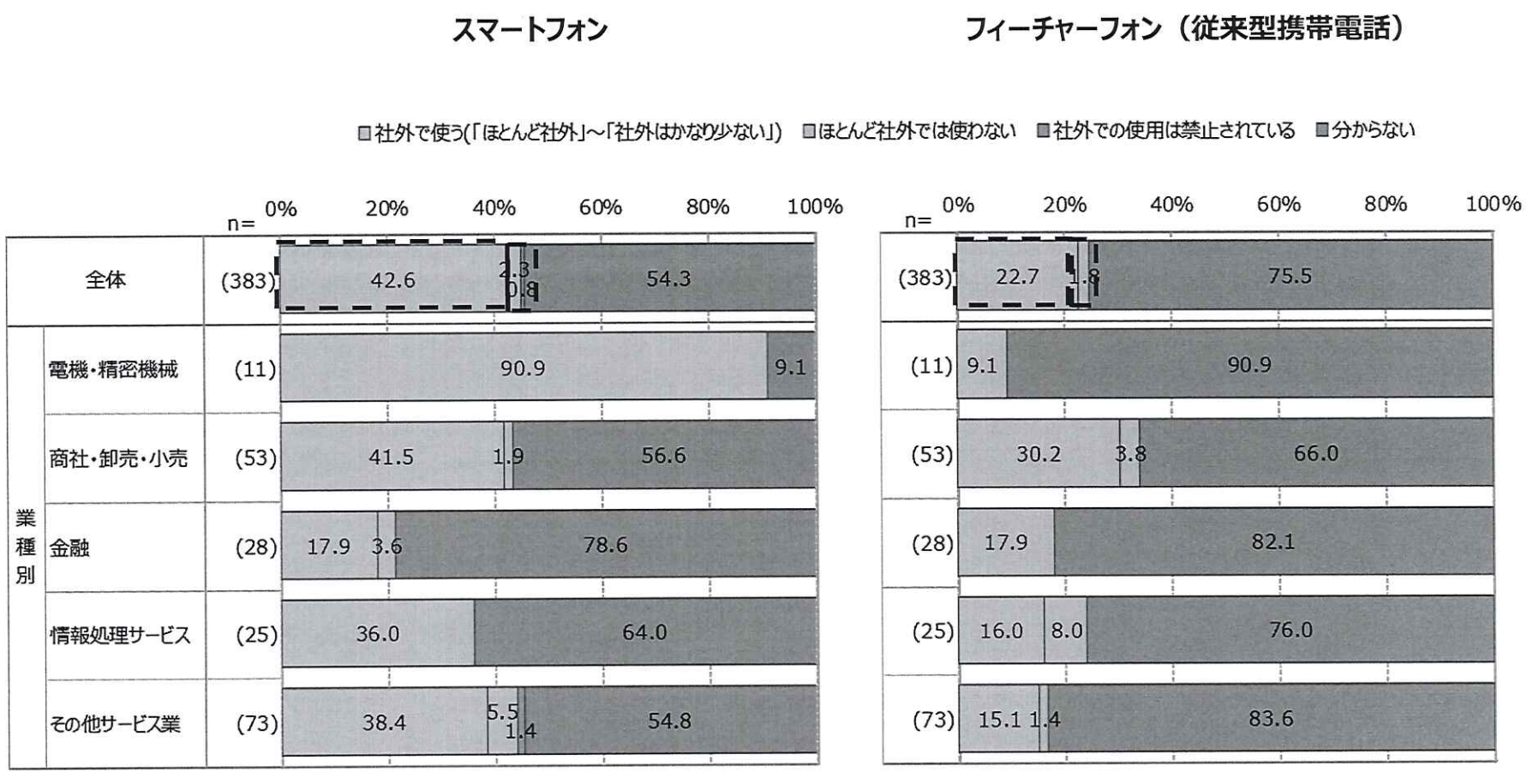
46.回答者の社外でのモバイルコンピューティング比率（Q21）

- モバイルデバイスの社外使用比率をたずねた。
- 今回調査の全体を見ると、スマートフォンは、フィーチャーフォンのおよそ2倍、「社外で使う」の回答者が多い。
- 前回調査との比較を全体で見ると、スマートフォン・フィーチャーフォンの両者で、「社外では使わない・禁止されている」が減少傾向。

[SA]

※モバイルデバイス社外利用者ベース

今回調査



（n=30未満のスコアは参考値）

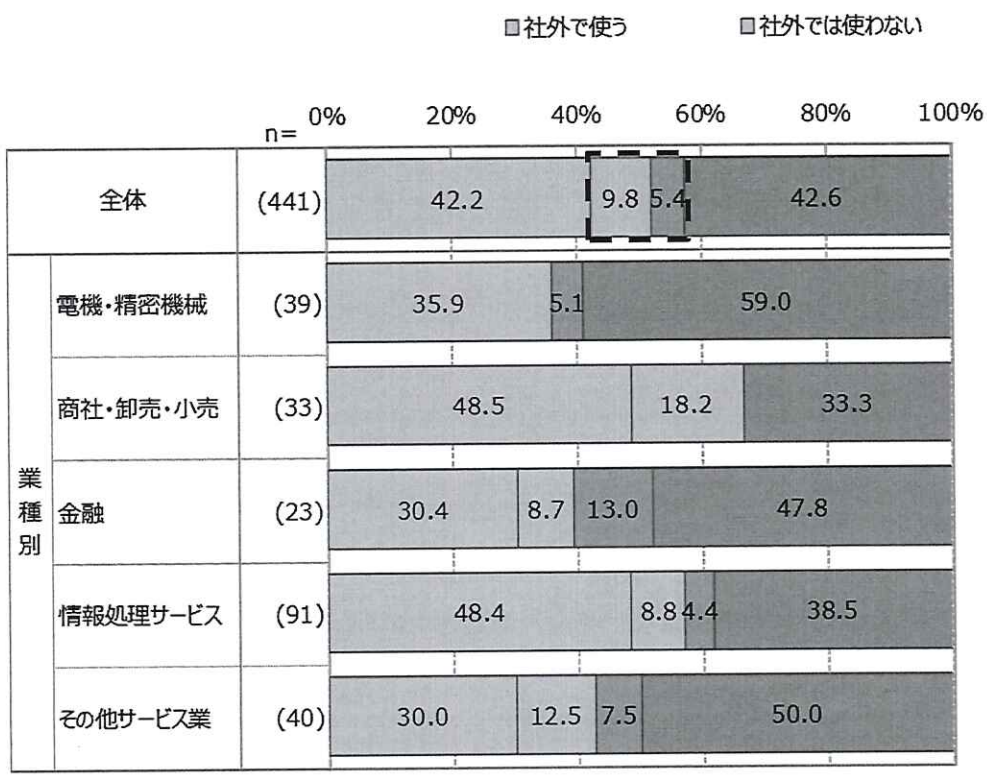
47.回答者の社外でのモバイルコンピューティング比率（Q21）

[SA]

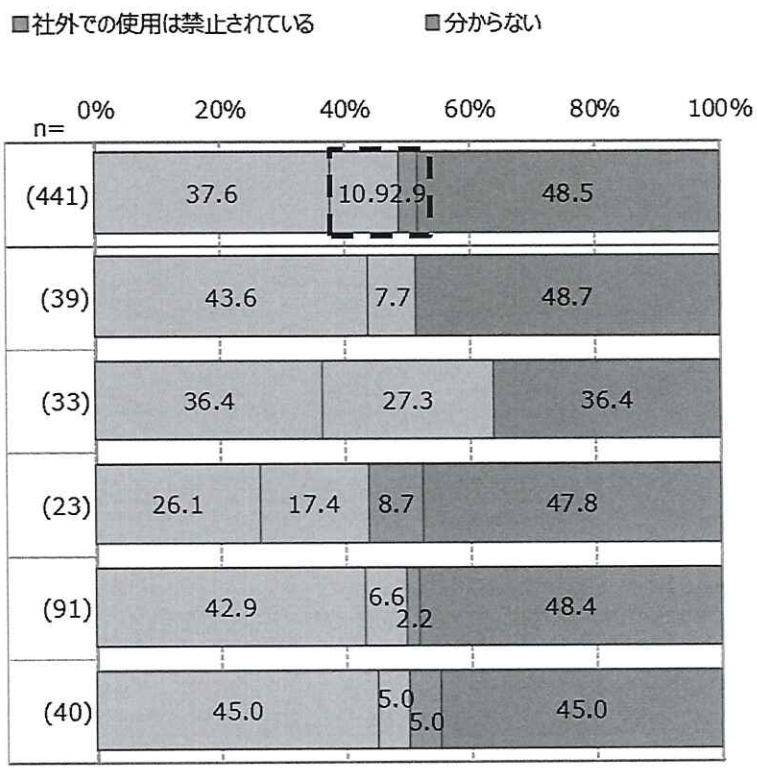
※モバイルデバイス社外利用者ベース

前回調査

スマートフォン



フィーチャーフォン（従来型携帯電話）



（n=30未満のスコアは参考値）

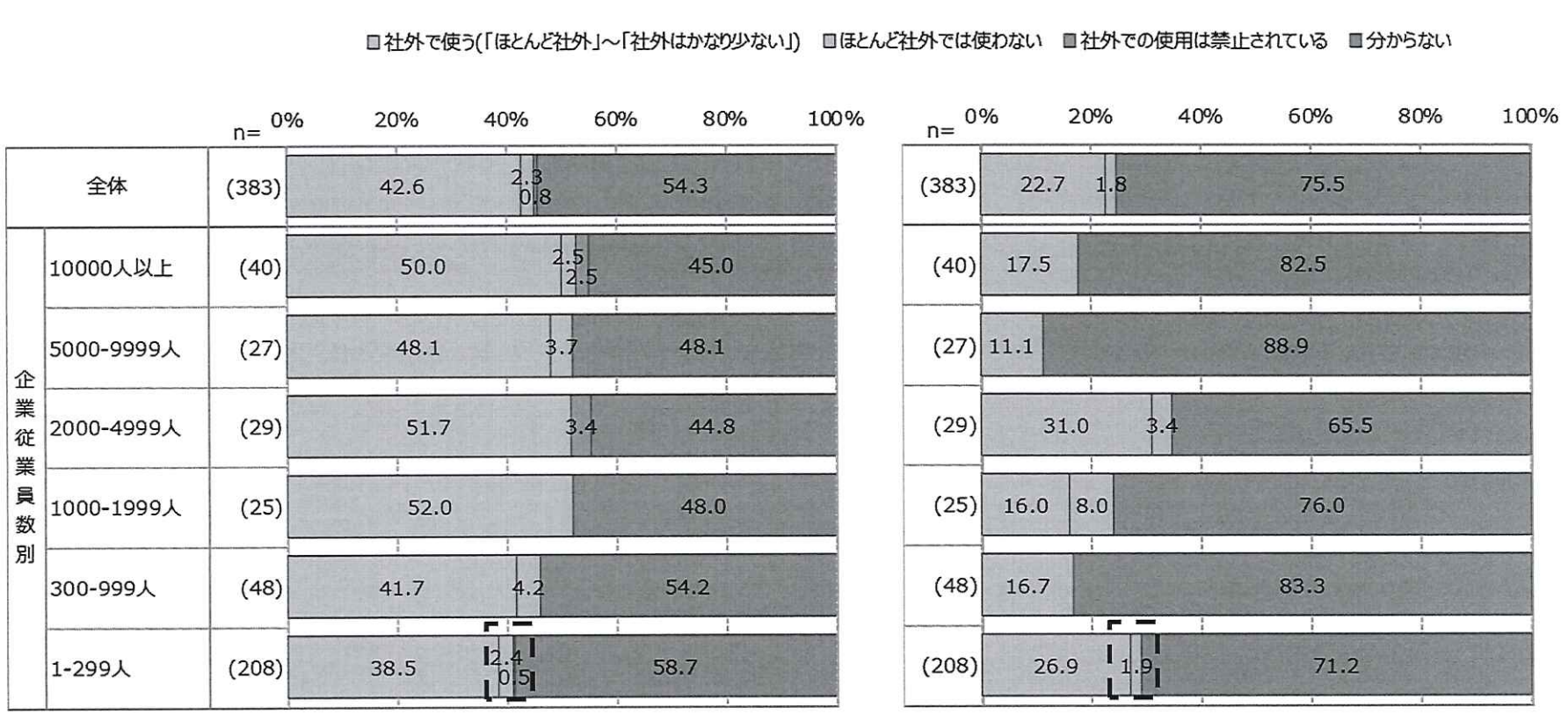
48.回答者の社外でのモバイルコンピューティング比率（Q21）

■ 前回調査との比較を企業従業員別で見ると、スマートフォン・フィーチャーフォンの両者の「1-299人」が、「社外では使わない・禁止されている」の項目で減少傾向。

[SA]

※モバイルデバイス社外利用者ベース

今回調査



（n=30未満のスコアは参考値）

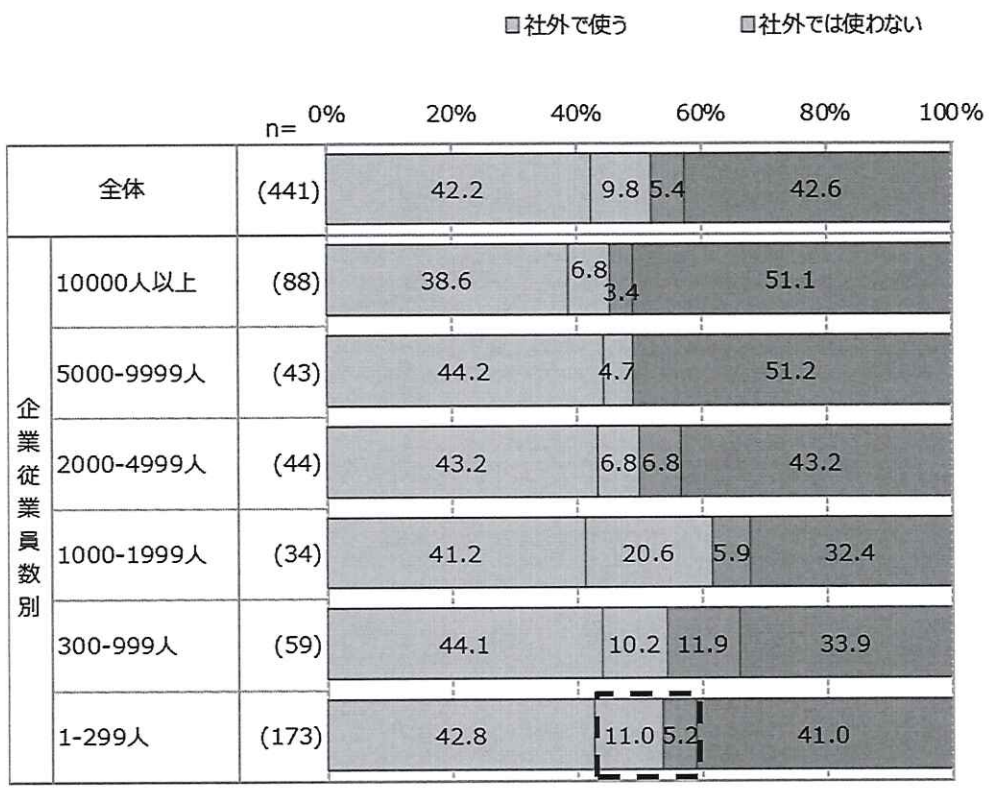
49.回答者の社外でのモバイルコンピューティング比率（Q21）

[SA]

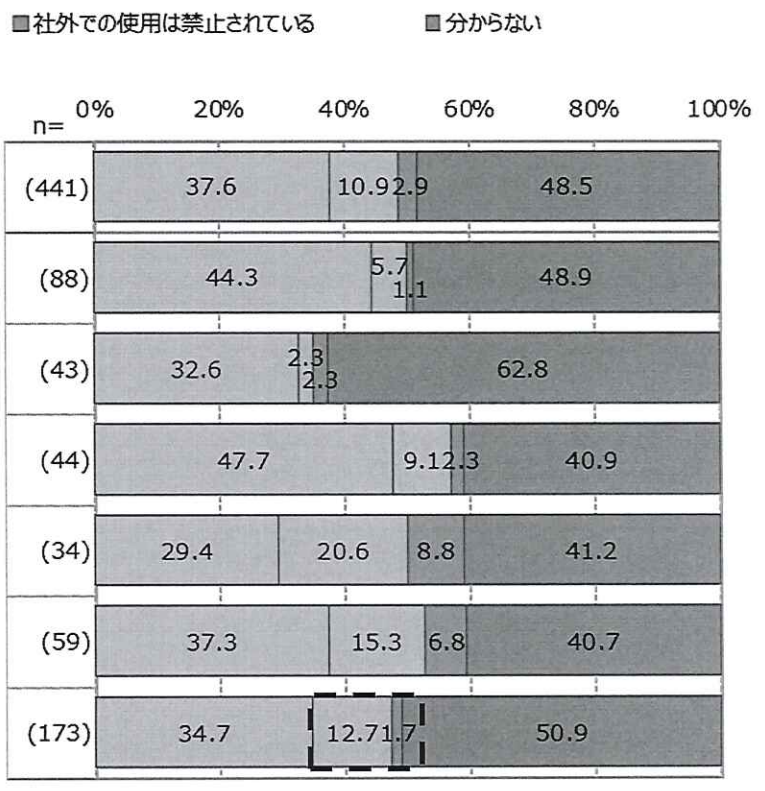
※モバイルデバイス社外利用者ベース

前回調査

スマートフォン



フィーチャーフォン（従来型携帯電話）

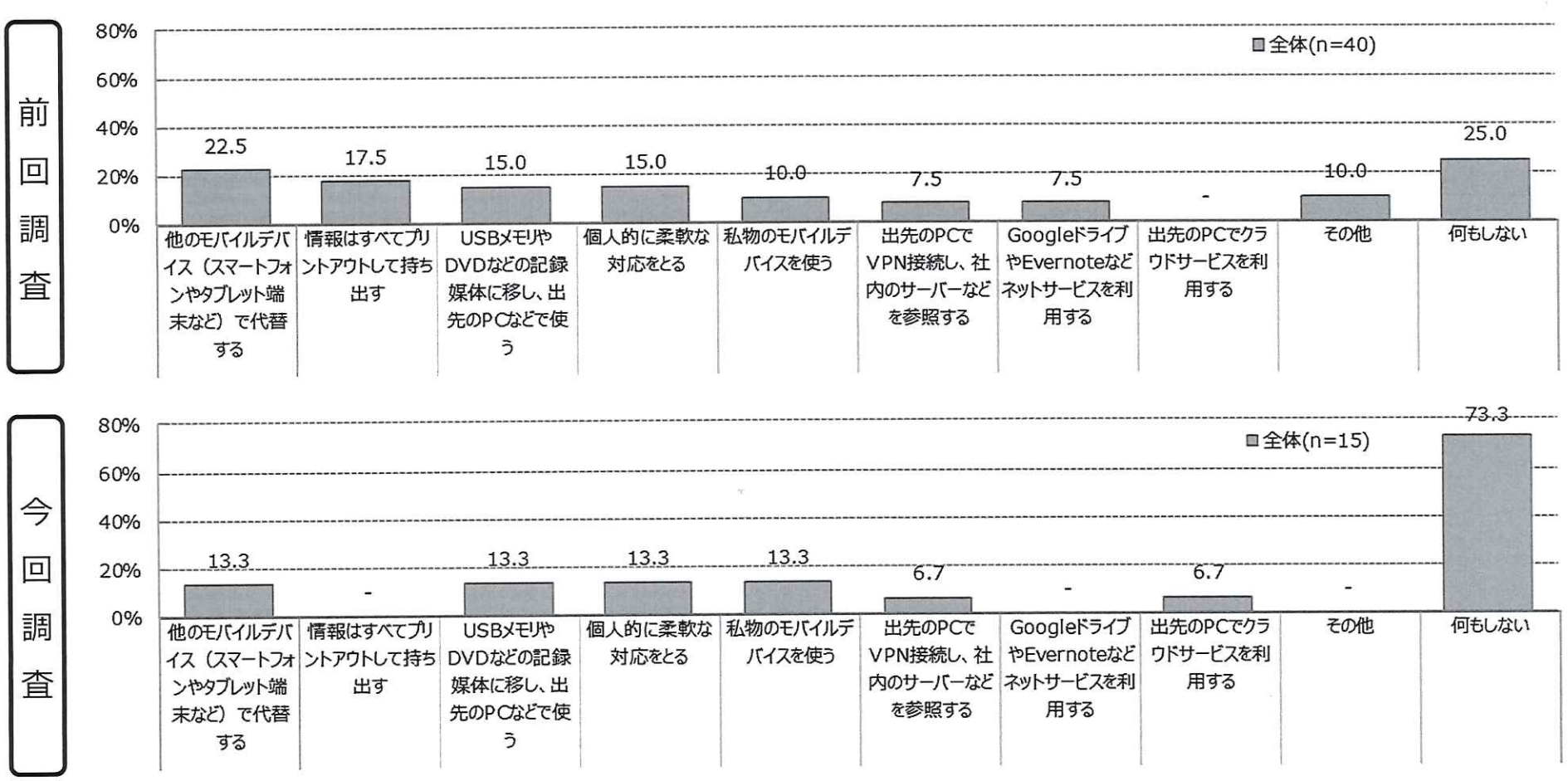


50.社外使用禁止時の代替手段(Q22)

- ノートPCの社外使用が禁止されている回答者に、代替手段をたずねた。
- 今回調査の全体を見ると、「ほかのモバイルデバイスで代替する」が最も高く13.3%。
  次いで「USBメモリやDVDなどの記録媒体に移し、出先のPCなどで使う」(13.3%)、「私物のモバイルデバイスを使う」(13.3%)が挙がる。(参考値について言及)

[MA]
※【前回調査】全体の降順でソート

※ノートPCの社外使用が禁止されている回答者ベース



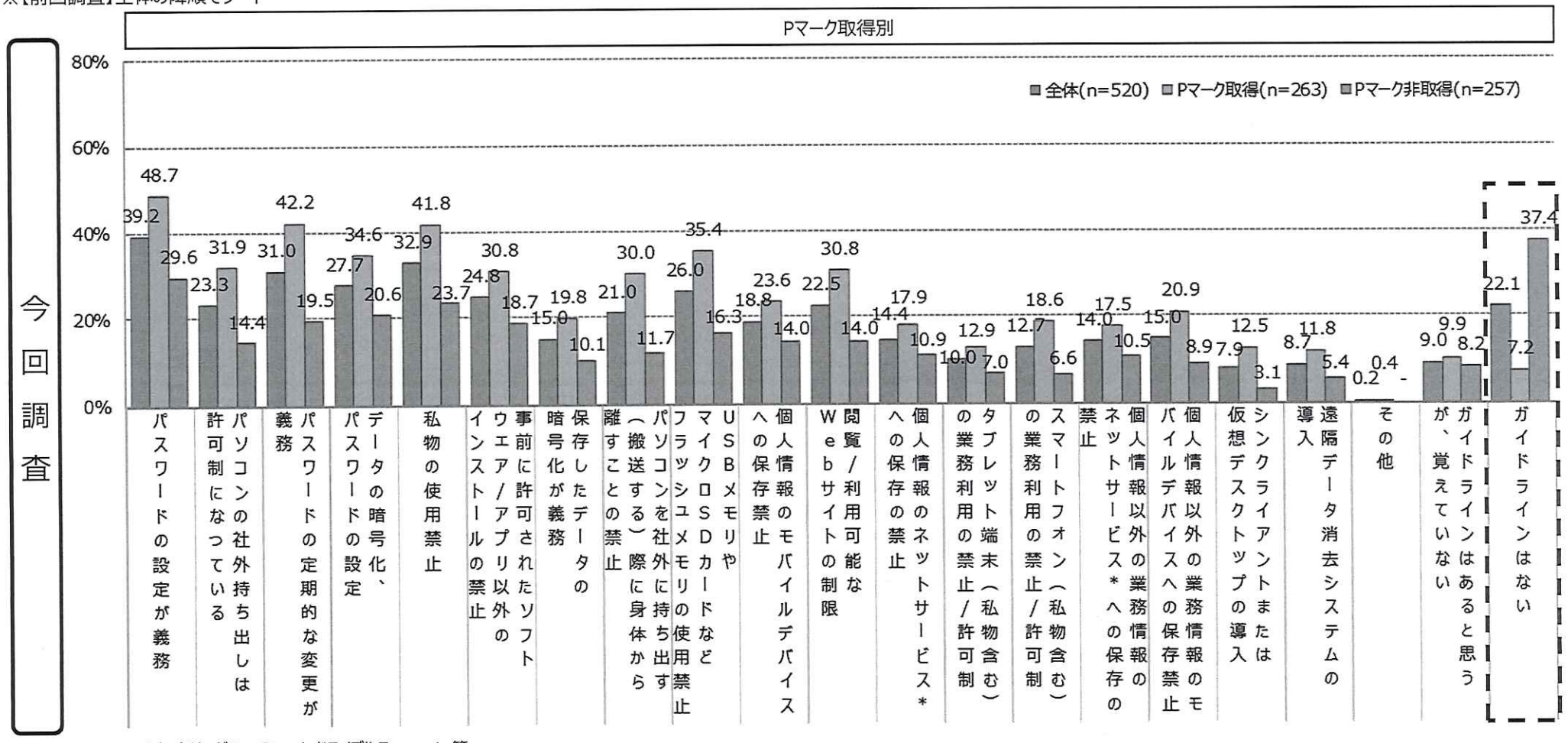
(n=30未満のスコアは参考値)

51.モバイルコンピューティングに関するガイドラインの内容（Q23）

- 今回調査を全体で見ると、「パスワードの設定義務」が最も高く39.2%。次いで「私物の使用禁止」(32.9%)、「パスワードの定期変更」(31.0%)が挙がった。
- 今回調査のPマーク取得別を見ると、取得層は非取得層よりすべての項目で高い。
- 前回調査との比較をPマーク取得別に見ると、取得・非取得層両者で「ガイドラインは無い」が増加傾向。

[MA]

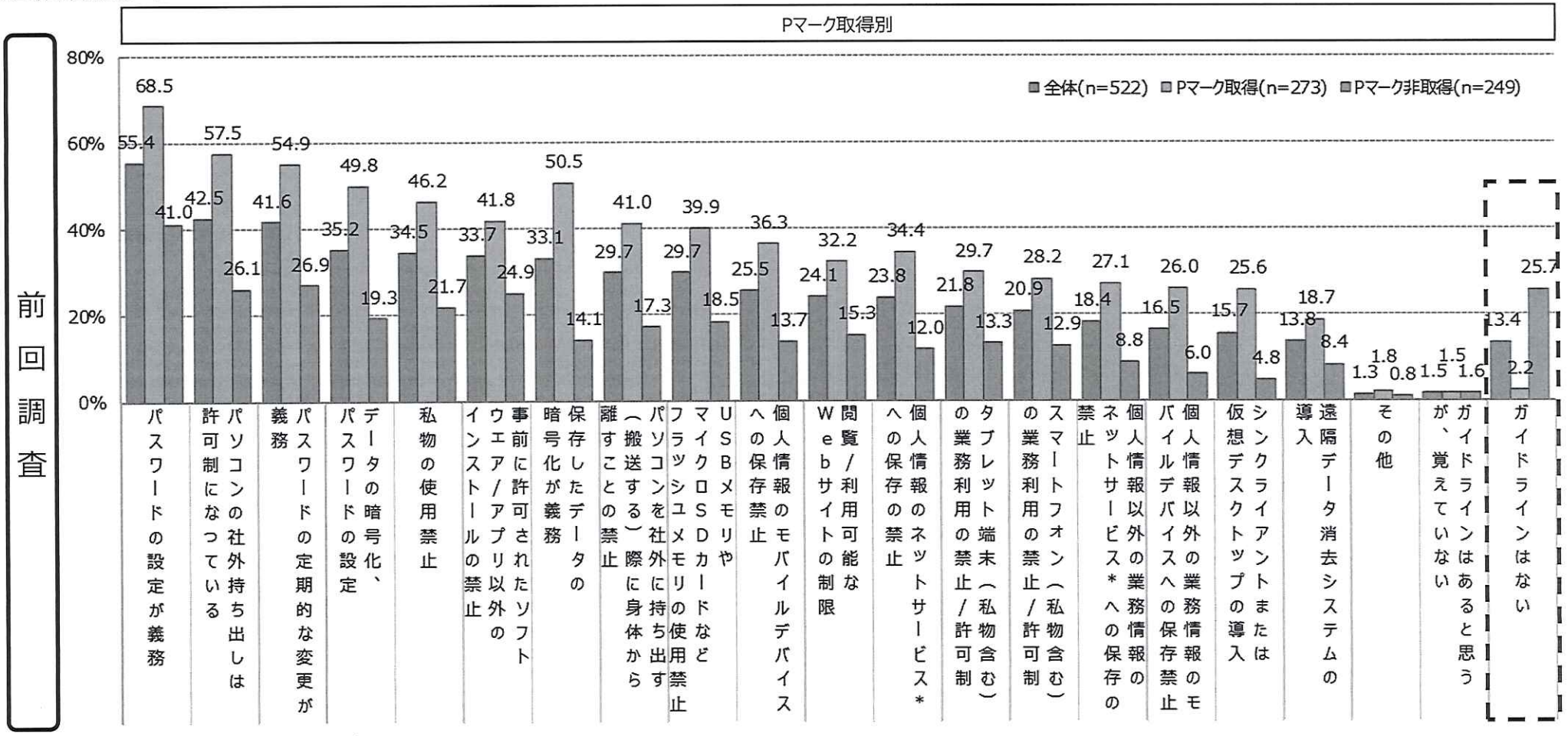
※【前回調査】全体の降順でソート



*ネットサービス：GoogleドライブやEvernote等

52.モバイルコンピューティングに関するガイドラインの内容（Q23）

[MA]
※全体の降順でソート

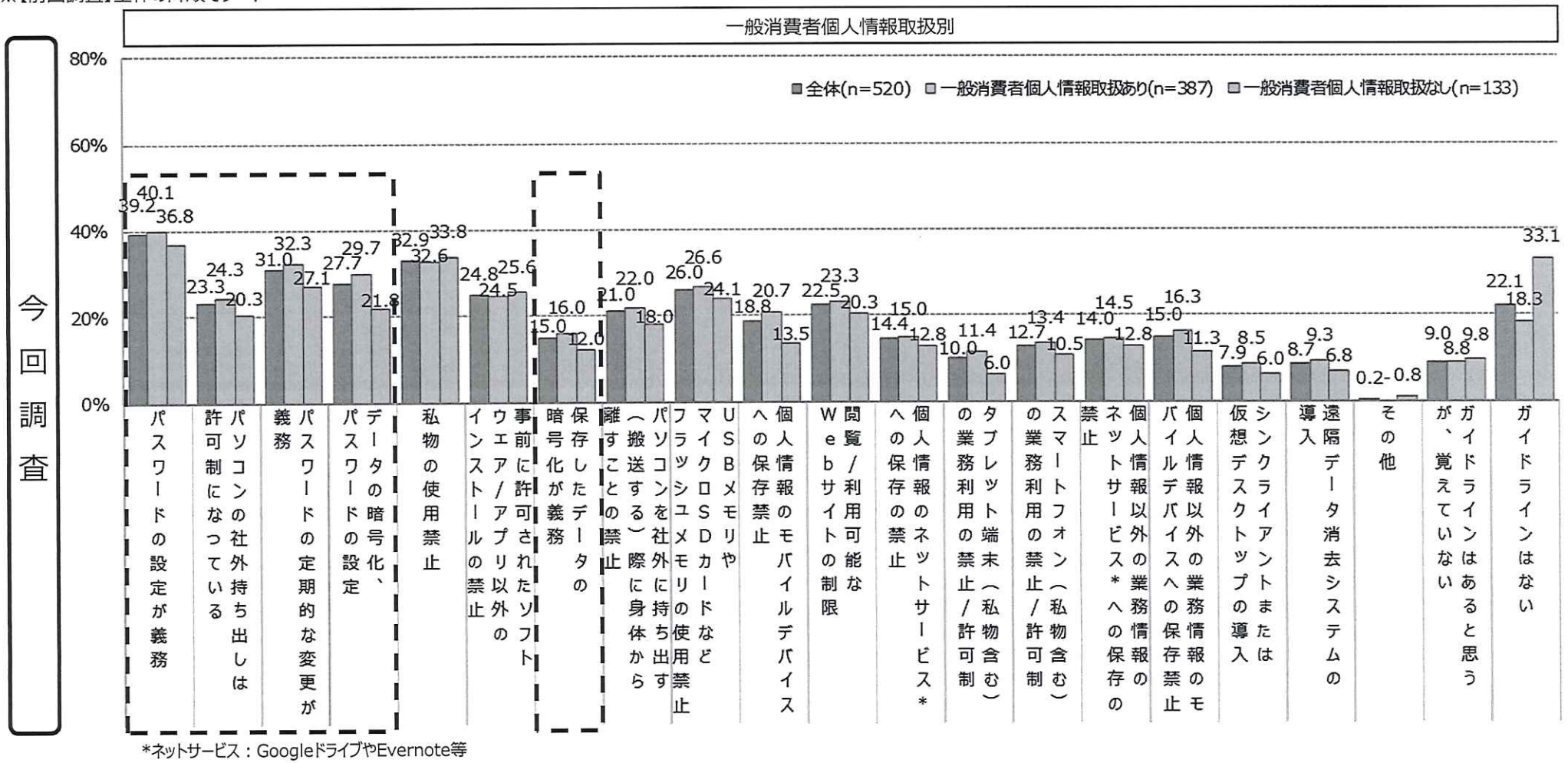


*ネットサービス：GoogleドライブやEvernote等

53.モバイルコンピューティングに関するガイドラインの内容（Q23）

■ 今回調査の結果を一般消費者個人情報取り扱い別で見ると、「パスワードの設定が義務」が最も高く39.2%。
次いで「私物の使用禁止」(32.9%)、「パスワードの定期的な変更が義務」(31.0%)が挙がる。
■ 前回調査との比較を「一般消費者個人情報取り扱い別」で見ると、特に前回調査上位の項目にて取扱いあり層となし層の差が縮まった。

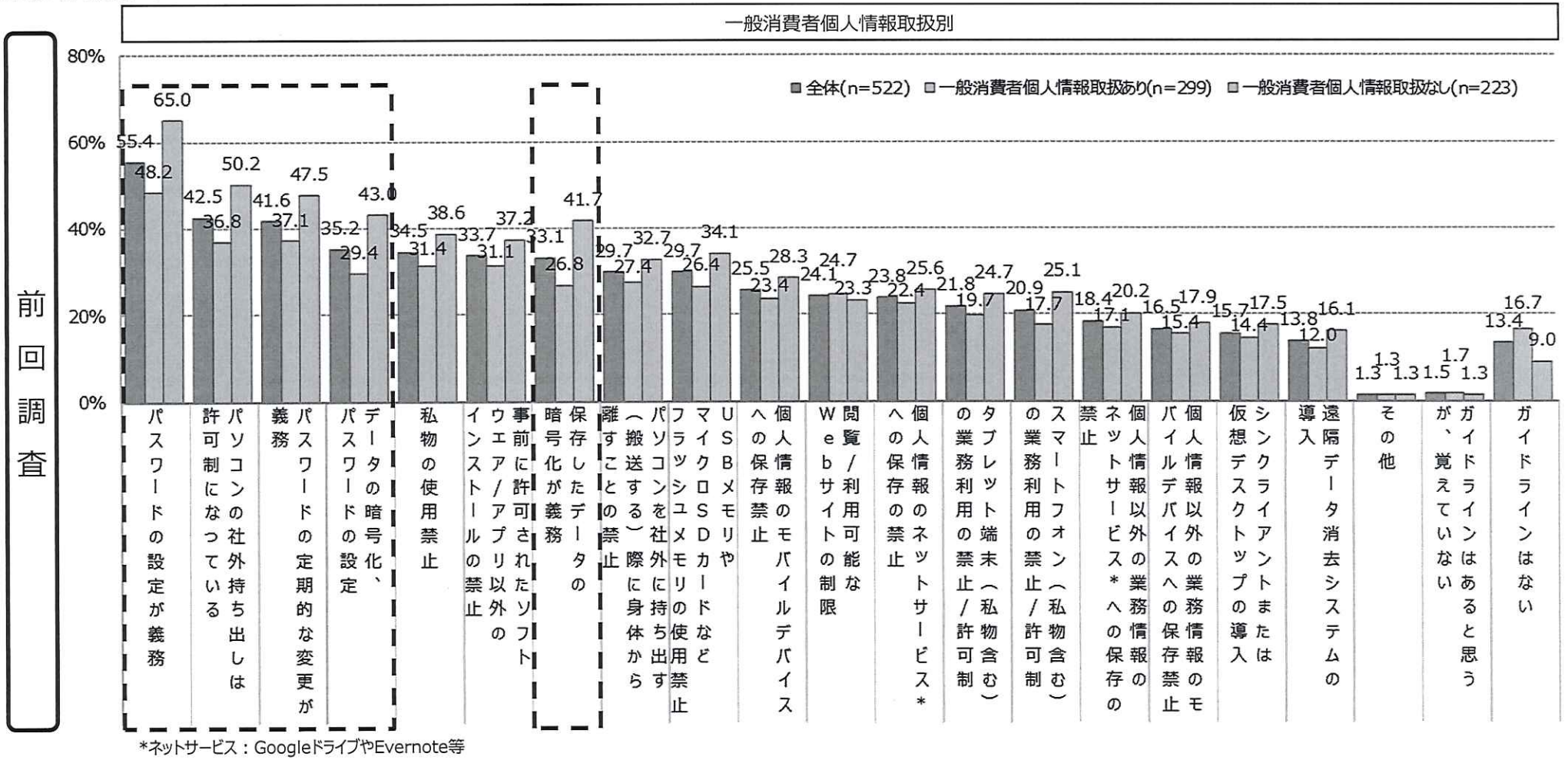
[MA]
※【前回調査】全体の降順でソート



*ネットサービス：GoogleドライブやEvernote等

54.モバイルコンピューティングに関するガイドラインの内容（Q23）

[MA]
※全体の降順でソート



*ネットサービス：GoogleドライブやEvernote等

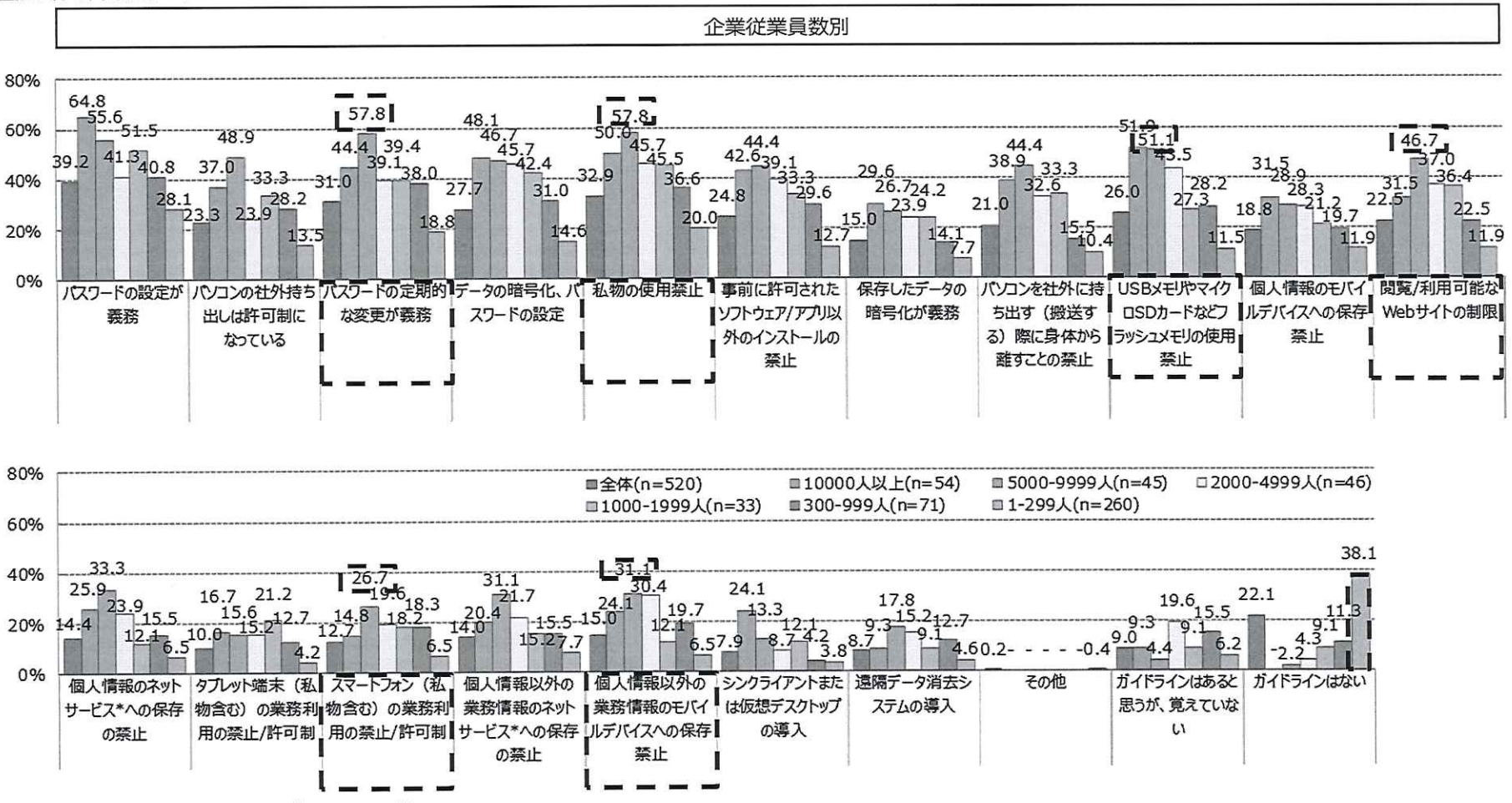
55.モバイルコンピューティングに関するガイドラインの内容（Q23）

- 今回調査の企業従業員数別を見ると、おおよその項目で規模の大きさに比例して高まる傾向がみられる。
  「1-299人」が「ガイドラインはない」で他の層に比べ突出して高い。
- 前回調査との比較を「企業従業員数別」で見ると、
  「5000-9999人」が「パスワードの定期変更」「フラッシュメモリの使用禁止」をはじめとした複数項目でいずれも増加傾向。

[MA]

※【前回調査】全体の降順でソート

今回調査

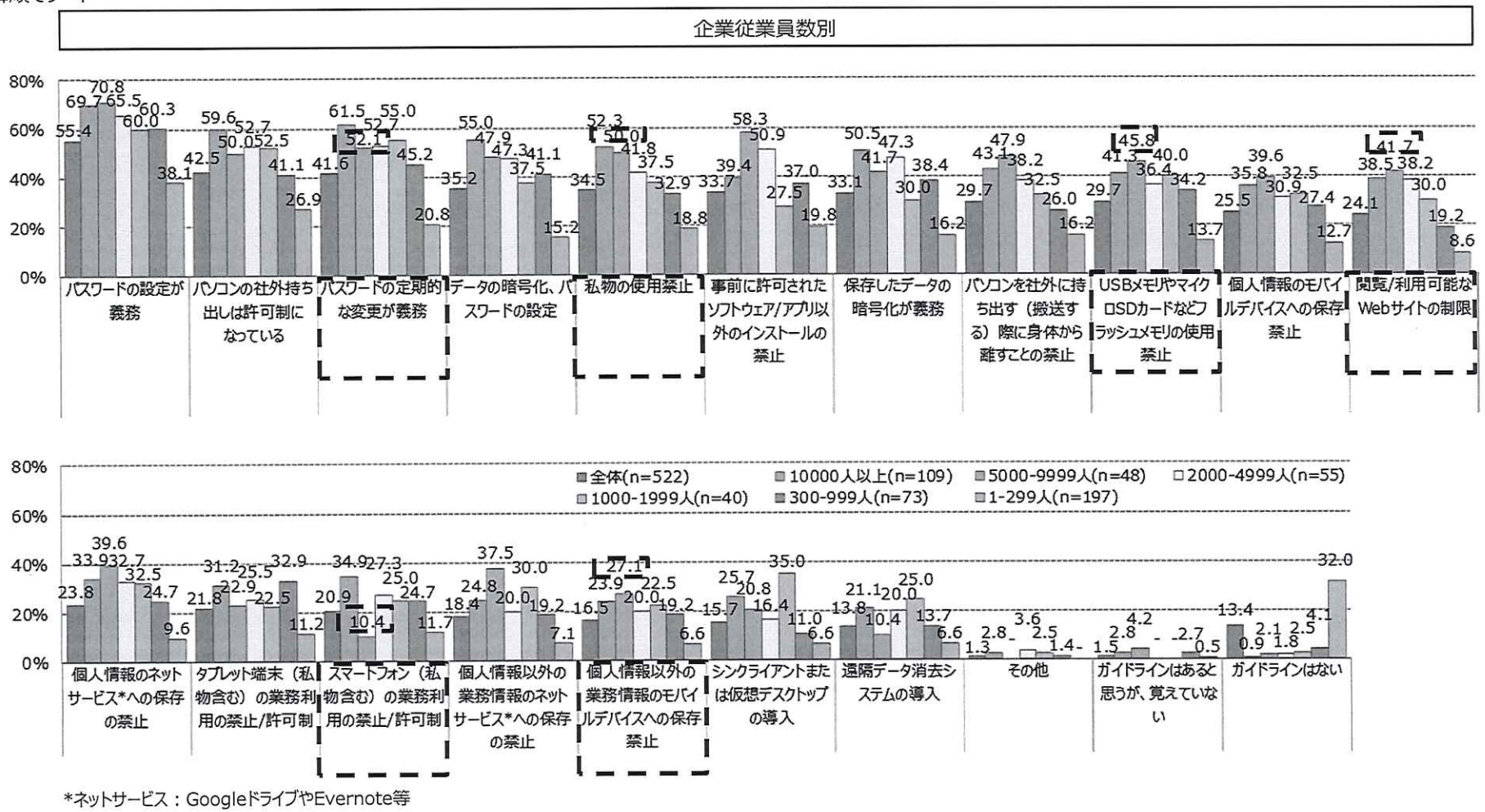


*ネットサービス：GoogleドライブやEvernote等

56.モバイルコンピューティングに関するガイドラインの内容（Q23）

[MA]
※全体の降順でソート

前回調査

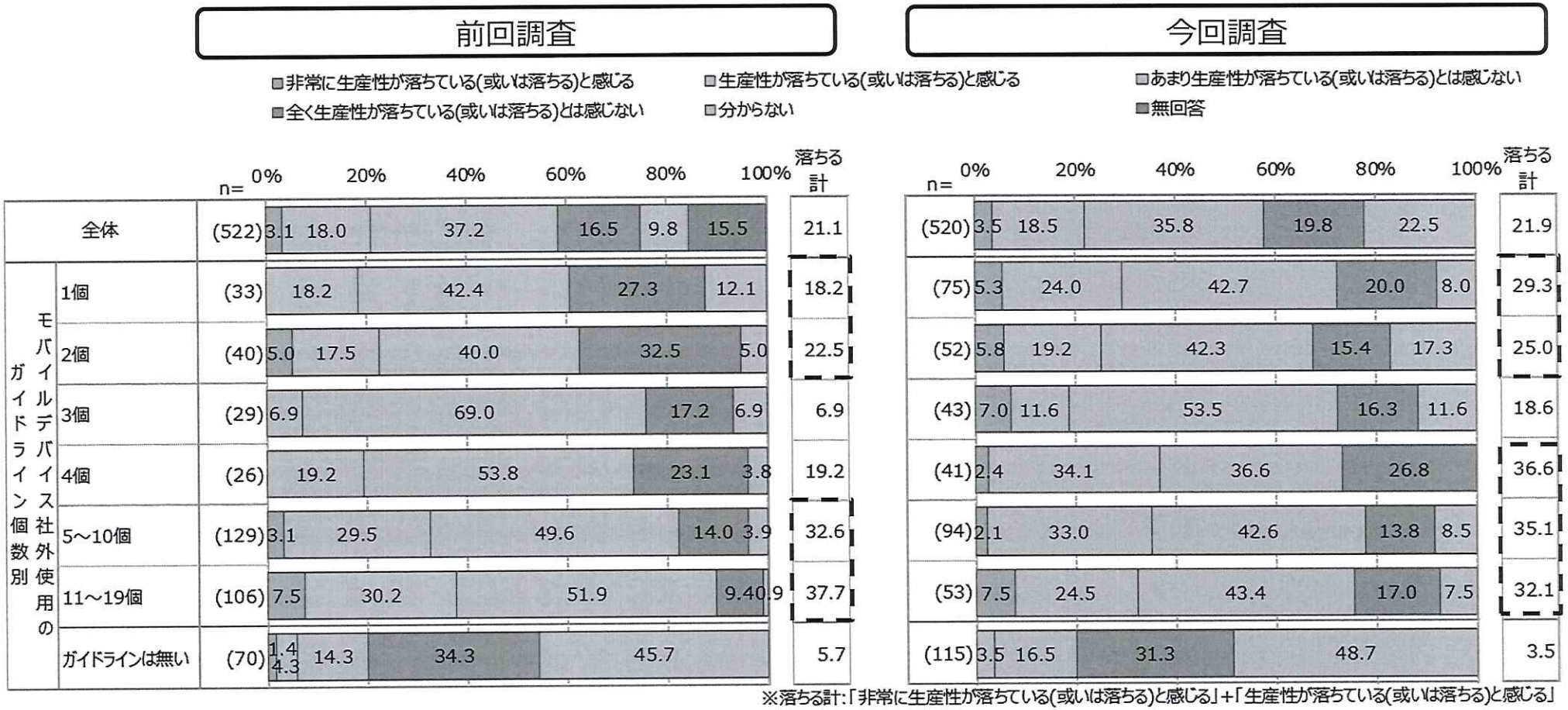


*ネットサービス：GoogleドライブやEvernote等

57.ガイドラインの束縛レベル（Q24）

- モバイルコンピューティングに関するガイドラインによる生産性への影響をたずねた。
- 今回調査をガイドライン個数別で見ると、「4個以上」の各層で、30%以上が「生産性が落ちていると感じる」と回答している。
- 前回調査との比較をガイドライン個数別で見ると、分析可能な層の多くで「落ちる計」が増加している。

[SA]



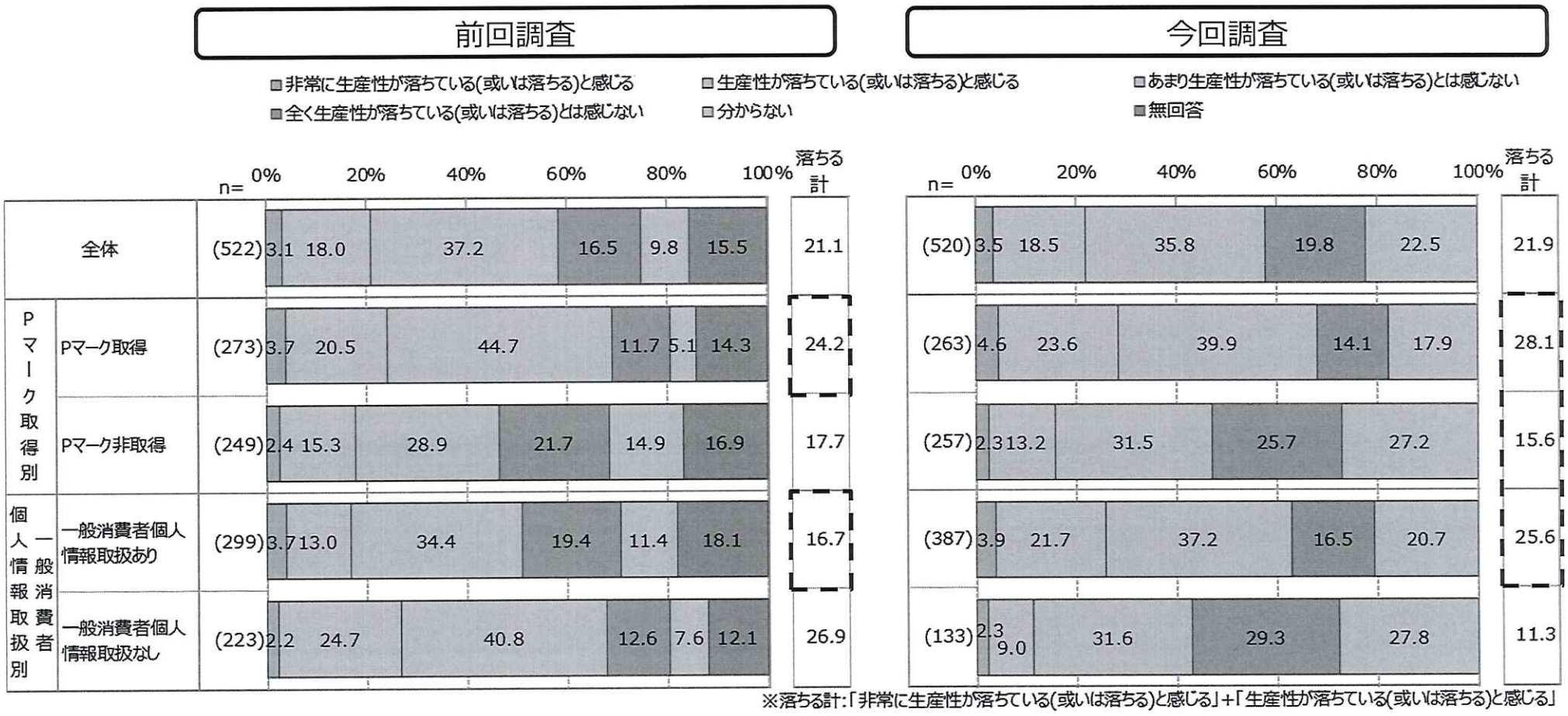
※落ちる計:「非常に生産性が落ちている(或いは落ちる)と感じる」+「生産性が落ちている(或いは落ちる)と感じる」

（n=30未満のスコアは参考値）

58.ガイドラインの束縛レベル（Q24）

■ 今回調査のPマーク取得別を見ると、取得層は非取得層に比べ「落ちる計」が高い。
■ 前回調査との比較をPマーク取得別で見ると、取得層の落ちる計が増加傾向。
また、一般消費者個人情報取り扱い別で見ると、取扱いあり層の「落ちる計」が増加傾向。

[SA]

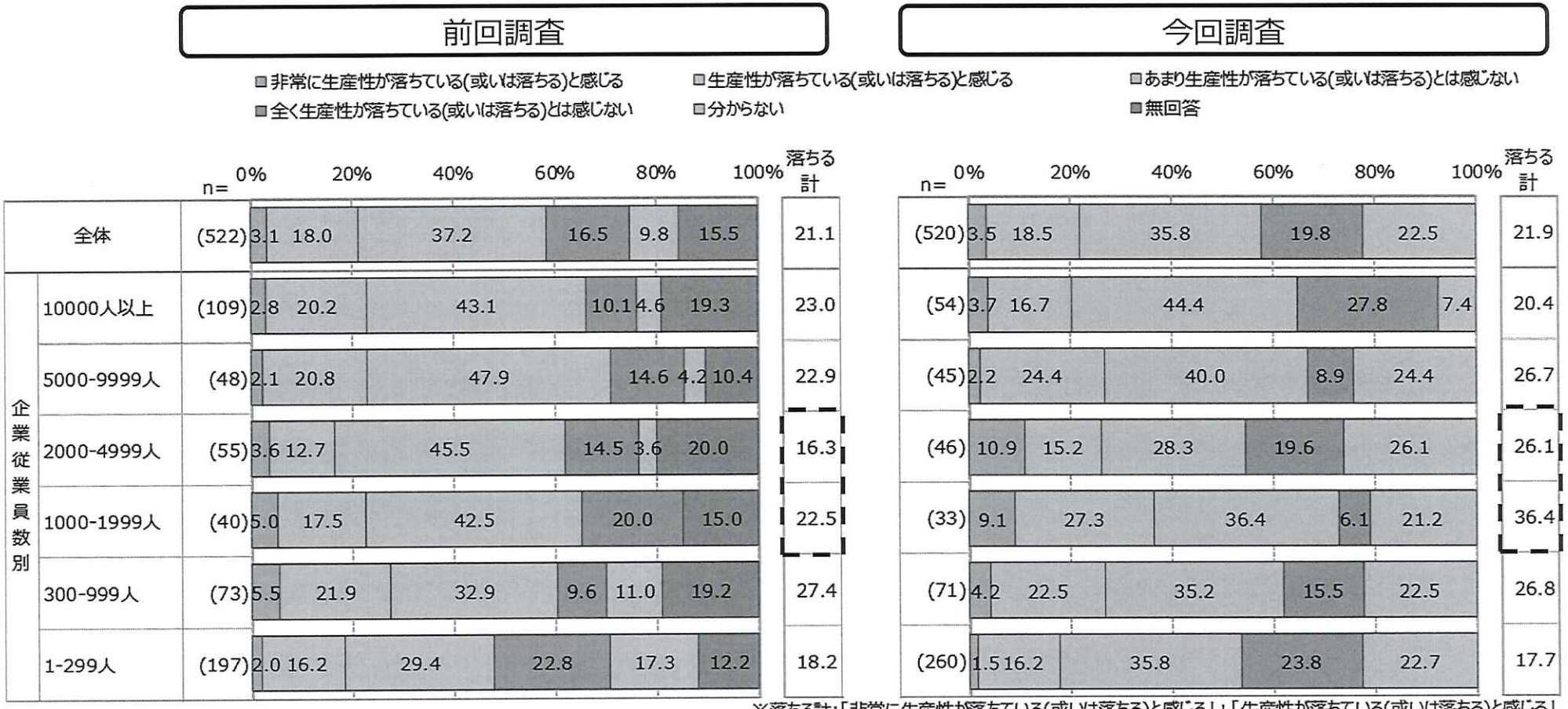


※落ちる計:「非常に生産性が落ちている(或いは落ちる)と感じる」+「生産性が落ちている(或いは落ちる)と感じる」

59.ガイドラインの束縛レベル（Q24）

■ 今回調査の企業従業員数別を見ると、生産性に関して全体で大きな差は見られなかった。
■ 前回調査との比較を従業員数別で見ると、「1000-1999人」、「2000-4999人」の「落ちる計」が増加している。

[SA]

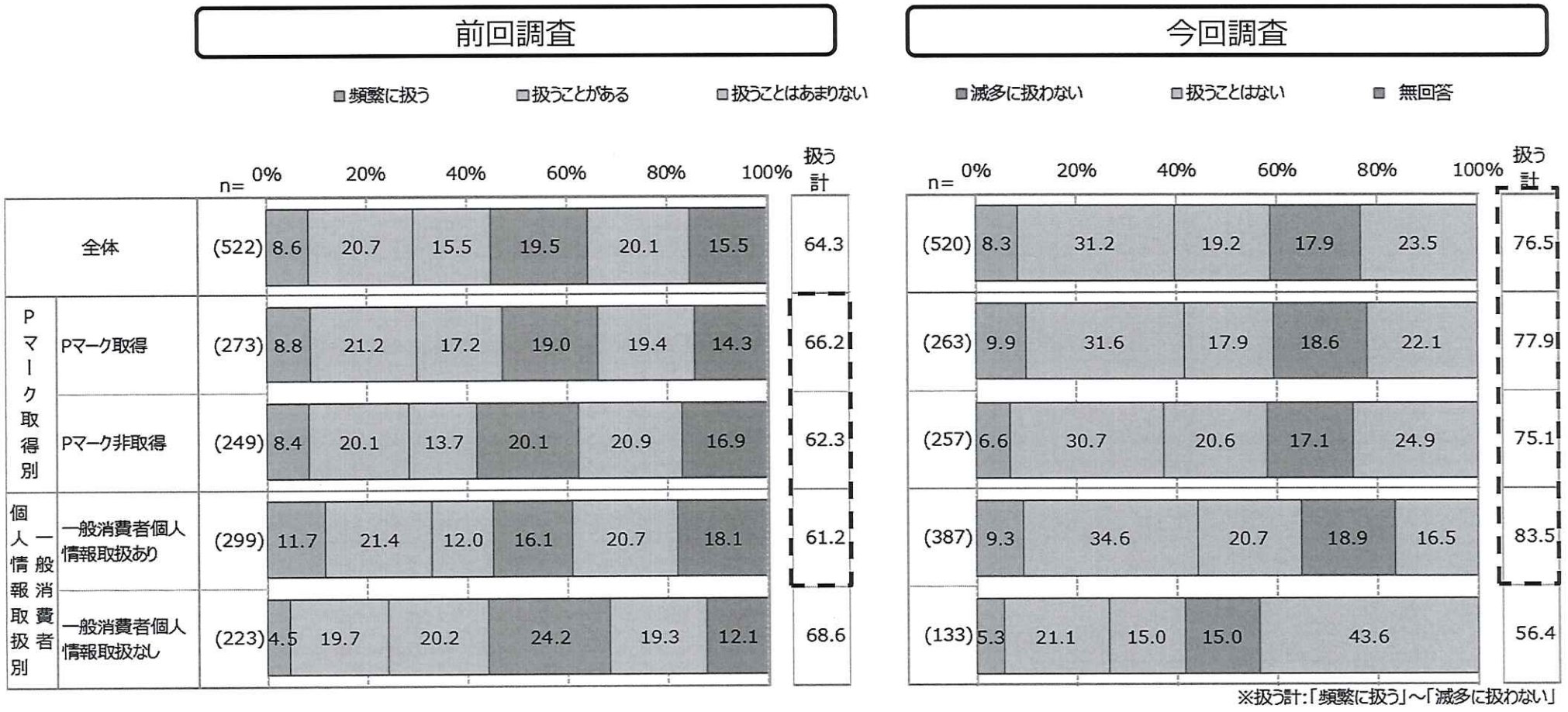


※落ちる計：「非常に生産性が落ちている(或いは落ちる)と感じる」+「生産性が落ちている(或いは落ちる)と感じる」

60.個人情報社外業務利用の有無（Q25）

■ 今回調査の全体を見ると、個人情報を扱うと回答した人は全体の76.5%だった。
■ 前回調査との比較をすると、Pマーク取得別、一般消費者個人情報取り扱い別の取扱いあり層が、いずれも「扱う計」で増加傾向。

[SA]

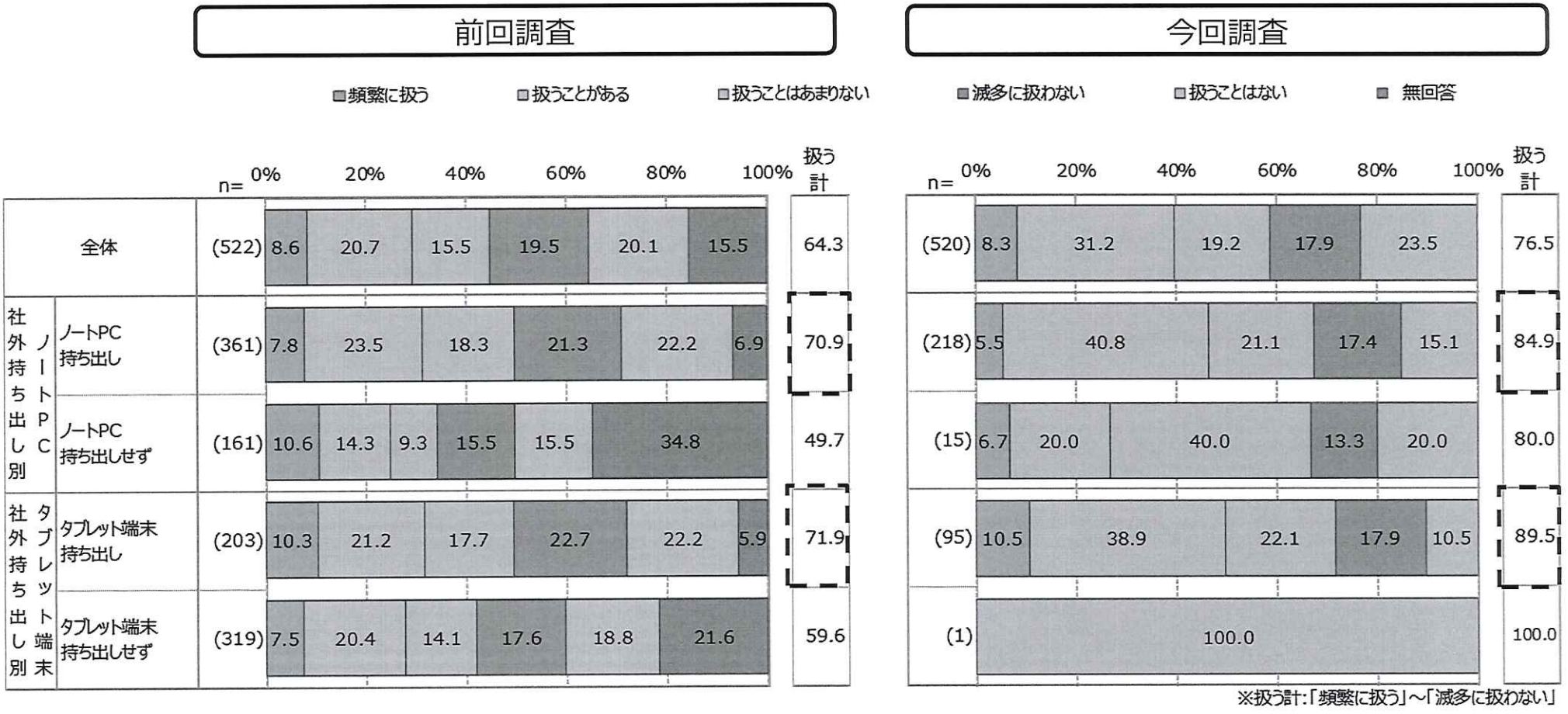


※扱う計:「頻繁に扱う」～「滅多に扱わない」

61.個人情報社外業務利用の有無(Q25)

■ 前回調査との比較を見ると、「ノートPC/タブレット持ち出し層」両者の「扱う計」が増加傾向。

[SA]



※扱う計:「頻繁に扱う」～「滅多に扱わない」

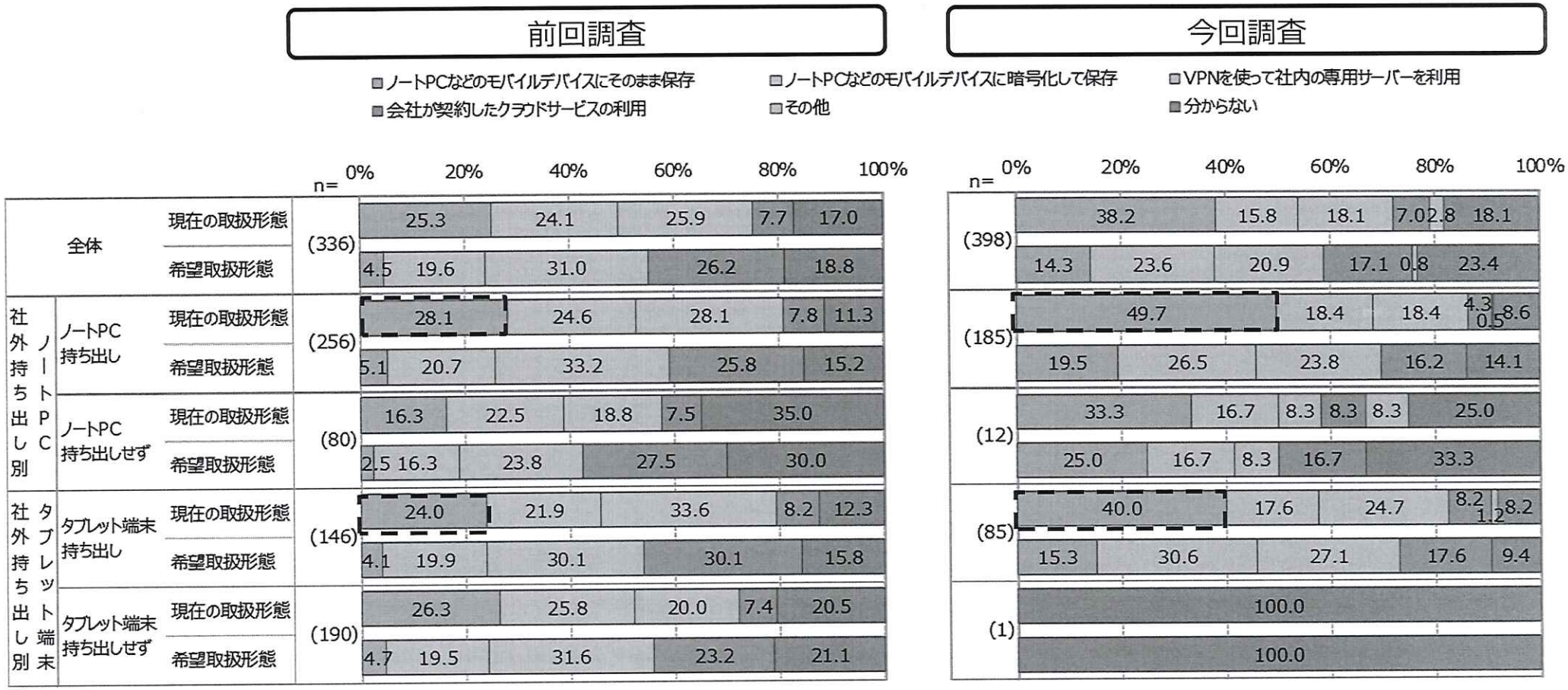
(n=30未満のスコアは参考値)

62.個人情報社外業務取扱時の希望形態（Q26）

■ 今回調査のノートPC社外持ち出し別を見ると、ノートPC持ち出し層の約半数が現在「ノートPCなどのモバイルデバイスにそのまま保存」と回答。
■ 前回調査との比較をノートPC/タブレット社外持ち出し別で見ると、ノートPC/タブレット持ち出し層ともに「ノートPCなどのモバイルデバイスにそのまま保存」が増加している。

[SA]

※社外業務時個人情報取扱者ベース



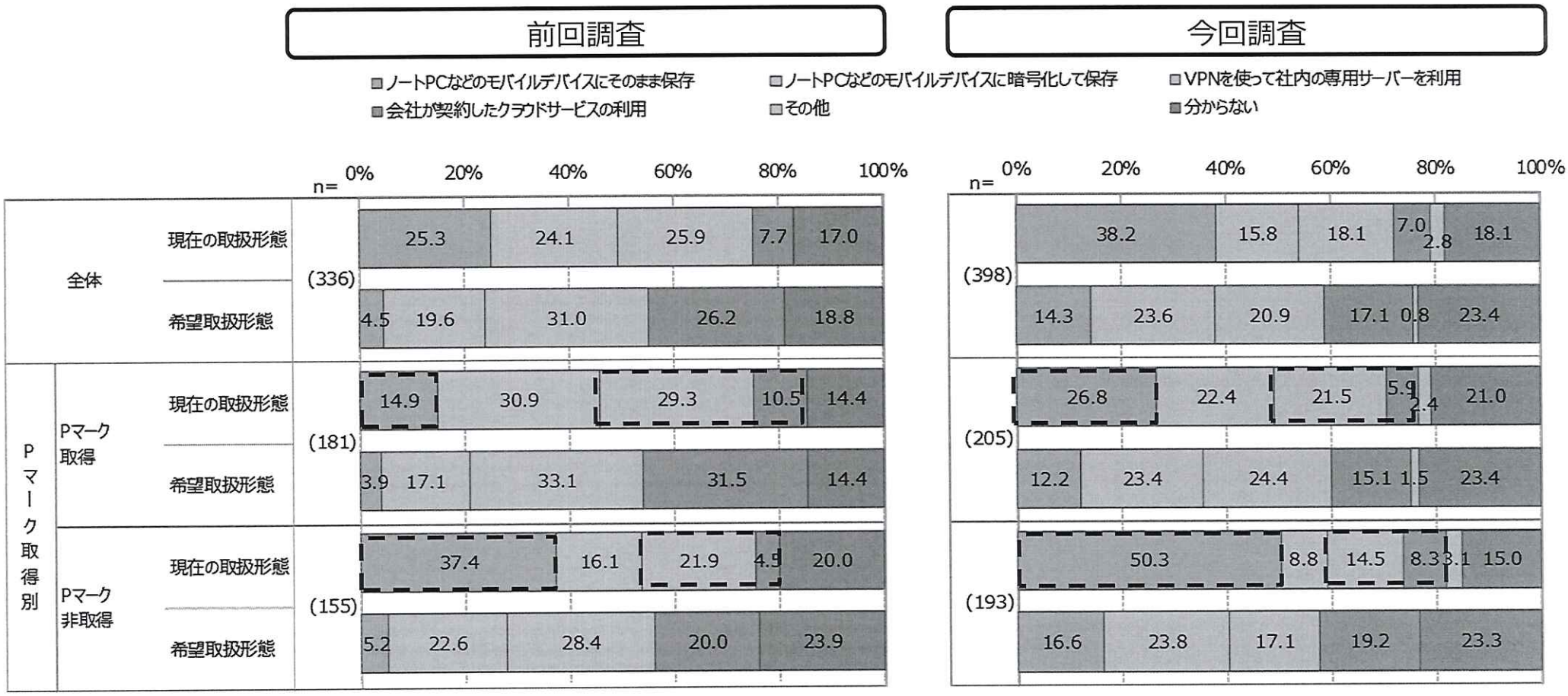
（n=30未満のスコアは参考値）

63.個人情報社外業務取扱時の希望形態（Q26）

■ 今回調査のPマーク取得別を見ると、非取得層の約半数が、現在「ノートPCなどのモバイルデバイスにそのまま保存している」と回答。
■ 前回調査との比較をPマーク取得別で見ると、取得・非取得にかかわらず、現在「ノートPCなどのモバイルデバイスにそのまま保存」が増加傾向。
一方、現在の「VPNの利用」「会社が契約したクラウドサービスの利用」はやや減少傾向。

[SA]

※社外業務時個人情報取扱者ベース

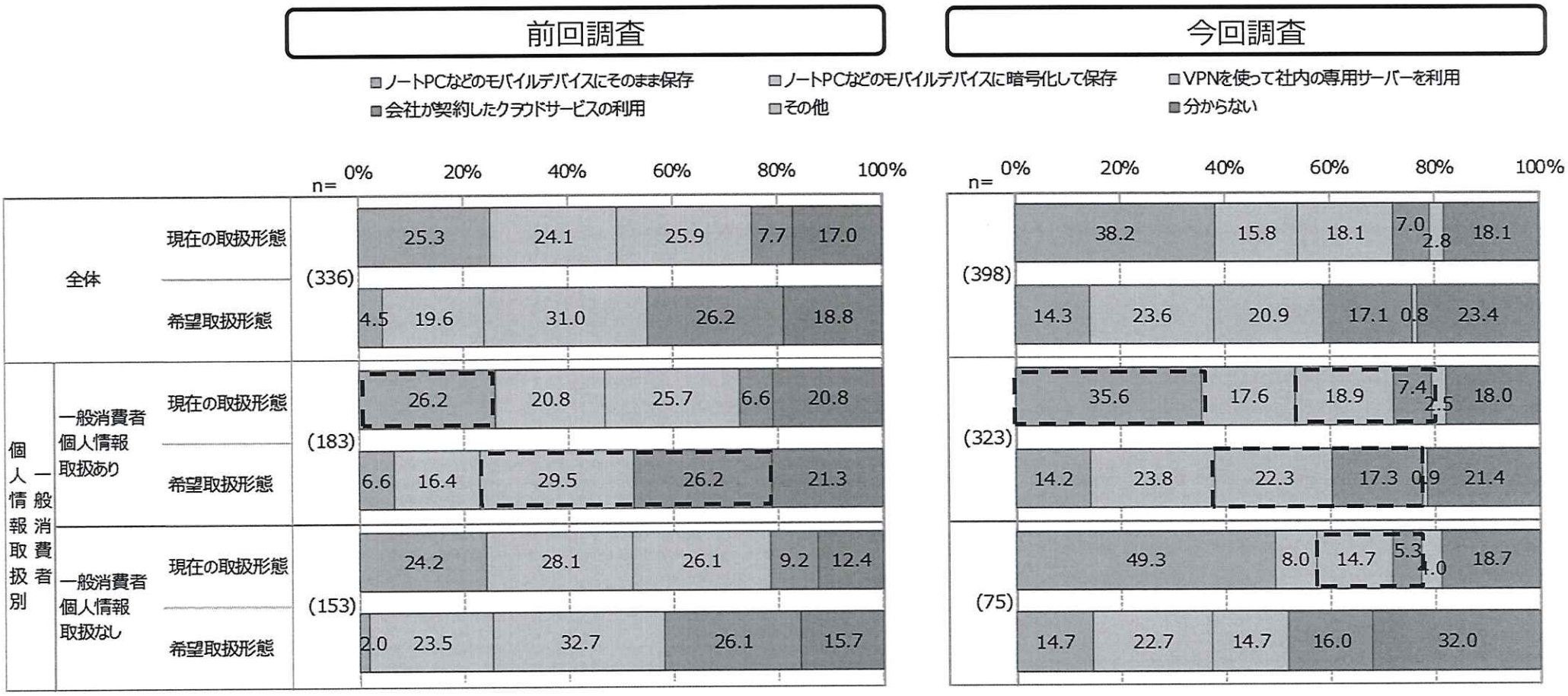


64.個人情報社外業務取扱時の希望形態（Q26）

■ 今回調査の一般消費者個人情報取り扱い別を見ると、取扱いあり層はなし層に比べ、現在の「VPN利用・クラウド利用」で高い。
■ 前回調査との比較を一般消費者個人情報取り扱い別で見ると、取扱いあり層が「ノートPCなどのモバイルデバイスにそのまま保存」で増加傾向。
希望取扱形態は、「VPN利用・クラウド利用」で減少傾向。

[SA]

※社外業務時個人情報取扱者ベース

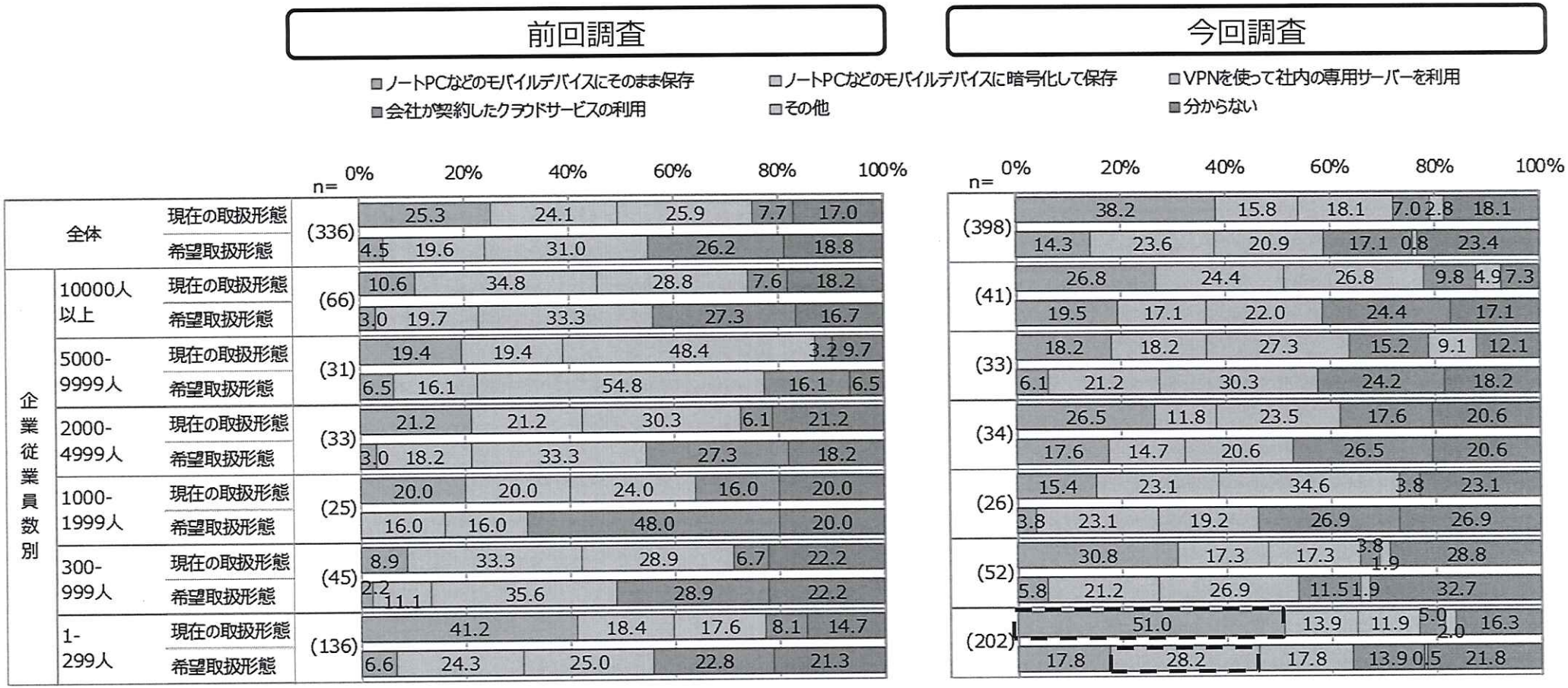


65.個人情報社外業務取扱時の希望形態（Q26）

■ 今回調査の企業従業員数別を見ると、「1-299人」の層のおおよそ半数が、現在「ノートPCなどのモバイルデバイスにそのまま保存」と回答している。
一方、希望取扱い形態を見ると、「ノートPCなどのモバイルデバイスに暗号化して保存」が他の層に比べ高い。
■ 前回調査との比較を企業従業員数別で見ると、いずれの層でも「ノートPCなどのモバイルデバイスにそのまま保存」が増加している。

[SA]

※社外業務時個人情報取扱者ベース



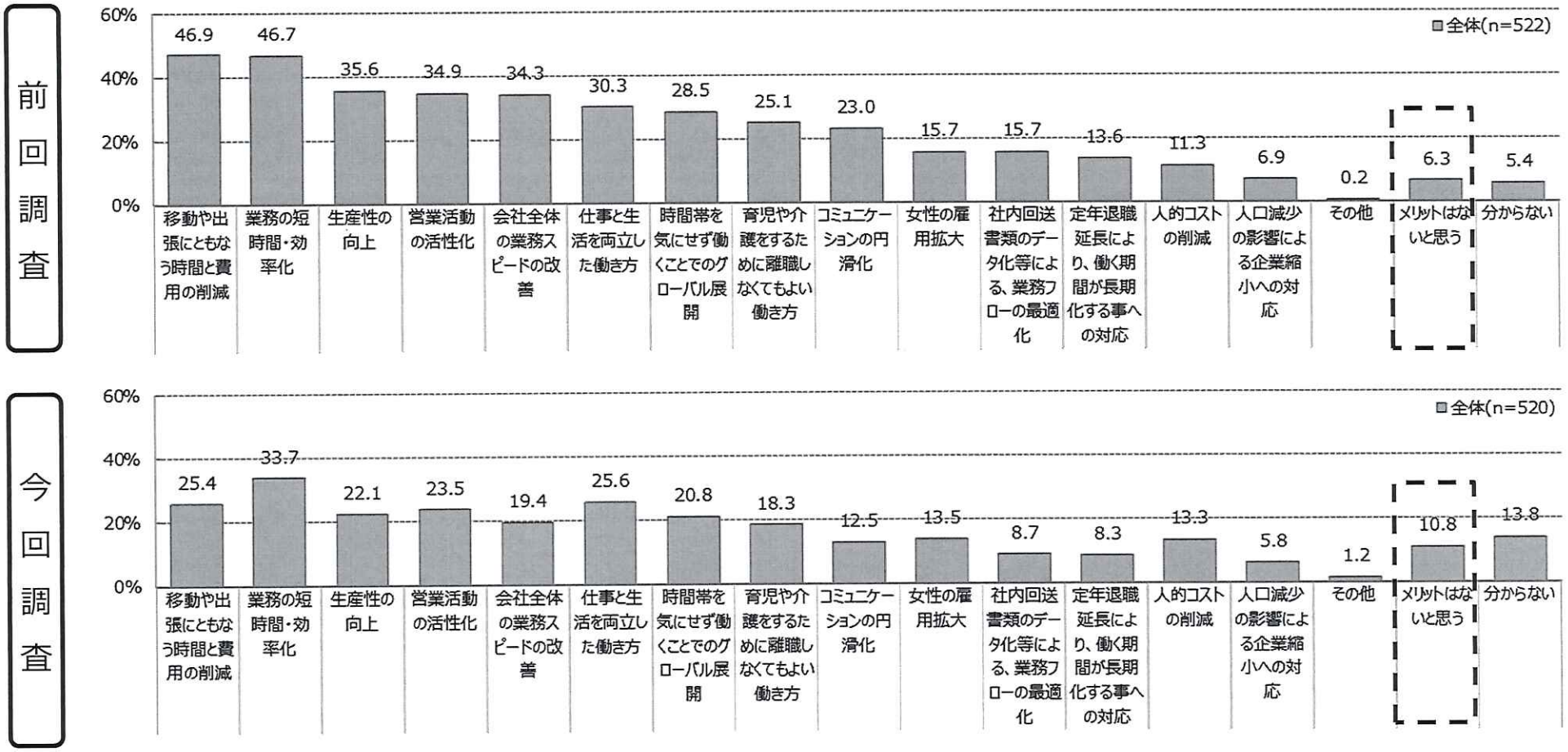
（n=30未満のスコアは参考値）

66.サテライトワークのメリット(Q27)

- サテライトワークの実現がもたらすと考えられるメリットについてたずねた。
- 今回調査の全体を見ると、「業務の短時間・効率化」が最も高く33.7%。次いで「仕事と生活を両立した働き方」(25.6%)、「移動や出張にともなう時間と費用の削減」(25.4%)が挙がる。
- 前回調査との比較を全体で見ると、「メリットはないと思う」が増加傾向。

[MA]

※【前回調査】全体の降順でソート

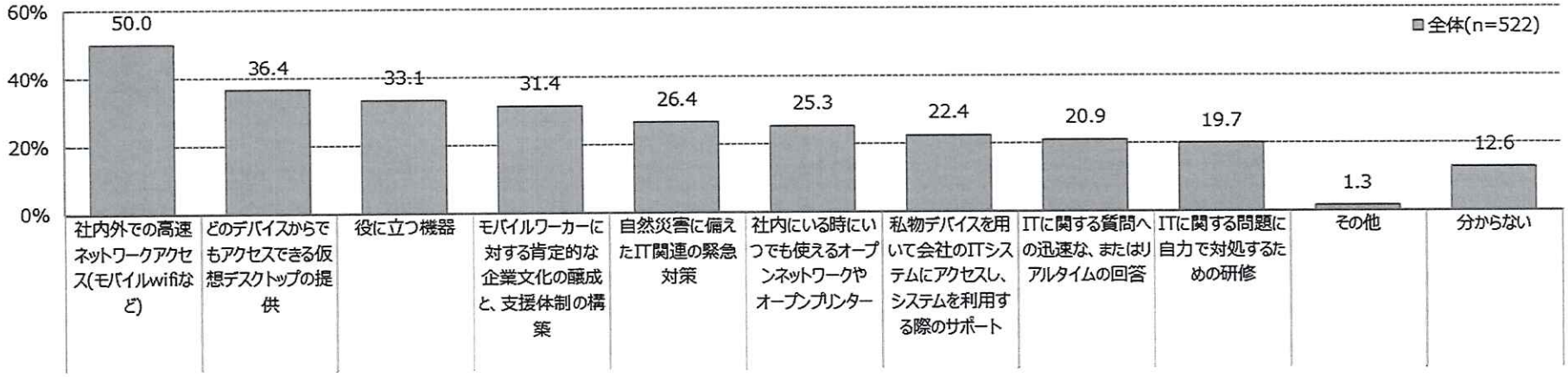


67.モバイルワーカーへのサポート(Q28)

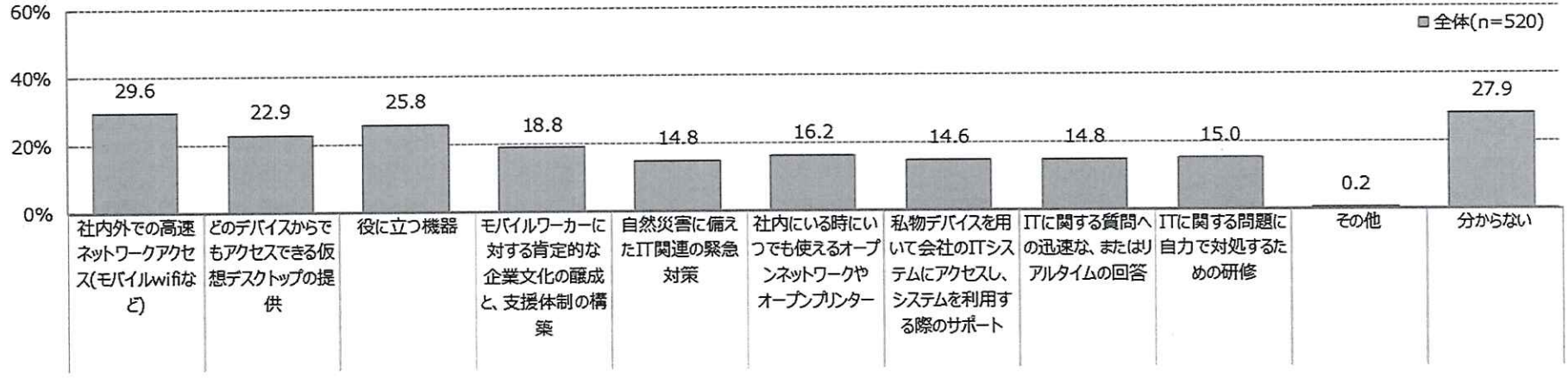
■ 今回調査を全体で見ると、「社内外での高速ネットワークアクセス」が最も高く29.6%。
次いで「役に立つ機器」(25.8%)、「どのデバイスからでもアクセス仮想デスクトップの提供」(22.9%)が挙がる。
■ 前回調査との比較を全体で見ると、全体の傾向に目立った変化は見られなかった。

[MA]
※【前回調査】全体の降順でソート

前回調査



今回調査



付録：調査票

© Macromill, Inc.

調査票

事前調査

ご自身に関するアンケート

下記アンケートにご協力お願いいたします。

当アンケートの回答者の皆様へお願い

マクロミルモニタの皆様にはモニタ規約にて「調査についての守秘義務」の徹底をお願いしています。

当アンケートの内容および当アンケートで知り得た情報については、決して第三者に口外しないよう(掲示板やホームページへの書き込みを含む)、ご協力お願いします。

- ①必須入力

Q1 あなたご自身はフルタイムのお仕事をお持ちですか。(ひとつだけ)
【 必須入力 】

- ○ 1.はい
- ○ 2.いいえ

●●●●●●●●●●●●●●●●●●●● ここで改ページ ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

- セレクト条件：【Q1】で1と答えた方
- ①必須入力

Q2 あなたの勤務先での所属部門は以下のどれにあてはまりますか。(最も近いものひとつだけ)
【 必須入力 】

- ○ 1. 経営全般
- ○ 2. 経営企画／調査
- ○ 3. 情報システム
- ○ 4. 総務／庶務／法務
- ○ 5. 経理／財務
- ○ 6. 人事／教育
- ○ 7. 宣伝／マーケティング
- ○ 8. 広報
- ○ 9. 販売／営業
- ○ 10. 接客／顧客対応(コールセンター含む)
- ○ 11. 保守／サポート(コールセンター除く)
- ○ 12. 研究／開発／設計
- ○ 13. 製造／生産／検査
- ○ 14. 専門職(医師・弁護士など)
- ○ 15. その他

●●●●●●●●●●●●●●●●●●●● ここで改ページ ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

- セレクト条件：【Q2】で1,2,7-12と答えた方
- ①必須入力

Q3 あなたの勤務先では、顧客などの個人情報の取扱がありますか。(ひとつだけ)
【 必須入力 】

- ○ 1. 個人情報を取り扱っており、プライバシーマークを取得している
- ○ 2. 個人情報を取り扱っているが、プライバシーマークを取得していない
- ○ 3. 個人情報の取扱はない
- ○ 4. 分からない

アンケートは以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。
回答もれがないか確認し、よろしければ「送信」ボタンをクリックしてください。

送　信

調査票

本調査

お勤め先に関するアンケート

下記アンケートにご協力お願いいたします。

当アンケートの回答者の皆様へお願い

マクロミルモニタの皆様にはモニタ規約にて「調査についての守秘義務」の徹底をお願いしています。

当アンケートの内容および当アンケートで知り得た情報については、決して第三者に口外しないよう(掲示板やホームページへの書き込みを含む)、ご協力お願いします。

• ①必須入力

Q1 あなた自身は、個人情報(個人を特定できる3,000件以上の情報)を業務で取り扱っていますか。
当てはまるものをひとつお答えください。
【 必須入力 】

1	2	3	4	5
頻繁に扱う	扱うことがある	扱うことはあまりない	滅多に扱わない	扱うことはない
○	○	○	○	○

ここで改ページ

• ①必須入力

ここからは、あなたのお勤め先についておうかがいいたします。

Q2 あなたの勤務先の業種は、以下のどれですか。(主なものひとつだけ)
【 必須入力 】

- ○ 1. 農林・水産・鉱業
- ○ 2. 建設・土木
- ○ 3. 化学・薬品
- ○ 4. 食品
- ○ 5. 石油・ゴム
- ○ 6. 繊維・紙・木材
- ○ 7. 鉄・非鉄金属・窯業
- ○ 8. 輸送機械・関連部品
- ○ 9. 一般機械
- ○ 10. コンピュータ/ネットワーク機器製造
- ○ 11. 電機・精密機械(コンピュータ/ネットワーク機器製造を除く)
- ○ 12. その他製造
- ○ 13. コンピュータ/ネットワーク機器販売
- ○ 14. 商社・卸売・小売(コンピュータ/ネットワーク機器販売を除く)
- ○ 15. 銀行・保険・証券・信販
- ○ 16. 不動産
- ○ 17. 運輸・倉庫
- ○ 18. 通信
- ○ 19. 電気・ガス
- ○ 20. 放送・新聞・出版・印刷・映画
- ○ 21. 情報処理サービス、システム・インテグレータ、ソフトハウス
- ○ 22. 医療関連・病院・医療機関
- ○ 23. 大学・研究／教育機関
- ○ 24. 専門サービス業(弁護士、会計士など)
- ○ 25. その他サービス業
- ○ 26. 官公庁/非営利団体
- ○ 27. その他

ここで改ページ

調査票

本調査

- ①必須入力

Q3 あなたの勤務先の従業者数をお聞かせください。
※アルバイト・パート・派遣社員などを含め、全社のおおよその合計人数をお答えください。
【 必須入力 】

- ○ 1. 1~299人
- ○ 2. 300~499人
- ○ 3. 500~999人
- ○ 4. 1000~1999人
- ○ 5. 2000~4999人
- ○ 6. 5000~9999人
- ○ 7. 1万人以上
- ○ 8. 分からない

ここで改ページ

- ①必須入力

ここからは、あなたのお勤め先での個人情報の取扱いについておうかがいします。

Q4 あなたの勤務先では、個人情報の取扱に関して、ガイドラインや社内規定がありますか。(ひとつだけ)
【 必須入力 】

- ○ 1. ある
- ○ 2. ない
- ○ 3. 分からない

ここで改ページ

- ①必須入力
- 排他選択肢: 6. 特に組織体制での整備はされていない
  排他選択肢: 7. 分からない

Q5 あなたの勤務先では、どのような組織体制で個人情報を管理していますか。(いくつでも)
【 必須入力 】

- □ 1. 個人情報保護管理者(チーフ・プライバシー・オフィサー、CPO)を設置している
- □ 2. 個人情報保護担当部署を設置している
- □ 3. 部門ごとに管理者を設置して部門管理している
- □ 4. 部門の代表者等で構成する委員会を設置している
- □ 5. 何らかの体制構築に向けて検討中である
- □ 6. 特に組織体制での整備はされていない
- □ 7. 分からない

ここで改ページ

- ①必須入力

Q6 あなたの勤務先では、個人情報の収集・管理をどのように行っていますか。(ひとつだけ)
【 必須入力 】

- ○ 1. 自社で全てを行っている
- ○ 2. 他社へ委託(アウトソーシング)しているが、守秘義務契約を交わしている
- ○ 3. 他社へ委託(アウトソーシング)しているが、守秘義務契約を交わしているかどうかは知らない
- ○ 4. 分からない

ここで改ページ

- ①必須入力
- ①4_FA: 必須入力
- 排他選択肢: 5. 分からない

Q7 あなたの勤務先では、どのような人の個人情報を取り扱っていますか。(いくつでも)
【 必須入力 】

- □ 1. 従業員
- □ 2. 取引先の担当者
- □ 3. 一般消費者
- □ 4. その他 [ ]
- □ 5. 分からない

ここで改ページ

調査票

本調査

- ①必須入力
- ①16_FA: 必須入力
- 排他選択肢: 17. いずれも実施していない
  排他選択肢: 18. よく分からない
- 選択肢ランダマイズ：選択肢1-15

Q8 あなたの勤務先では、個人情報の管理に関して、以下の中で実際に行っている事はありますか。(いくつでも)
※「その他」をお選びの方は、具体的にご記入ください。
【必須入力】

- □ 1. 個人情報など重要な情報ファイルへのアクセス権限の設定
- □ 2. 個人情報など重要な情報ファイルを外部とやりとりする場合の担当者の限定
- □ 3. 個人情報データベースにアクセスする際の担当部署からの許可
- □ 4. 担当部署への個人情報照会依頼の義務化
- □ 5. 取得目的外での個人情報の社内利用の禁止
- □ 6. 個人情報を利用したマーケティング活動(行動ターゲティング広告含む)の禁止
- □ 7. 無線LANを使用した個人情報の送受信の禁止
- □ 8. 社内での無線LANそのものの利用の制限・禁止
- □ 9. プライバシーポリシーの策定
- □ 10. インターネット経由で個人情報を入手するときの通信の暗号化(SSLなど)
- □ 11. 個人情報データベースにアクセスできる端末の社内LANからの分離
- □ 12. 個人情報データベースの利用状況を監視する
- □ 13. 個人情報データベースにアクセスできる端末のある場所への入室制限
- □ 14. 内部関査部門による個人情報の流出の監視
- □ 15. 外部業者に委託して個人情報の流出を監視
- □ 16. その他 ＿＿＿＿＿＿
- □ 17. いずれも実施していない
- □ 18. よく分からない

ここで改ページ

- セレクト条件：【Q8】で1-16と答えた方
- ①必須入力

Q9 Q8でお答えいただいた事柄に関して、あなたの印象に当てはまるものをひとつお選びください。
【必須入力】

- ○ 1. 大変業務の負担になっていると思う
- ○ 2. 業務の負担になっていると思う
- ○ 3. 業務の負担になっているとは思わない
- ○ 4. 全く業務の負担になっているとは思わない
- ○ 5. 分からない

ここで改ページ

- ①必須入力
- 回答文字数制限:【1000】(文字以内)

Q10 あなたの勤務先の個人情報保護全般に関し、あなた自身がお感じになっていることをご自由にお書きください。
どのようなご意見でも構いません。
【必須入力】

※1000文字以内でご記入ください。

ここで改ページ

- ①必須入力
- ①5_FA: 必須入力
- 排他選択肢: 6. 支給されていない

ここからは、あなたのお勤め先でのノートPC等モバイルデバイスの使用についておうかがいします。

Q11 あなたご自身に勤務先から支給されている機器(モバイルデバイス)について、
以下の中で当てはまるものをお答えください。(いくつでも)
※私物に対する費用補助などは除いてお答えください。
【必須入力】

- □ 1. ノートPC
- □ 2. タブレット端末
- □ 3. スマートフォン
- □ 4. フィーチャーフォン(従来型携帯電話)
- □ 5. その他 ＿＿＿＿＿＿
- □ 6. 支給されていない

ここで改ページ

- ①必須入力
- 排他選択肢: 5. 上記は使用しない

Q12 あなたご自身が、実際に社外で業務用にお使いの機器(モバイルデバイス)をお答えください。(いくつでも)
※私物をお仕事に使用しているケースも含めてお答えください。
【必須入力】

- □ 1. ノートPC
- □ 2. タブレット端末
- □ 3. スマートフォン
- □ 4. フィーチャーフォン(従来型携帯電話)
- □ 5. 上記は使用しない

ここで改ページ

調査票

- ①必須入力
- 排他選択肢:5. 上記は使用しない

Q13 あなたと同じ部署の同僚の方が、
実際に社外で業務用にお使いの端末(モバイルデバイス)をお答えください。(いくつでも)
※私物をお仕事に使用しているケースも含めてお答えください。
【必須入力】

- □ 1. ノートPC
- □ 2. タブレット端末
- □ 3. スマートフォン
- □ 4. フィーチャーフォン(従来型携帯電話)
- □ 5. 上記は使用しない

ここで改ページ

- セレクト条件:【Q12】で1-4と答えた方
- ①必須入力
- ①11_FA:必須入力
- 選択肢ランダマイズ:選択肢1-10

Q14 あなたご自身が社外で端末(モバイルデバイス)を使って
行っている業務の内容について、あてはまるものをお答えください。(いくつでも)
※「その他」をお選びの方は、具体的にご記入ください。
【必須入力】

- □ 1. 情報収集
- □ 2. 事務文書の作成
- □ 3. 企画書の作成
- □ 4. 電子会議(チャットツールの利用を含む)
- □ 5. スケジュール・プロジェクト管理
- □ 6. 業務日報・月報の作成
- □ 7. 報告書類の作成
- □ 8. メールのやりとり
- □ 9. ミーティング・打ち合わせ
- □ 10. 資料説明・プレゼンテーション
- □ 11. その他 ＿＿＿＿＿＿

ここで改ページ

- セレクト条件:【Q12】で1-4と答えた方
- ①必須入力
- ①11_FA:必須入力
- 排他選択肢:12. 特にない
- 選択肢ランダマイズ:選択肢1-10
- 選択したものを表示しない:【Q14】→【Q15】へ
  絞り込みを行う選択肢:1-10
  - 1. 情報収集
  - 2. 事務文書の作成
  - 3. 企画書の作成
  - 4. 電子会議(チャットツールの利用を含む)
  - 5. スケジュール・プロジェクト管理
  - 6. 業務日報・月報の作成
  - 7. 報告書類の作成
  - 8. メールのやりとり
  - 9. ミーティング・打ち合わせ
  - 10. 資料説明・プレゼンテーション

Q15 現在は行っていないが、今後社外で端末(モバイルデバイス)を使ってできれば良いと思う業務について、
あてはまるものをお答えください。(いくつでも)
※「その他」をお選びの方は、具体的にご記入ください。
【必須入力】

- □ 1. 情報収集
- □ 2. 事務文書の作成
- □ 3. 企画書の作成
- □ 4. 電子会議(チャットツールの利用を含む)
- □ 5. スケジュール・プロジェクト管理
- □ 6. 業務日報・月報の作成
- □ 7. 報告書類の作成
- □ 8. メールのやりとり
- □ 9. ミーティング・打ち合わせ
- □ 10. 資料説明・プレゼンテーション
- □ 11. その他 ＿＿＿＿＿＿
- □ 12. 特にない

ここで改ページ

- セレクト条件:【Q12】で1と答えた方
- ①必須入力
- ①5_FA:必須入力

Q16 社外に持ち出すノートPCのあなたの部署での運用形態について、あてはまるものをお答えください。(いくつでも)
※「その他」をお選びの方は、具体的にご記入ください。
【必須入力】

- □ 1. 社内で使用しているノートPCをそのまま持ち出す
- □ 2. 会社から貸与・支給された自分専用の持ち出し用ノートPCがある
- □ 3. 部署で共有の持ち出し専用ノートPCがある
- □ 4. 私物のノートPCを使用している
- □ 5. その他 ＿＿＿＿＿＿

ここで改ページ

調査票

- セレクト条件：【Q12】で1と答えた方
- ①必須入力

Q17 ノートPCを社外に持ち出す際の手続きについて、負担やわずらわしさを感じることはありますか。(ひとつだけ)
【 必須入力 】

- ○ 1.頻繁に負担やわずらわしさを感じる
- ○ 2.ときどき負担やわずらわしさを感じる
- ○ 3.負担やわずらわしさはあまり感じない
- ○ 4.負担やわずらわしさは全く感じない
- ○ 5.分からない

ここで改ページ

- セレクト条件：【Q12】で1と答えた方
- ①必須入力

Q18 ノートPCの社外持ち出しと仕事の効率に関し、
あなたのお考え・印象にあてはまるものをお答えください。(ひとつだけ)
【 必須入力 】

- ○ 1.仕事の効率を大きく下げていると思う
- ○ 2.仕事の効率を下げていると思う
- ○ 3.仕事の効率を下げているとは思わない
- ○ 4.全く仕事の効率を下げているとは思わない
- ○ 5.分からない

ここで改ページ

- セレクト条件：【Q12】で1と答えた方
- ①必須入力

Q19 社外へのノートPCの持ち出しをあきらめることはありますか。(ひとつだけ)
【 必須入力 】

- ○ 1.頻繁にある
- ○ 2.時々ある
- ○ 3.あまりない
- ○ 4.めったにない
- ○ 5.分からない

ここで改ページ

- セレクト条件 項目【1】：【Q12】で1と答えた方
- セレクト条件 項目【2】：【Q12】で2と答えた方
- ①必須入力(全項目)

Q20 社外で業務用にお使いの端末(モバイルデバイス)の社外使用状況について、
それぞれ当てはまるものをひとつお答えください。
※私物をお仕事に使用しているケースも含めてお答えください。
【 必須入力 】

	1 ほとんどが社外	2 社外がかなり多い	3 社外が多い	4 社外は少ない	5 社外はかなり少ない	6 ほとんど社外では使わない	7 社外での使用は禁止されている	8 わからない
1.ノートPC →	○	○	○	○	○	○	○	○
2.タブレット端末 →	○	○	○	○	○	○	○	○

ここで改ページ

- セレクト条件 項目【1】：【Q12】で3と答えた方
- セレクト条件 項目【2】：【Q12】で4と答えた方
- ①必須入力(全項目)

Q21 業務用にお使いのスマートフォン・フィーチャーフォン(従来型携帯電話)の社外使用状況について、
それぞれ当てはまるものをひとつお答えください。
※私物をお仕事に使用しているケースも含めてお答えください。
【 必須入力 】

	1 ほとんどが社外	2 社外がかなり多い	3 社外が多い	4 社外は少ない	5 社外はかなり少ない	6 ほとんど社外では使わない	7 社外での使用は禁止されている	8 わからない
1.スマートフォンの業務使用 →	○	○	○	○	○	○	○	○
2.フィーチャーフォン(従来型携帯電話)の業務使用 →	○	○	○	○	○	○	○	○

ここで改ページ

調査票

本調査

- セレクト条件：【Q20項目1】で7と答えた方
- ①必須入力
- ①9_FA：必須入力
- 排他選択肢：10. 何もしない
- 選択肢ランダマイズ：選択肢1-8

Q22 ノートPCの社外使用が禁止されているとお答えの方におうかがいします。
社外でお仕事をする場合に取られている手段について、あてはまるものはどれですか。(いくつでも)
※「その他」をお選びの方は、具体的にご記入ください。
【必須入力】

- □ 1. 情報はすべてプリントアウトして持ち出す
- □ 2. 他のモバイルデバイス(スマートフォンやタブレット端末など)で代替する
- □ 3. USBメモリやDVDなどの記録媒体に移し、出先のPCなどで使う
- □ 4. 出先のPCでVPN接続し、社内のサーバーなどを参照する
- □ 5. 出先のPCでクラウドサービスを利用する
- □ 6. GoogleドライブやEvernoteなどネットサービスを利用する
- □ 7. 私物のモバイルデバイスを使う
- □ 8. 個人的に柔軟な対応をとる
- □ 9. その他 [ ]
- □ 10. 何もしない

ここで改ページ

- ①必須入力
- ①19_FA：必須入力
- 排他選択肢：20. ガイドラインはあると思うが、覚えていない
  排他選択肢：21. ガイドラインはない
- 選択肢ランダマイズ：選択肢1-18

Q23 モバイルデバイスを社外で使用する際のガイドラインで、あてはまるものはどれですか。(いくつでも)
※「その他」をお選びの方は、具体的にご記入ください。
【必須入力】

- □ 1. タブレット端末(私物含む)の業務利用の禁止/許可制
- □ 2. スマートフォン(私物含む)の業務利用の禁止/許可制
- □ 3. 私物の使用禁止
- □ 4. パソコンの社外持ち出しは許可制になっている
- □ 5. パソコンを社外に持ち出す(搬送する)際に身体から離すことの禁止
- □ 6. 保存したデータの暗号化が義務
- □ 7. パスワードの設定が義務
- □ 8. パスワードの定期的な変更が義務
- □ 9. データの暗号化、パスワードの設定
- □ 10. シンクライアントまたは仮想デスクトップの導入
- □ 11. 遠隔データ消去システムの導入
- □ 12. 個人情報のモバイルデバイスへの保存禁止
- □ 13. 個人情報のGoogleドライブやEvernote等ネットサービスへの保存の禁止
- □ 14. 個人情報以外の業務情報のモバイルデバイスへの保存禁止
- □ 15. 個人情報以外の業務情報のGoogleドライブやEvernote等ネットサービスへの保存の禁止
- □ 16. USBメモリやマイクロSDカードなどフラッシュメモリの使用禁止
- □ 17. 事前に許可されたソフトウェア/アプリ以外のインストールの禁止
- □ 18. 閲覧/利用可能なWebサイトの制限
- □ 19. その他 [ ]
- □ 20. ガイドラインはあると思うが、覚えていない
- □ 21. ガイドラインはない

ここで改ページ

- ①必須入力

Q24 あなたが社外でモバイルデバイスを使ってお仕事をされる際、
Q23でご回答いただいたガイドラインについてどのようにお感じになっていますか。(ひとつだけ)
【必須入力】

- ○ 1. 非常に生産性が落ちている(或いは落ちる)と感じる
- ○ 2. 生産性が落ちている(或いは落ちる)と感じる
- ○ 3. あまり生産性が落ちている(或いは落ちる)とは感じない
- ○ 4. 全く生産性が落ちている(或いは落ちる)とは感じない
- ○ 5. 分からない

ここで改ページ

調査票

- ①必須入力

Q25 あなたご自身は社外で仕事をされる際、個人情報を扱う業務をされますか。
当てはまるものをひとつだけお答えください。(ひとつだけ)
【 必須入力 】

1	2	3	4	5
頻繁に扱う	扱うことがある	扱うことはあまりない	滅多に扱わない	扱うことはない
○	○	○	○	○

ここで改ページ

- セレクト条件：【Q25】で1-4と答えた方
- ①必須入力(全項目)
- ①項目【1】5_FA: 必須入力
- ①項目【2】5_FA: 必須入力
- 縦方向回答

Q26 社外で仕事される際に個人情報を扱う業務をするとお答えの方におうかがいします。
【1】現在の個人情報の取扱形態 【2】あなたがより望ましいと思う取扱形態 の2つについて、
最もよく当てはまるものをお答えください。(それぞれひとつだけ)
※縦方向に回答してください。各項目で矢印(↓)方向にそれぞれ選択してください。
【 必須入力 】

	1 現在の取扱形態 ↓	2 より望ましい取扱形態 ↓
1. ノートPCなどのモバイルデバイスにそのまま保存	○	○
2. ノートPCなどのモバイルデバイスに暗号化して保存	○	○
3. VPNを使って社内の専用サーバーを利用	○	○
4. 会社が契約したクラウドサービスの利用	○	○
5. その他	○	○
6. 分からない	○	○

ここで改ページ

- ①必須入力
- ①15_FA: 必須入力
- 排他選択肢: 16. メリットはないと思う
  排他選択肢: 17. 分からない
- 選択肢ランダマイズ：選択肢1-14

ここからは、お仕事に関するあなたのお考えをおうかがいします。

Q27 社外で仕事をすることによって、どのようなメリットが得られると思いますか。(いくつでも)
※営業所や客先常駐による業務は、「社外」に含めないものとします。
※「その他」をお選びの方は、具体的にご記入ください。
【 必須入力 】

- □ 1. 仕事と生活を両立した働き方
- □ 2. 女性の雇用拡大
- □ 3. 育児や介護をするために離職しなくてもよい働き方
- □ 4. 定年退職延長により、働く期間が長期化する事への対応
- □ 5. 人口減少の影響による企業縮小への対応
- □ 6. 業務の短時間・効率化
- □ 7. 移動や出張にともなう時間と費用の削減
- □ 8. 社内回送書類のデータ化等による、業務フローの最適化
- □ 9. 会社全体の業務スピードの改善
- □ 10. 営業活動の活性化
- □ 11. 人的コストの削減
- □ 12. 時間帯を気にせず働くことでのグローバル展開
- □ 13. コミュニケーションの円滑化
- □ 14. 生産性の向上
- □ 15. その他 [ ]
- □ 16. メリットはないと思う
- □ 17. 分からない

ここで改ページ

調査票

本調査

- ①必須入力
- ①10_FA: 必須入力
- 排他選択肢: 11. 分からない
- 選択肢ランダマイズ：選択肢1-9

Q28 モバイルワーカー(外出機会が多く、週に8時間以上、社外で仕事をする従業員)向けに、企業はどのようなITサポートを提供するべきだと思いますか。(いくつでも)
※あなたの勤務先以外のケースも想像してお答えください。
※営業所や客先常駐による業務は、「社外」に含めないものとします。
※「その他」をお選びの方は、具体的にご記入ください。
【 必須入力 】

- □ 1. 私物デバイスを用いて会社のITシステムにアクセスし、システムを利用する際のサポート
- □ 2. ITに関する質問への迅速な、またはリアルタイムの回答
- □ 3. 社内外での高速ネットワークアクセス(モバイルwifiなど)
- □ 4. どのデバイスからでもアクセスできる仮想デスクトップの提供
- □ 5. 社内にいる時にいつでも使えるオープンネットワークやオープンプリンター
- □ 6. 役に立つ機器
- □ 7. ITに関する問題に自力で対処するための研修
- □ 8. モバイルワーカーに対する肯定的な企業文化の醸成と、支援体制の構築
- □ 9. 自然災害に備えたIT関連の緊急対策
- □ 10. その他 [ ]
- □ 11. 分からない

アンケートは以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。
回答もれがないか確認し、よろしければ「送信」ボタンをクリックしてください。

送　信

モバイル&IoTで飛躍する

MCPC

調査報告書

「モバイルデバイスの積極的な利活用における

個人情報保護法の影響調査」

発　行　元　モバイルコンピューティング推進コンソーシアム（MCPC）

発　行　日　2017年9月29日

製作／編集　MCPC セキュリティ委員会

問合わせ先：MCPC 事務局

〒105-0011　東京都港区芝公園 3−5−12　長谷川グリーンビル 2 階

TEL：03-5401-1935　　FAX：03-5401-1937

E-mail：office@mcpc-jp.org　　URL：http://www.mcpc-jp.org/

本冊子の一部あるいは全部について、モバイルコンピューティング推進コンソーシアム(MCPC)から文書による承諾を得ることなしに、いかなる方法においても無断で複写･複製･転載することを禁じます。